SHARP

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

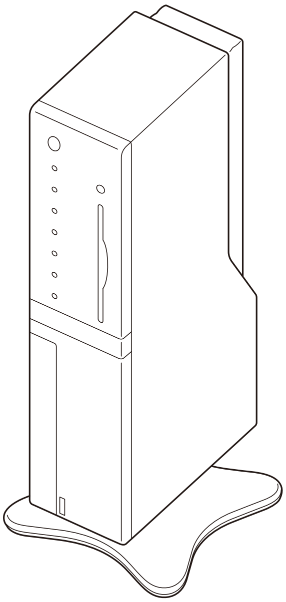
形 名

ピーシー　エーエックス　エム

PC-AX50M
PC-AX100M

パソコン機能編

操作に入る前に別冊の
接続と準備編をご覧ください。



基　本

インターネット通　信

周辺機器

活　用

万一に備えて

困ったときは

付　録

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」（接続と準備編 2ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

はじめに

著作権等に関するご注意

- このパソコンを利用して各種 CD・DVD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
  また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

ご使用前のおことわり

- 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転写、あるいは複製することはお断りします。
- 本書は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載の画面や操作方法は一例です。
- お買いあげのパソコンに付属しているアプリケーションソフトウェアは、バージョンや搭載機能が市販のパッケージ商品と一部異なる場合があります。

商標、登録商標

・Microsoft、Windows、Windows Media、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・インテル、Core Duo、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
・Memory Stick、メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
・xD-Picture Card は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
・CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの商標です。
CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・Drag'n Drop は、イージーシステムズ株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
・Liquid Surf は、米国 Portraits Display, Inc. 社の商標です。
・MBRINST は、日本およびその他の国における株式会社ネットジャパンの商標です。
・ShadowProtect Restore は、米国およびその他の国における StorageCraft Technology Corporation の商標です。
・OCN、ドットフォンは、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の商標です。
・TRENDMICRO、ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
・Ulead、DVD MovieWriter、DVD ムービーライターは、Ulead Systems,Inc. またはユーリードシステムズ株式会社の登録商標です。
・WinDVD は、InterVideo, Inc. の商標です。
・安心楽々は、イージーシステムズ株式会社の登録商標です。
・ドルビー、Dolby およびダブル D 記号「 」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

DOLBY DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

この説明書の読み方

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

記号	説明
!	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
(電球アイコン)	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
接続と準備編	別冊の説明書を示しています。 （左は「取扱説明書　接続と準備編」の例です。）
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

パソコンのイラストについて

このパソコンは縦置き／横置きの両方が可能ですが、本書では主に横置きのイラストを掲載しています。

「テレビ」の表記について

この説明書では、下記について「テレビ」と表記しています。
当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」

テレビの説明について

本書では、本機が「LD-32SP1」または「LD-37SP1」と接続されることを前提として、説明を行っています。

リモコンのボタンについて

リモコンのボタンは図示しています。
押すボタンを［　］で囲んで表記している場合もあります。

例）［PC 電源］を押します。

キーの表示について

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。
また、あるキーを押しながら他のキーを押すときは、「＋」でつないで表記しています。

例）Alt ＋ F4

記載の画面について

この説明書に記載の画面は実際の画面と異なる場合があります。
また、操作状況やパソコンの状態によって表示が異なる項目などは「XXXXXX」で表しています。

例）



画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン（など）は、［　］で囲んで表記しています。

例）［OK］をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や画面、アイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。

例）

・「コントロールパネル」をクリックします。

・「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲み、小文字で表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。

例）**c:￥mnmanual￥sample.bmp** と入力します。

コントロールパネルの表示について

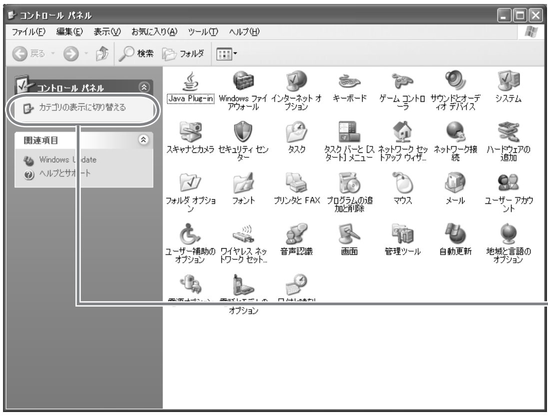
コントロールパネルの表示にはカテゴリの表示とクラシック表示があります。
この説明書では、カテゴリの表示で説明しています。

「カテゴリの表示」画面



ここをクリックすると「クラシック表示」画面に切り替わります。

「クラシック表示」画面



ここをクリックすると「カテゴリの表示」画面に切り替わります。

※画面は一例です。表示されるアイコンの種類や数は実際の画面と異なる場合があります。

もくじ

基本

インターネット／通信

周辺機器

活用

万一に備えて

困ったときは

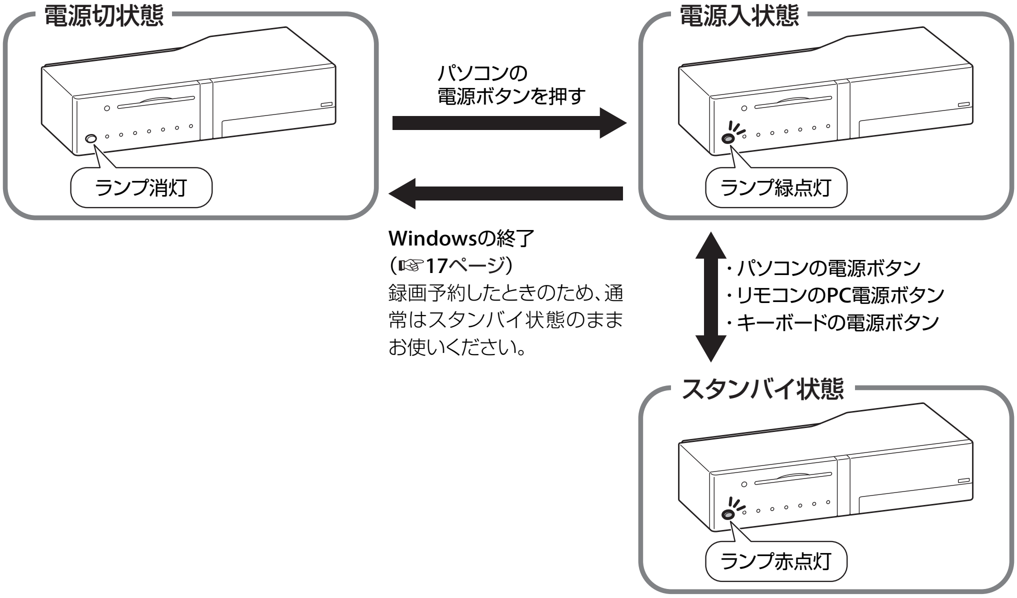
付録

MEMO

基本

パソコンの電源を入／切する・スタンバイにする

基本的な電源の入れ方と、スタンバイ（待機状態）への移行方法を確認しましょう。



※スタンバイ=待機

ご注意

- 録画予約したときは、電源を切らないで「スタンバイ」にしてください。「電源を切る」（☞ 17 ページ）や「休止状態」にすると、設定時刻になっても予約録画されません。

電源を入れる

はじめて電源を入れるときは、［接続と準備編］を参照してください。



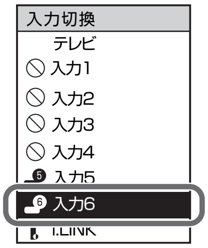
1 テレビ電源 を押してテレビの電源を入れます。

詳しくは当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」の【取扱説明書】を参照してください。

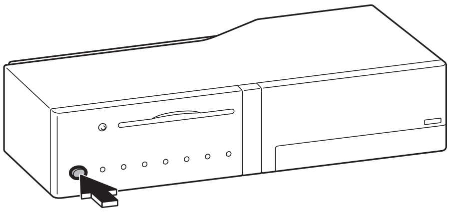
2 入力切換 を押します。

入力切換メニューが表示されます。

3 入力切換メニュー表示中に、入力切換 を押し、「入力 6」を選びます。



4 パソコンの［電源］を押します。



パソコンの電源ランプが緑色に点灯し、Windows が起動します。

ご注意

- 電源を入れてパソコンが起動するまでは、必要なとき以外はキーボードやトラックボール、リモコンに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。

ご参考

- 当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」以外をお使いのときは、本機に付属のリモコンでモニター／テレビを操作できません。操作するときは、ご使用のモニター／テレビの説明書を参照してください。
- 複数のユーザーアカウントが設定されているときは、「ようこそ」画面で使用するユーザーアカウントをクリックして選択してください。

スタンバイにする

電源ボタンでスタンバイにする

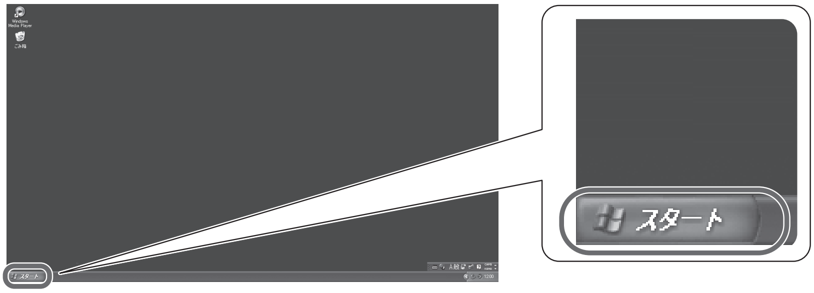
1 電源オンの状態で、パソコンの［電源］、キーボードの［電源］、リモコンの PC電源 のいずれかを押します。

電源ランプが赤色に点灯し、スタンバイに移行します。

基本

スタートメニューからスタンバイにする

1 ［スタート］をクリックします。



スタートメニューが表示されます。

2 「終了オプション」をクリックします。



3 「スタンバイ」をクリックします。



電源ランプが赤色に点灯し、スタンバイに移行します。

ご注意

- スタンバイの状態で、停電などにより電源が切れると、保存していないデータはすべて消えてしまいます。編集中・作業中のデータがあるときは、スタンバイにする前に、必ずデータを保存しておきましょう。

ご参考

- パソコンの電源ランプが赤色に点灯しているとき（スタンバイ）は、次のいずれかのボタンを押すとスタンバイから復帰します。
  - パソコンの［電源］
  - キーボードの［電源］
  - リモコンの［PC 電源］

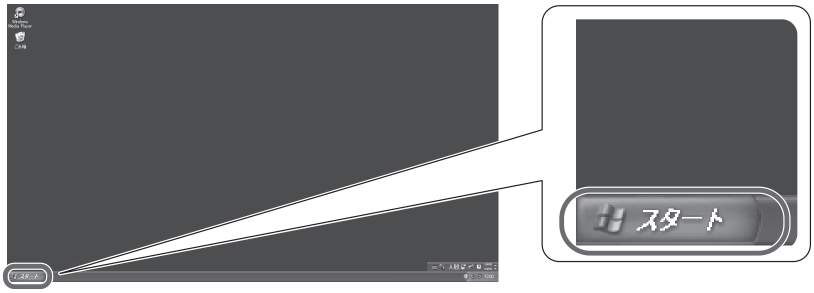
  このとき、テレビの電源ランプが赤色に点灯している場合は、テレビの電源が切れていますので、リモコンの［テレビ電源］を押してテレビの電源を入れてください。
- テレビ番組の録画中および予約録画の開始前 10 分以内はスタンバイに移行できません。

電源を切る

ご注意

- 録画予約したときは、電源を切らないで「スタンバイ」にしてください。「電源を切る」（☞下記）や「休止状態」にすると、設定時刻になっても予約録画されません。

1 ［スタート］をクリックします。



スタートメニューが表示されます。

2 「終了オプション」をクリックします。



3 「電源を切る」をクリックします。



パソコンの電源が切れ、電源ランプが消えます。

ご注意

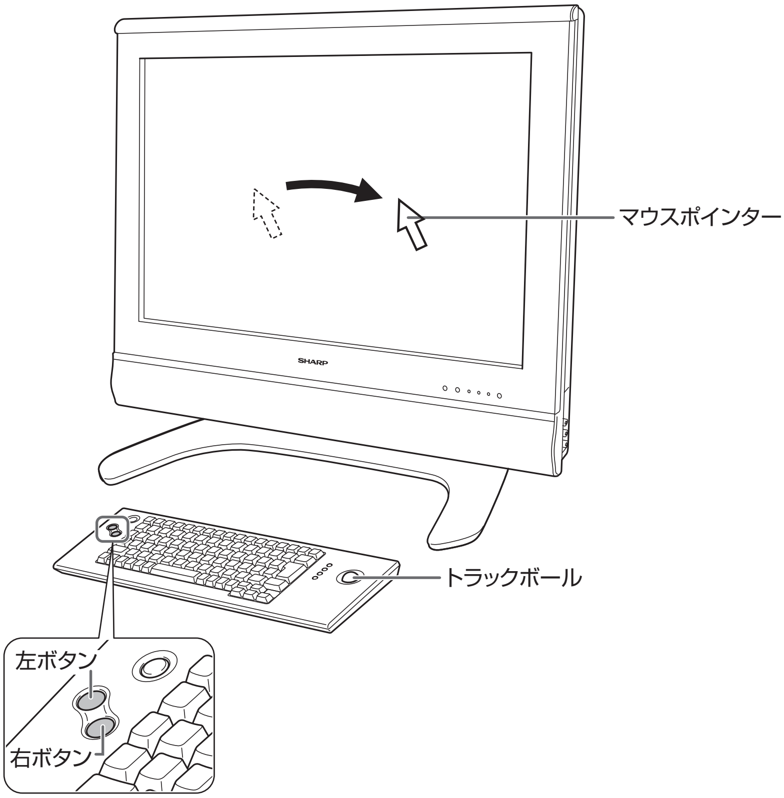
- 再び電源を入れるときは、必ず 10 秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

ご参考

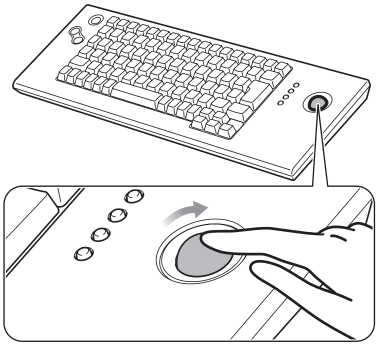
- 「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています」と表示されたときは［いいえ］をクリックし、ほかのユーザーアカウントの作業を終了してください。

キーボード上のトラックボールを使う

Windows では、トラックボールで画面操作ができます。
はじめはマウスポインター（ ）が思いどおりに動かないものですが、ゆっくり操作しながら慣れましょう。

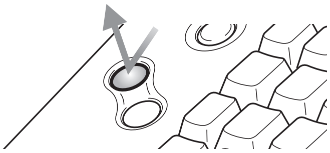


トラックボールとボタンで操作する



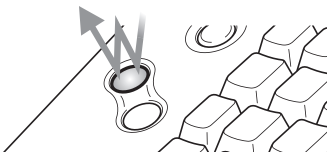
ポイントする

マウスポインター（矢印マーク）を目的のアイコンやボタンの上に移動することです。トラックボールを回転させて、移動したい方向に動かします。



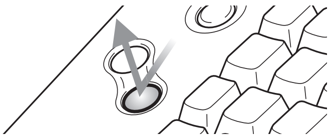
クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、左ボタンを「カチッ」と 1 回押します。



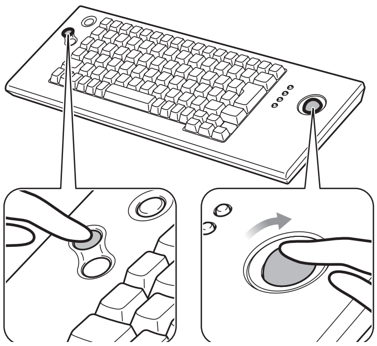
ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、左ボタンを「カチカチッ」とすばやく 2 回押します。



右クリックする

関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、右ボタンを「カチッ」と 1 回押します。



ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、左ボタンを押したまま、トラックボールを回転させます（ドラッグする）。
目的の位置まできたら、トラックボールを止めて左ボタンを離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

キーボードを使う

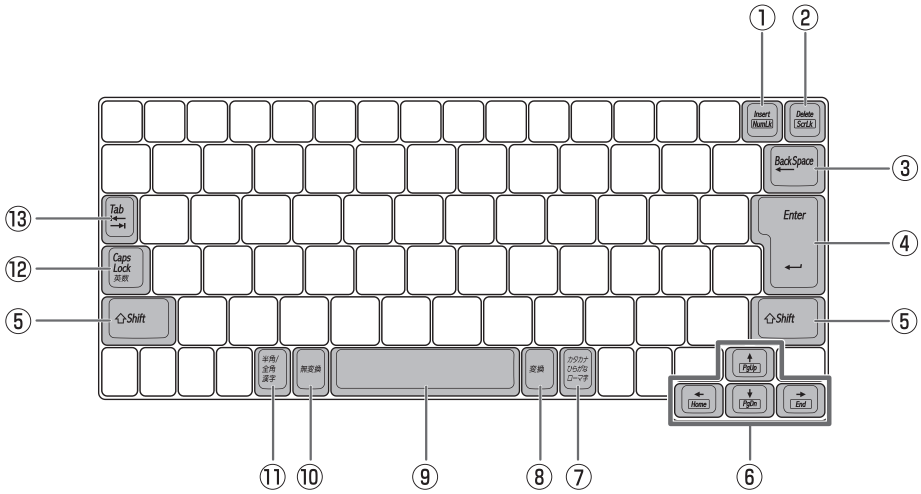
キーボードを使うと、文字を入力したり、特定の機能を働かせたりすることができます。ここでは、それぞれの役割に使うキーをまとめて紹介します。

ご参考

- Windows やアプリケーションソフトで割り当てられているその他の機能については、下記のものを参照してください。
  - ・[スタート] をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
  - ・Microsoft IME（日本語入力システム）のヘルプ
  - ・お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ

文字を入力する

下記のキーを使って入力モードの変更や、文字変換をします。



① **Insert**（インサート）キー

文字を入力するときに、挿入するか、上書きするかを切り換えます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

② **Delete**（デリート）キー

カーソル位置の右側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

③ **Back Space**（バックスペース）キー

カーソル位置の左側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

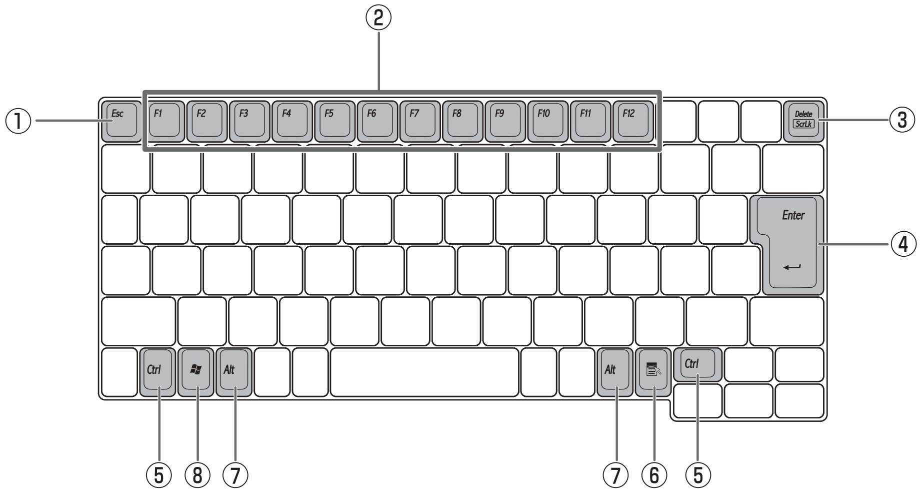
④ **Enter**（エンター）キー

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を確定します。文字確定後、および日本語入力システムがオフのときは、改行になります。

⑤	**Shift**（シフト）キー **Shift** キーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力できます。
⑥	**↑** **↓** **←** **→**（カーソル）キー カーソルを上下左右に移動します。
⑦	**カタカナ・ひらがな・ローマ字** キー 日本語入力システムがオンのときは、**Alt** キーを押しながら **カタカナ・ひらがな・ローマ字** キーを押すたびに、かな入力／ローマ字入力が切り替わります。また、**Shift** キーを押しながら **カタカナ・ひらがな・ローマ字** キーを押すと、カタカナモードになります。ひらがなモードに戻るには、**カタカナ・ひらがな・ローマ字** キーだけを押します。
⑧	**変換** キー 日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を変換します。もう1度 **変換** キーを押すと、他の候補リストを表示します。スペースキーを押して変換することもできます。（ご購入時の設定）
⑨	スペースキー スペース（空白）を入力します。
⑩	**無変換** キー 日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を、全角／半角のカタカナや数字に変換できます。
⑪	**半角 / 全角・漢字** キー 日本語入力システムのオン／オフを切り換えます。（ご購入時の設定）
⑫	**Caps Lock・英数** キー **Shift** キーを押しながら **Caps Lock・英数** キーを押すと、アルファベットの大文字が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 **Shift** キーを押しながら **Caps Lock・英数** キーを押します。また、日本語入力システムがオンのときに **Caps Lock・英数** キーを押すと、英数字モードになります。
⑬	**Tab**（タブ）キー タブ位置まで入力位置が移動します。

特定の機能を働かせる

キーボードからパソコンを動作させるためには、特定の機能を割り当てたキーを押す方法と、Fn や Ctrl キーなどを押しながら他のキーを押す操作（ショートカット）があります。



①	**Esc**（エスケープ）キー 現在の操作を取り消して、1つ前の操作に戻るときなどに押します。
②	**F1** ～ **F12**（ファンクション 1 ～ 12）キー 使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。
③	**Delete**（デリート）キー 選択したファイルやアイコンなどを削除します。 **ScrLK**（スクロールロック）キー Fn キーを押しながら Delete（ScrLK）キーを押すと、スクロールロックモードになります。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら Delete（ScrLK）キーを押します。
④	**Enter**（エンター）キー 設定画面の破線で囲まれたボタンや、反転している項目を選択します。
⑤	**Ctrl**（コントロール）キー Ctrl キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

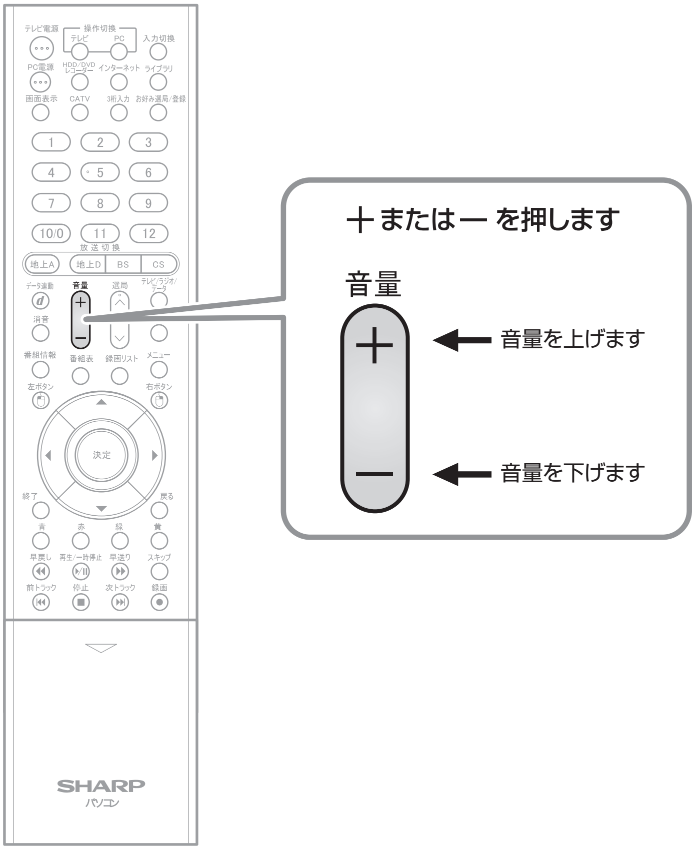
⑥	**[アプリケーションキー]（アプリケーション）キー** 使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。通常は、右クリックと同じ働きをします。
⑦	**Alt（オルト）キー** **Alt** キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。 **Alt** キーを押しながら緑色で刻印されたキーを押すと、その機能が働きます。
⑧	**[Windowsキー]（Windows）キー** Windowsの「スタート」メニューを表示します。

音量を調節する

音量を調節したいときは、リモコンの音量で調節します。
パソコンモードで使用しているときの音量と、テレビモードで使用しているときの音量は別々に設定できます。たとえば、パソコンのチューナーを使ってテレビを見ているとき（パソコンモード）の音量を「10」に設定し、テレビのチューナーを使ってテレビを見ているとき（テレビモード）の音量を「15」に設定することも可能です。

ご参考

- 今どのモードでテレビを見ているかを確認したいときは、リモコンの［テレビ］を押してから［画面表示］を押してください。パソコンモードのときは、画面の右上に「入力 6」と表示され、テレビモードのときは「テレビ」と表示されます。



タスクバーのや「マスタ音量」画面などで音量を変更しないでください

- パソコンの音量は、パソコンモードで使用しているときと、テレビモードで使用しているときの音量差が小さくなるように、あらかじめ最適な状態に設定されています。音量を調節するときは、必ずリモコンの［音量］で調節し、タスクバーの や「マスタ音量」画面などで音量を変更しないでください。
  誤って変更してしまったときは、「マスタ音量」画面の「マスタ音量」および「WAVE」の音量を最大に戻してください。

画面の設定を変える

パソコンの表示画面の解像度や色数を変えることができます。通常はご購入時の設定のままお使いください。

ご注意

- 画面の解像度を 1360 × 768 以外に設定しないでください。Station TV Digital（PC-AX100M のみ）やチャンネル UI などの付属ソフトが動作しなくなることがあります。通常はご購入時の設定のままお使いください。

1 **［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。**

3 **「画面解像度を変更する」をクリックします。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

4 **解像度を変えるときは、「画面の解像度」のつまみをドラッグして動かします。色数を変えるときは、「画面の色」の をクリックして、メニューから色数を選びます。**



ご参考

- テレビを見ているときや録画中、DVD や動画ファイルなどを再生しているときは、色数および解像度を変更しないでください。画面が正常に表示されなくなる場合があります。

5 **［OK］をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。**

変更した項目（色または解像度）の確認メッセージが表示されます。
メッセージに従って操作してください。

6 **画面右上の ☒ をクリックして「デスクトップの表示とテーマ」画面を閉じます。**

設定可能な解像度と色数

解像度	800 × 600、1024 × 768、1280 × 768、1280 × 1024、1360 × 768
色数	65536 色、約 1677 万色

ご参考

- 「画面の色」の設定と表示の色数は以下のとおりです。
  中（16 ビット）　：65536 色
  最高（32 ビット）：約 1677 万色
- テレビ側でも、画面サイズや明るさを変えることができます。詳しくは、当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」の説明書を参照してください。

CD・DVD を使う

CD や DVD に保存されているデータの読み出し、市販のアプリケーションソフトのインストール、CD や DVD へのデータの書き込みなどができます。

このパソコンには、DVD スーパーマルチドライブ（以下、CD/DVD ドライブと表記します）が搭載されています。

使用可能なディスク

使用できるディスクは以下のとおりです。
ご使用のディスクによっては、読み出し／書き込みできない場合があります。

ご注意

- 次のディスクや「**ディスクの取り扱い**」（☞ 34 ページ）に記載されているディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になります。
  - ・8cm のディスクおよび 8cm ディスク用の変換アダプター
  - ・特殊形状（ハート型や八角形、名刺型など）や DVD Slim disc などの規格外ディスク
  - ・市販のクリーニングディスク

（－：ディスクの規格により不可）

ディスクの種類	読み出し	書き込み	書き換え
CD-ROM※1 音楽CD	○	—	—
CD-R	○	○	—
CD-RW High Speed CD-RW	○	○	○
Ultra Speed CD-RW	○	○	○
DVD-ROM DVD-VIDEO	○	—	—
DVD-R（1層）	○※2	○※3	—
DVD-R（2層）	○※2	○※4	—
DVD-RW	○※2	○※5	○※5
DVD+R（1層）	○※2	○	—
DVD+R（2層）	○※2	○※4	—
DVD+RW	○※2	○※6	○※6
DVD-RAM※7、※8	○	○	○

※1　CD-ROMには、ビデオCDおよびフォトCDを含みます。
※2　市販のDVD作成ソフトやDVDレコーダーで作成したディスクを使用するときは、作成したソフトまたは機器でファイナライズ処理してください。
※3　DVD-R（1層）に書き込む場合は、DVD-R for General Ver.2.0に準拠したディスクをご使用ください。
※4　DVD-R（2層）に書き込む場合は、DVD-R for DL Ver.3.0／4×-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0に準拠したディスクをご使用ください。DVD+R（2層）に書き込む場合は、DVD+R Double Layer 4×に準拠したディスクをご使用ください。書き込んだDVD+R（2層）、DVD-R（2層）ディスクの読み出し（再生）は、対応したドライブを搭載しているパソコンや機器をご使用ください。
※5　DVD-RWに書き込む場合は、DVD-RW Ver.1.1またはVer.1.2に準拠したディスクをご使用ください。
※6　High Speed DVD+RWには、書き込みできません。
※7　カートリッジ式のDVD-RAMは使用できません。DVD-RAMを使用される場合は、カートリッジなしのタイプか、もしくは取り外し可能なカートリッジ（Type2またはType4）からディスクを取り出してご使用ください。片面2.6GBおよび両面5.2GBのDVD-RAMには、書き込みできません。
※8　DVD-RAMに書き込む場合は、DVD-RAM Ver.2.0、Ver.2.1またはVer.2.2（Rev.2.0）に準拠したディスクをご使用ください。

ご参考

- 音楽 CD および DVD ビデオを再生するときは、「**音楽 CD を聴こう**」(☞ 108 ページ)、「**DVD ビデオを見よう**」(☞ 113 ページ)を参照してください。

動作確認済みディスク(2006 年 4 月現在)

DVD-R(1 層)	マクセル製
DVD-R(2 層)	三菱化学製
DVD-RW	ビクター製
DVD+R(1 層)	リコー製(1 ～ 8 倍速記録対応品)
DVD+R(2 層)	三菱化学製(2.4 倍速記録対応品)
DVD+RW	リコー製
DVD-RAM	マクセル製
CD-R	太陽誘電製
CD-RW	三菱化学製
High Speed CD-RW	三菱化学製
Ultra Speed CD-RW	三菱化学製

ご参考

- 動作確認済みディスク以外では、正しく書き込みできないことがあります。
- 書き込んだディスクは、ディスクの種類に対応したドライブを搭載しているパソコンや機器で読み出し(再生)できます。

書き込みタイプのディスクについて

ここでは、市販されている書き込みタイプの CD や DVD について概略を説明します。

CD-R ／ CD-RW について

CD-R は、保存したデータの書き換えができません。(追記のみ可能)
CD-RW は、データの書き換えが可能です。

データの書き換えができないタイプ



約700MB(フロッピーディスク約500枚分)のデータ保存が可能。データのバックアップやオリジナル音楽CDの作成に向いている。

データの書き換えができるタイプ



データの保存容量はCD-Rと同じ。一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる(約1000回)。

※ 書き込み時に、「ディスクを閉じる」設定をしていないディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、音楽 CD を作成したときは、ディスクが閉じられるためデータを追加して書き込むことはできません。

DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD+R ／ DVD+RW について

DVD-R と DVD+R は、保存したデータの書き換えができません。（追記のみ可能）DVD-RW と DVD+RW は、データの書き換えが可能です。

データの書き換えができないタイプ※1、※2	
DVD-R / DVD+R	データのバックアップやDVDビデオの作成に向いている。DVD-R（1層）は市販のDVDプレーヤーで再生できるなど、互換性が高い。

データの書き換えができるタイプ※1、※2、※3	
DVD-RW / DVD+RW	DVD-Rの特性に加え、一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる（約1000回）。

※ 1　DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD+R ／ DVD+RW へのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなる場合があります。

※ 2　書き込み時に、「ディスクを閉じる」設定をしていないディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、DVD-R（2 層）にはデータを追加して書き込むことはできません。また、Ulead DVD MovieWriter 4 SE（付属ソフト）を使用して DVD ビデオを作成する場合、DVD-R および DVD+R には、データを追加して書き込むことはできません。

※ 3　旧機種の DVD プレーヤー、DVD-ROM ドライブで再生できない（互換性がない）場合があります。

DVD-RAM について

DVD-RAM は、データの書き込み、追記、消去ができます。DVD-RAM にはカートリッジ式と非カートリッジ式があります。

非カートリッジ式 ※1	
DVD-RAM	片面約4.7GBのデータ保存が可能

カートリッジ式 ※1、※2	
Type2	片面約4.7GBのデータ保存が可能
Type4	片面約4.7GB、両面約9.4GBのデータ保存が可能※3

※ 1　DVD-RAM へのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなります。

※ 2　カートリッジ式の DVD-RAM を使用するときは Type2、または Type4（カートリッジから DVD-RAM が取り出せるタイプ）を使用し、カートリッジから DVD-RAM を取り出して、CD/DVD ドライブにセットしてください。

※ 3　両面を同時に使用できません。ディスクの両面にデータを書き込む場合は、片面の書き込み終了後に DVD-RAM を取り出し、裏返してから再度 CD/DVD ドライブにセットし、データを書き込んでください。

ディスクをセットする／取り出す

ディスクをセットする

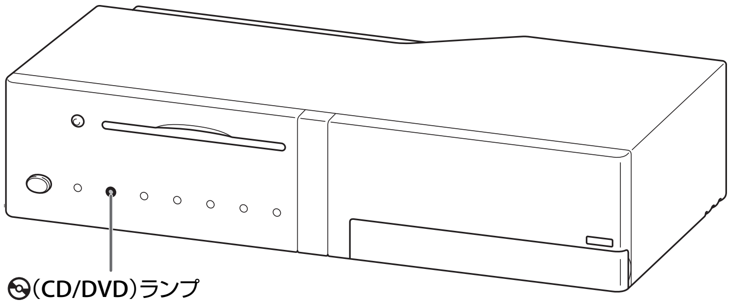
ご参考

- パソコンの電源が切れているときは、ディスクをセットすると、パソコンが起動します。

ご注意

- 次のディスクや「**ディスクの取り扱い**」（☞ 34 ページ）に記載されているディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になります。
  - ・8cm のディスクおよび 8cm ディスク用の変換アダプター
  - ・特殊形状（ハート型や八角形、名刺型など）や DVD Slim disc などの規格外ディスク
  - ・市販のクリーニングディスク

1 **（CD/DVD）ランプが消えていることを確認します。**

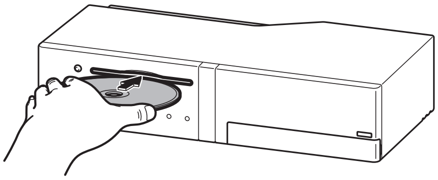


基本

2 ディスクの端を CD/DVD ドライブに合わせ、軽く押し込みます。

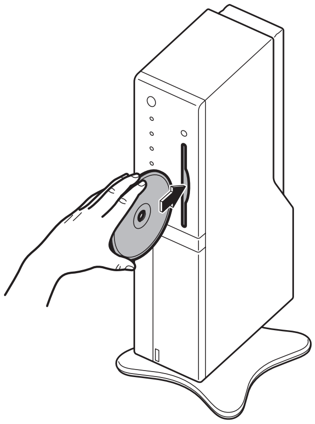
横置きの場合

ラベル面（文字が印刷されている面）を上にして挿入します。



縦置きの場合

ラベル面（文字が印刷されている面）を右にして挿入します。

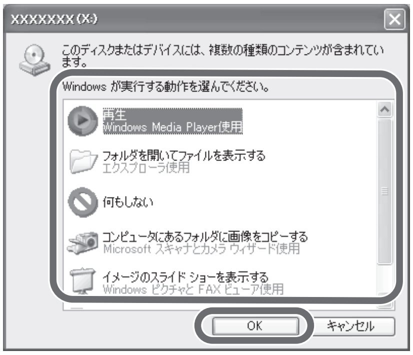


ディスクが自動的に CD/DVD ドライブにセットされます。

ご参考

- ディスクを挿入できないときは、[▲ 取出し] を押してディスクが入っていないか確認してください。
- 両面が再生できる DVD ビデオなどをセットする場合は、再生面の表記（Side A など）がある面を上（縦置きの場合は右）にしてセットしてください。

ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。また、ディスクをセットした後に以下のような画面が表示されたときは、Windows が実行する動作をクリックして選択し、[OK] をクリックします。
表示される画面は、ディスク内のデータによって異なります。

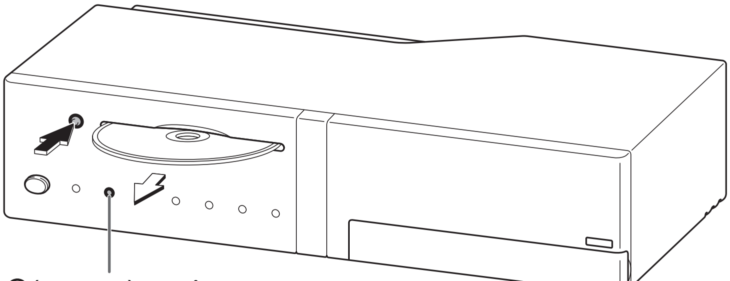


ディスクを取り出す

ご参考

- パソコンの電源が切れているときは、ディスクの取り出しはできません。

1 **(CD/DVD）ランプが消えていることを確認し、[▲ 取出し]を押します。**



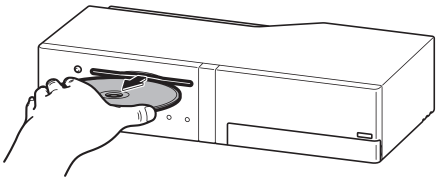
ディスクが出てきます。

ご注意

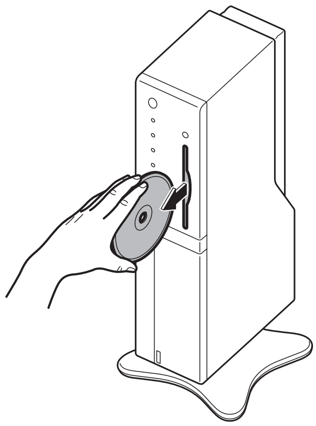
- (CD/DVD）ランプが点灯しているときは、[▲ 取出し］を押さないでください。誤動作の原因となります。

2 **ディスクの両端を持って取り出します。**

横置きの場合



縦置きの場合



データを書き込む

書き込みタイプのCDやDVDにデータを書き込むときは、以下の付属ソフトまたは機能を使用します。詳しくは、下記項目を参照してください。

- 「**音楽や映像を楽しむ**」（☞106ページ）
- 「**パソコンのデータを管理する**」（☞168ページ）
- 「**デジタル放送の録画番組をDVD-RAMに移動する（DVD作成）**」（☞ レコーダー機能編 の「**その他の機能**」）
- 「**地上アナログ放送の録画番組をDVDに残す（DVD作成）**」（☞ レコーダー機能編 の「**その他の機能**」）

CD-R／CD-RWにデータを書き込むには

Drag'n Drop CD+DVD5（付属ソフト）またはWindowsのCD書き込み機能を使用します。

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RWにデータを書き込むには

Drag'n Drop CD+DVD5（付属ソフト）またはUlead DVD MovieWriter 4 SE（付属ソフト）を使用します。

DVD-RAMにデータを書き込むには

DVD-RAMには、ハードディスクやメモリーカードにデータを保存する場合と同じ要領でデータの保存が可能です。また、Ulead DVD MovieWriter 4 SE（付属ソフト）またはStationTV Digital（PC-AX100Mのみに付属のソフト）を使うと、DVD-RAMに映像を書き込むことができます。

ご参考

- お使いのパソコンのCD/DVDドライブで書き込みできるディスクの種類については、「**使用可能なディスク**」（☞27ページ）を参照してください。
- Drag'n Drop CD+DVD5（付属ソフト）を使ってディスクをバックアップするときは、コピー元のデータディスクと異なった種類のディスクには書き込むことができません。コピー元のデータディスクと同じ種類のディスクをご使用ください。
- 新しいDVD-RAMを使用するときは、ディスクをフォーマットしてください。また、Ulead DVD MovieWriter 4 SEを使用してデータを書き込むときは、「ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）」でフォーマットしてください。詳しくは「**新しいDVD-RAMをフォーマットする**」（☞173ページ）を参照してください。

書き込みに失敗しないために

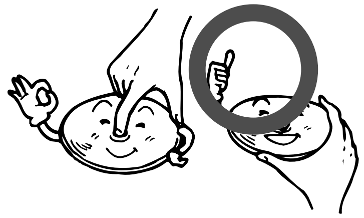
書き込みが途中で不意に止まったりすることを避けるために、書き込みの操作をする前に次の準備をしてください。

- スクリーンセーバーを「なし」に設定する。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。

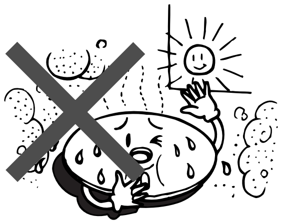
また、いったん書き込みが始まったら、終了するまでリモコンのボタンやキーボードのキーは必要なとき以外押さないでください。書き込み失敗の原因になります。

ディスクの取り扱い

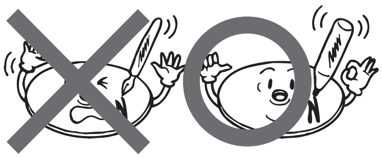
ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。
使用禁止のディスクを CD/DVD ドライブに挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になります。



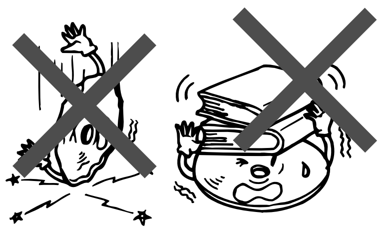
ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。



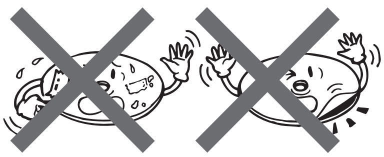
直射日光の当たるところや暖房器具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。



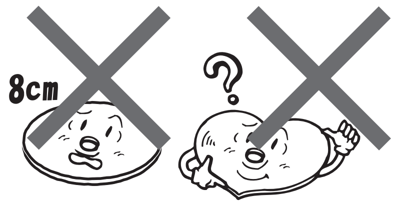
CD-R などのラベル面に文字を書くときは、先の硬い筆記用具を使わないでください。傷が付くと、データが読めなくなります。



落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。



シールやテープなどは貼らないでください。また、はがしたあとがあるものは使わないでください。

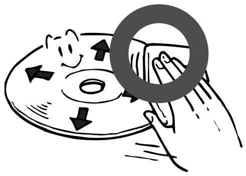


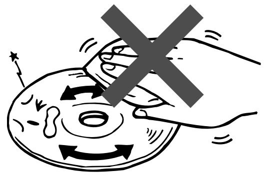
8cm のディスクおよび特殊形状（ハート形や八角形、名刺型など）や DVD Slim disc などの規格外ディスクは使わないでください。また、8cm ディスク用の変換アダプターも使用できません。

	市販のクリーニングディスクは使わないでください。
	ひび割れしていたり、変形・破損しているディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷が付くことがあります。





書き込みタイプのディスクをお使いのときは

記録面に傷やほこりが付かないように注意してください。
傷やほこりが付くと、データの書き込みが正しくできなくなります。ほこりが付いたときは、カメラ用の清掃用ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

ご注意

- 次のものは使用しないでください。ディスクを傷める恐れがあります。
  - アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
  - 研磨剤を含むクリーナー
  - レコード用のスプレーやクリーナー
  - 静電防止剤

MEMO

インターネット／通信

インターネットに接続する

インターネットに接続するには、さまざまな通信方法があります。このパソコンでは、ADSL や CATV 、FTTH など、ブロードバンド時代の高速インターネットサービスに対応しています。

【入門ガイド～パソコンの基礎】もあわせて参照してください

- **【入門ガイド～パソコンの基礎】**では、インターネットのしくみ、インターネットへの接続方法、ホームページの見かたや電子メールの送受信の方法など、インターネットに関する基本を詳しく説明しています。
  【入門ガイド～パソコンの基礎】を起動するには、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「パソコン冊子マニュアル PDF」－「入門ガイド～パソコンの基礎」をクリックします。
- PC-AX100M に内蔵されているモデムは、デジタル放送視聴の際に、双方向番組への参加や有料放送の受信情報管理に使用するものですので、内蔵モデムを使ってインターネットに接続できません。

ADSL、CATV、FTTH、ISDN回線をご利用の場合

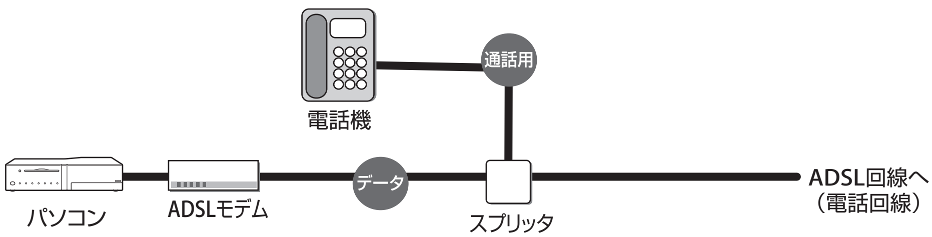
- 各機器とパソコンとの接続方法およびインターネット接続の設定方法などについては、各機器の説明書、および、ご利用のプロバイダー、ADSL 接続事業者、CATV 局などから送られてくる説明書を参照してください。
  パソコンの LAN ジャックついては、「**ネットワークに接続する（LAN）**」(☞ 58 ページ)、USB コネクターについては、「**USB 機器を使う**」(☞ 75 ページ）を参照してください。

インターネットに接続するには ....

いろいろな通信方法がありますが、ここでは、ADSL、CATV 、FTTH、ISDN 回線について説明します。

ADSL

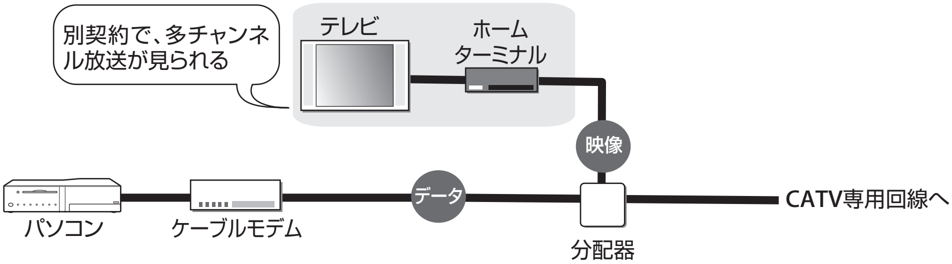
ADSL は、一般電話回線（アナログ）を使って、インターネットに高速で常時接続するサービスです。ADSL を利用するためには、ADSL 接続サービスを提供している会社（ADSL 接続事業者）への申し込みが必要です。



必要な機器：ADSL モデム、スプリッタなど

CATV（ケーブルテレビ）

CATV は、電話回線を使用しないで、ケーブルテレビの専用回線を利用してインターネットに接続します。CATV を利用するためには、CATV インターネット接続サービスを提供している CATV 局への申し込みが必要です。



必要な機器：ケーブルモデム、分配器など

FTTH（光ファイバー）

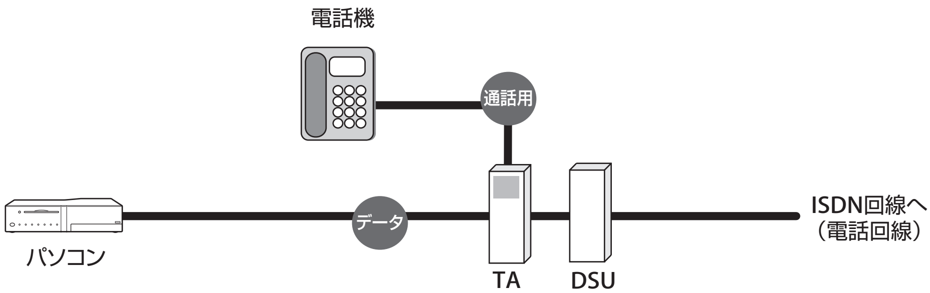
FTTH は、光ファイバーケーブルを各家庭に引き込んでインターネットに接続します。FTTH を利用するためには、FTTH に対応しているプロバイダーへの申し込みが必要です。



必要な機器：回線終端装置など

ISDN 回線

ISDN 回線は、一般電話回線よりもノイズなどの影響を受けにくく安定した通信ができる電話回線です。ISDN 回線を利用するためには、NTT への ISDN 回線の申し込みと、ISDN 回線に対応しているプロバイダーへの申し込みが必要です。



必要な機器：DSU およびターミナルアダプタ（TA）など
DSU を内蔵した TA も発売されています。

見ているテレビ番組の公式ホームページなどをチェックする（WEB 情報）

テレビのチューナーでテレビを見ているときに、番組の公式ホームページ（または関連ホームページ）をチェックできます。



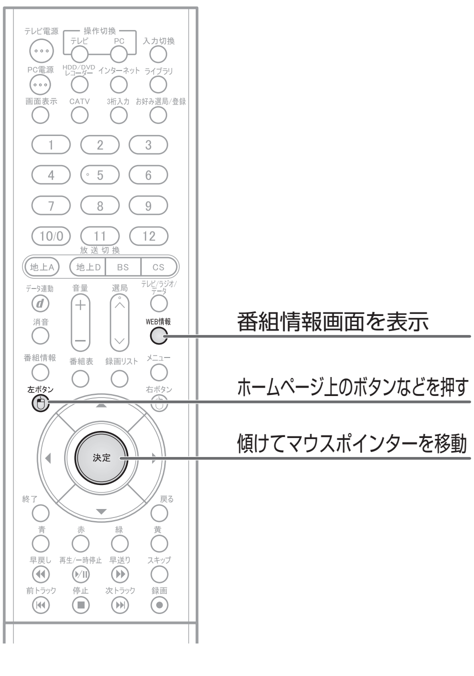
例えば、料理番組を見ていて気になるメニューがでてきたとき、番組のホームページを開いてそのメニューのレシピを見る、といった使い方ができます。

「WEB 情報」機能を使う前に次のことを確認してください

- RS-232C ケーブル（付属）でパソコンとテレビを接続している
- パソコンのテレビソフトでチャンネル設定を済ませている
- このパソコンでインターネットに接続できる

ご参考

- 「WEB 情報」機能は、テレビのチューナーで見ている、地上アナログ放送･ BS デジタル放送･ 110 度 CS デジタル放送に対応しています。CATV や一部放送局の番組情報は表示されません。また、番組に直接関係のないホームページが表示されることもあります。
- 「WEB 情報」機能は、「ONTV JAPAN」のサービスの一部を利用しています。サービス内容および仕様については、予告なく変更・中止となる可能性があります。あらかじめご了承ください。



1 **テレビのチューナーでテレビを視聴中、パソコンに向けて WEB情報 を押します。**

番組情報画面が表示されます。



ご参考

- 番組情報画面に表示される項目は番組によって異なります。

2 決定を傾けてマウスポインターを「関連情報」欄の「テレビ関連公式サイト」や「関連情報サイト」などの項目に移動させ、左ボタンを押します。



公式ホームページや関連のホームページが表示されます。



テレビに戻るには、再度WEB情報を押します。

ご参考

- 「インターネット検索」欄で Google またはフレッシュアイを選んで、GO を押すと、検索エンジンを使って番組関連のホームページを検索できます。

リモコンでインターネットを楽しむ（チャンネル UI）

まるでテレビのチャンネルを変えるように、リモコンでお好きなホームページやブロードバンド放送などを手軽に楽しめます。

ご参考

- 当社製液晶カラーテレビ「LD-32SP1」、「LD-37SP1」以外のモニター／テレビをお使いの場合、正しく表示できないことがあります。

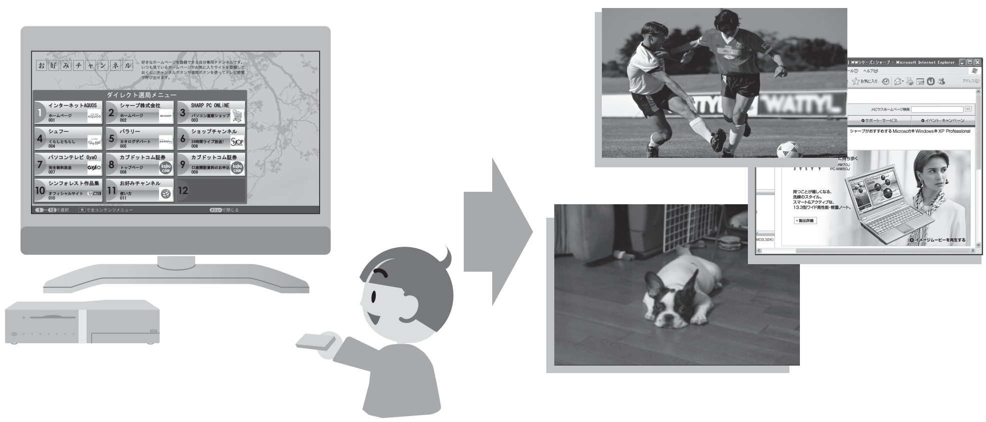
インターネットに接続するには

インターネットを利用するには、インターネット接続サービス会社（プロバイダー）に加入し、接続のための設定を行う必要があります。「インターネットに接続する」（☞ 38 ページ）を参照してください。

はじめよう！チャンネル UI

チャンネル UI では次のことができます。

- お好みのホームページを見る（☞ 47 ページ）
- ブロードバンド放送を楽しむ（☞ 51 ページ）



リモコンで見たいコンテンツを選ぶだけで…

ブロードバンド放送やお好みのホームページが見られます!

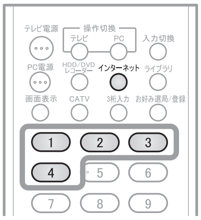
操作のおおまかな流れ

目的のインターネットメニューを選択

インターネットを押して表示される「インターネット」メニューから、1～12で目的のメニューを選びます。

- お好みチャンネル ....いつも見ているホームページやお気に入りのサイトを登録してすぐに見ることができます。
- TV Bank ....多彩なブロードバンド放送を見ることができます。
- OCN スーパーチャンネル........映像コンテンツやショッピング、子育て支援サイトなど多彩な生活サイトが用意されています。





ページが表示されます

各チャンネルメニューの最後に開いたページが表示されます。



チャンネルボタンや選局ボタンで次々とページを選択

1～12や選局でチャンネルメニュー内のページを切り換えて表示します。



チャンネルメニューからお好みのページを選択

メニューを押して表示されるチャンネルメニューから1～12でお好みのページを選びます。



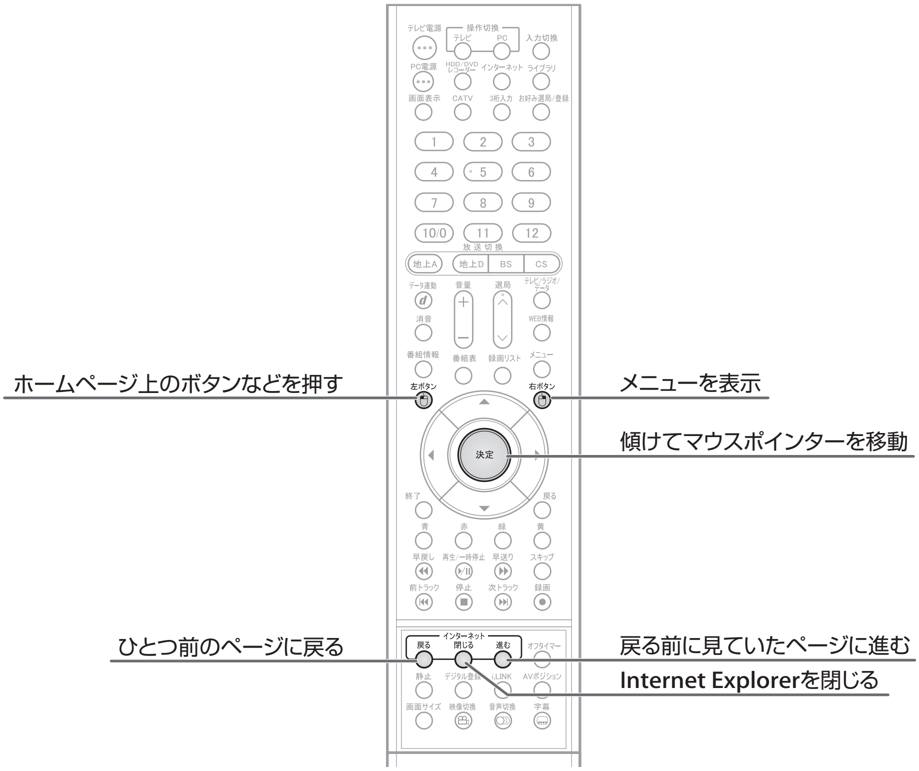




選択したページが開きます。

リモコンでインターネット操作するには

インターネットでホームページを見るために、Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）という付属の WEB ブラウザソフトを使用します。Internet Explorer をリモコンで操作する方法は以下の通りです。



ボタン	働き	補足情報
決定	傾けた方向にマウスポインター（ または ）が移動します。	
左ボタン	ホームページ上のボタンなどを押すときに使います。マウスポインターをボタンなどの上に置いて、 から に変わるところで 左ボタン を押してください。	左ボタン を 1 回押すことを「クリック」、左ボタン をすばやく 2 回押すことを「ダブルクリック」と呼びます。マウスの左ボタンと同様の働きをします。
右ボタン	マウスポインターがある場所に応じたメニューを表示します。	右ボタン を押すことを「右クリック」と呼びます。マウスの右ボタンと同様の働きをします。
戻る	現在見ているページのひとつ前のページに戻ります。	画面左上にある と同じ働きをします。
進む	戻る を押す前に表示していたページに進みます。	画面左上にある と同じ働きをします。
閉じる	Internet Explorer を閉じます（終了します）。	画面右上にある と同じ働きをします。

見たいところが隠れているときは

見ているページによっては、画面に入りきらないものもあります。このとき画面の右や下に「まだ続きがある」ということを示す「スクロールバー」が表示されます。スクロールバーが表示されているときに、を画面の見たい方向へ動かすと、隠れているところを見ることができます。



を押す

を押す



スクロールバー

右に隠れていたところが見えるようになります。

を押す

を押す



下に隠れていたところが見えるようになります。

ホームページの表示を拡大する

リモコンやキーボード操作で、ホームページを拡大表示できます。
ホームページの文字が、離れた場所からでも見やすくなります。

1 「お好みのホームページを見る」（☞ 次ページ）の操作で、ホームページを表示します。

2 ○（赤）を押します。

押すたびに、
100% → 125% → 150% → 175% → 100%...
と、ホームページが拡大表示されます。





キーボードの［拡大表示］を押しても同じ働きをします。

Liquid Surf ツールバーから操作するには

① Internet Explorer でホームページを表示します。
② 画面上部に表示されている Liquid Surf ツールバーの 🔍 をクリックし、拡大・縮小率をクリックします。
拡大・縮小率を選択するとホームページが拡大・縮小して表示されます。

Liquid Surf ツールバーが表示されていないときは

- 全画面表示の場合
  ① 画面上部に表示されているメニューバーの上で右クリックします。
  ② 表示されたメニューの「Liquid Surf for SHARP」をクリックし、チェックマークを付けます。
- ウィンドウ表示の場合
  ① 画面上部に表示されているメニューバーの「表示」をクリックします。
  メニューが表示されます。
  ②「ツールバー」－「Liquid Surf for SHARP」をクリックし、チェックマークを付けます。

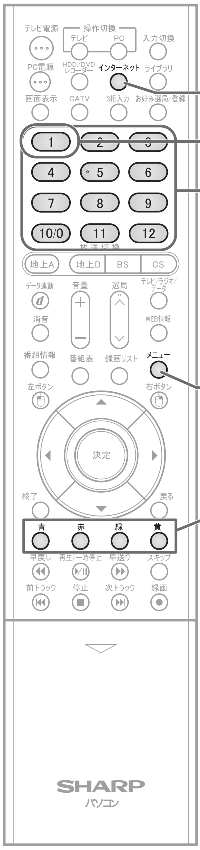
ご参考

- ホームページの内容によっては、拡大表示されない場合や、レイアウトが正しく表示されない場合または、拡大された文字がきれいに表示されない場合があります。

お好みのホームページを見る

いつも見ているホームページやお気に入りのサイトを、お好みチャンネルに登録しておくと、リモコンでチャンネルを選ぶように見ることができます。

お好みチャンネルのホームページを見る



カラーボタンの使い方は、画面下部に表示される操作ガイドを参照してください。

1 インターネット を押します。

「インターネット」メニューが表示されます。



2 1 を押して「お好みチャンネル」を選びます。

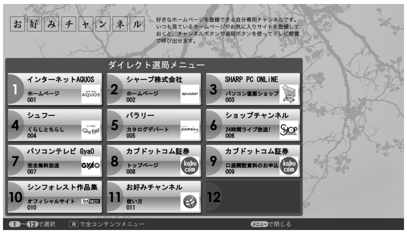


最後に開いたお好みチャンネルのホームページが表示されます。



3 メニュー◯ を押します。

チャンネルメニューが表示されます。



メニューに表示されている項目は、メニューが消えている状態でも、メニューと同じ番号の ①〜⑫ で選択できます。

ご参考

- 青◯ を押すと「全コンテンツメニュー」に切り換わります。前トラック⏮、次トラック⏭を押すと前または次のページのメニューが表示されます。
- チャンネルメニューを閉じるには、メニュー◯ を押します。

4 ①〜⑫ で見たいホームページのボタンを押します。

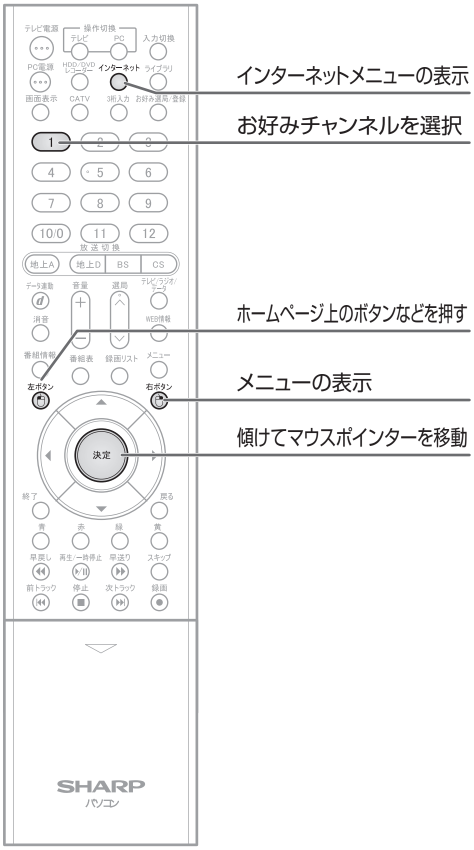
選択したページが表示されます。



選局∧∨ を押すと、次または前のお好みチャンネルのホームページを選ぶこともできます。

お好みチャンネルにホームページを登録する

お好みのホームページを表示させて、お好みチャンネルに登録します。



1 **インターネット〇 を押します。**

「インターネット」メニューが表示されます。



2 **(1) を押して「お好みチャンネル」を選びます。**

最後に開いたお好みチャンネルのホームページが表示されます。

3 **決定 を傾けてマウスポインターを画面上部に表示されているアドレスバーの「アドレス」欄に移動して、左ボタン を押します。**

「アドレス」欄に入力されている文字が反転表示され、アドレスを入力できる状態になります。



4 キーボードを使って登録したいホームページのアドレス（URL）を入力します。

ここでは「アクオス」のホームページのアドレス（http://www.sharp.co.jp/aquos/）を入力してみましょう。

ご参考

- アドレスとはホームページの住所のようなものです。「http://」で始まる英記号の集まりが一般的です。

5 (決定) を押します。

「アクオス」のホームページが表示されます。

6 ホームページ画面上で 右ボタン を押します。

メニューが表示されます。

7 (決定) を傾けてマウスポインターを動かして「このページをお好みチャンネルに登録する」を選び、左ボタン を押します。



「お好みチャンネル設定」画面が表示されます。

8 (決定) を傾けてマウスポインターを動かして［追加］を選び、左ボタン を押します。

必要に応じて「新しく追加するチャンネル」欄をキーボードで変更してください。



ホームページが、「お好みのホームページ」のリストに追加されます。

9 決定 を傾けてマウスポインターを動かして［OK］を選び、左ボタン を押します。

これで、登録は完了です。
お好みチャンネルメニューから登録したホームページが見られます。

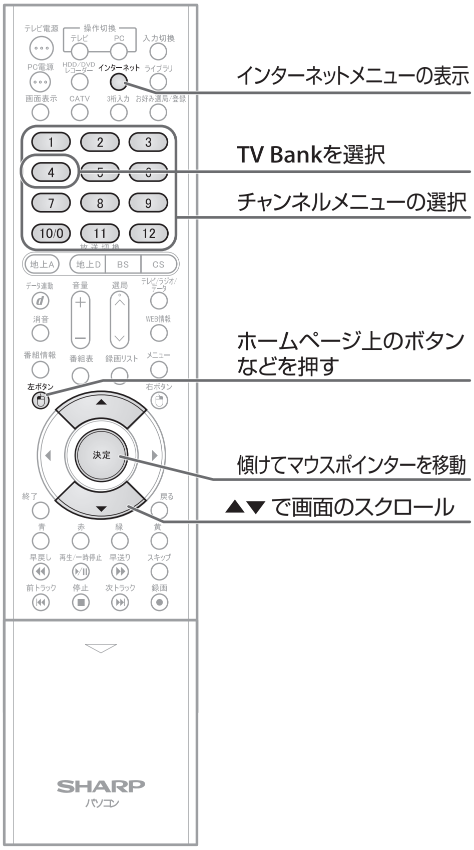
ご参考

- 「お好みチャンネル設定」画面は、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP チャンネル UI」－「お好みチャンネルの設定」をクリックしても表示できます。

ブロードバンド放送を楽しむ

ブロードバンド放送とは、映像や音声がインターネットで配信されているサービスです。
このパソコンではソフトバンクグループ提供のインターネット動画サービス、TV Bank が用意されています。
数多くある映像や音声の中から、お好みのものを選んで視聴してみましょう。
ブロードバンド放送には、チャンネル型動画配信や VOD（ビデオ・オン・デマンド）などがあります。

- チャンネル型動画配信
  テレビ放送のように、番組表にもとづいて映像や音声が配信されています。
- VOD
  一定期間、決まった映像や音声が配信サイトで公開されています。これらは好きな時間に視聴することができます。



1 （インターネット）を押します。

「インターネット」メニューが表示されます。



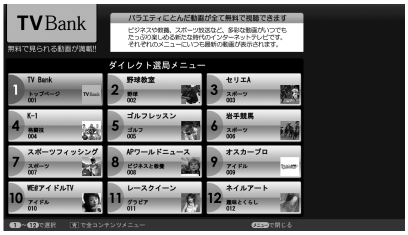
2 （4）を押して「TV Bank」を選びます。



最後に開いた TV Bank のページが表示されます。

3 （メニュー）を押します。

チャンネルメニューが表示されます。



メニューに表示されている項目は、メニューが消えている状態でも、メニューと同じ番号の（1〜10/0、11、12）で選択できます。

ご参考

- （青）を押すと「全コンテンツメニュー」に切り換わります。（前トラック）、（次トラック）を押すと前または次のページのメニューが表示されます。
- チャンネルメニューを閉じるには、（メニュー）を押します。

4 で見たいホームページのボタンを押します。

選択したジャンルのページが表示されます。



［選局］で TV Bank のチャンネルメニューの次または前のページを選ぶこともできます。

5 ビデオガイドの中から見たい映像を探します。



画面の下（上）に続きがある場合は、（）を押すと続きを見られます。
マウスポインター（ または ）を「次ページ」（「前ページ」）の上に移動させ、左ボタン を押すと、次ページ（「前ページ」）が表示されます。

6 決定 を傾けてマウスポインター（ または ）を「見る」の上に移動させ、左ボタン を押します。



映像の再生が始まります。



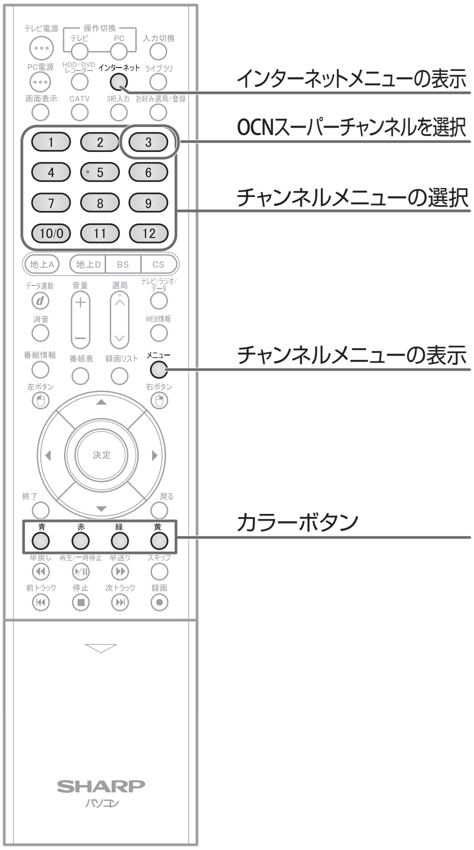
ご参考

- 表示される内容は、インターネットのサービスを利用しています。サービスの内容および仕様については、予告なく変更・中止となる可能性があります。あらかじめご了承ください。
  また、各チャンネルの設定は、インターネットを通じて自動更新されるようになっており、固定的なものではありません。

いろんなホームページを見てみる

あらかじめ「インターネット」メニューに登録されているホームページを見てみましょう。

- **OCN スーパーチャンネル**
  NTT コム社提供の暮らしの情報閲覧チャンネルです。
  リモコンのチャンネル UI 操作により、生活ポータルサイトを呼び出せます。



カラーボタンの使い方は、画面下部に表示される操作ガイドを参照してください。

1 インターネット ○ **を押します。**

「インターネット」メニューが表示されます。



2 （3）**を押して「OCN スーパーチャンネル」を選びます。**



最後に開いた OCN スーパーチャンネルのホームページが表示されます。

3 メニュー ○ **を押します。**

チャンネルメニューが表示されます。



メニューに表示されている項目は、メニューが消えている状態でも、メニューと同じ番号の 1～12 で選択できます。

ご参考

- 青〇 を押すと「全コンテンツメニュー」に切り換わります。前トラック⏮、次トラック⏭ を押すと前または次のページのメニューが表示されます。
- チャンネルメニューを閉じるには、メニュー〇 を押します。

4 **①～⑫ で見たいホームページのボタンを押します。**

選択したページが表示されます。



選局 ［選局］を押すと、OCN スーパーチャンネルのチャンネルメニューの次または前のホームページが表示されます。

ご参考

- 表示される内容は、インターネットのサービスを利用しています。サービスの内容および仕様については、予告なく変更・中止となる可能性があります。あらかじめご了承ください。
  また、各チャンネルの設定は、インターネットを通じて自動更新されるようになっており、固定的なものではありません。

IP 電話を楽しむための準備をする

IP 電話とは、インターネット回線を使った電話サービスです。
インターネット回線を使用するので一般加入電話、携帯電話ともに割安で使用することができます。
リモコンで IP 電話を使うためのソフトを起動することができます。
また、通話相手も IP 電話を利用している場合は、文字や画像データを送信したり、WEB 用カメラ（市販）を通じてテレビ電話を楽しむことができます。

ご参考

- 音声通話には、市販のヘッドセットやマイクが必要です。
  また映像付きのテレビ電話には、市販の WEB 用カメラが必要です。
  動作確認済みのヘッドセットやWEB用カメラについては、サービス提供会社のホームページを参照してください。

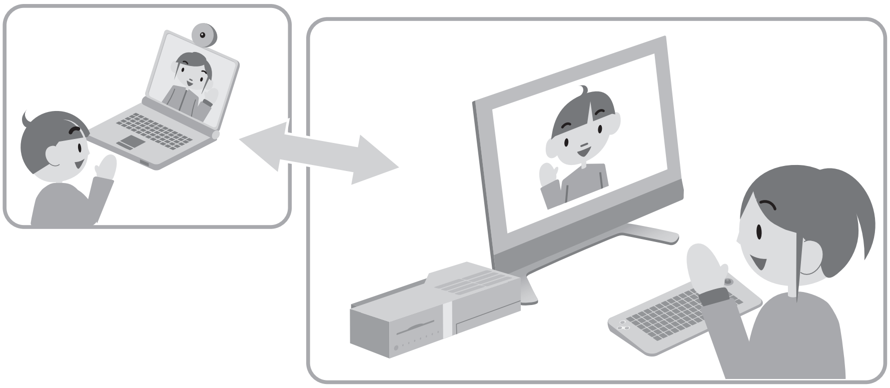
はじめよう！ IP 電話

IP 電話を利用するには、NTT コミュニケーションズ株式会社が提供する IP テレビ電話サービス「ドットフォンパーソナル V」への加入が必要です。
ご利用に際しての詳細は、下記のホームページをご覧ください（2006 年 4 月現在）。

http://coden.ntt.com/service/pv/

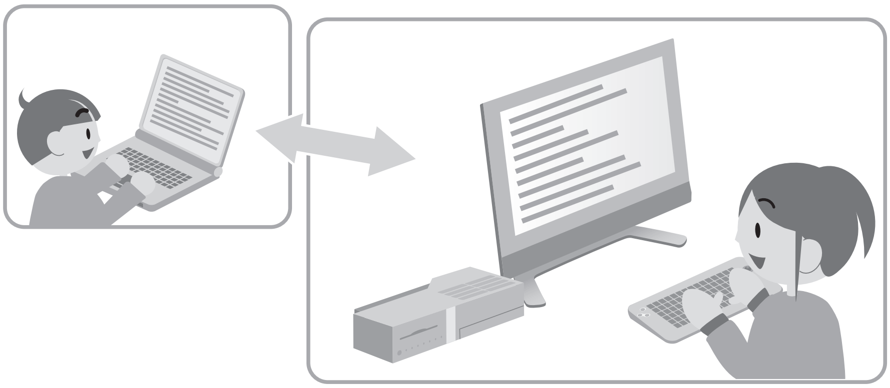
ドットフォンパーソナル V には次の機能があります。

- **IP テレビ電話**
  WEB 用カメラ（市販）の映像を相互にやりとりしながら、映像付きの音声通話が楽しめます。



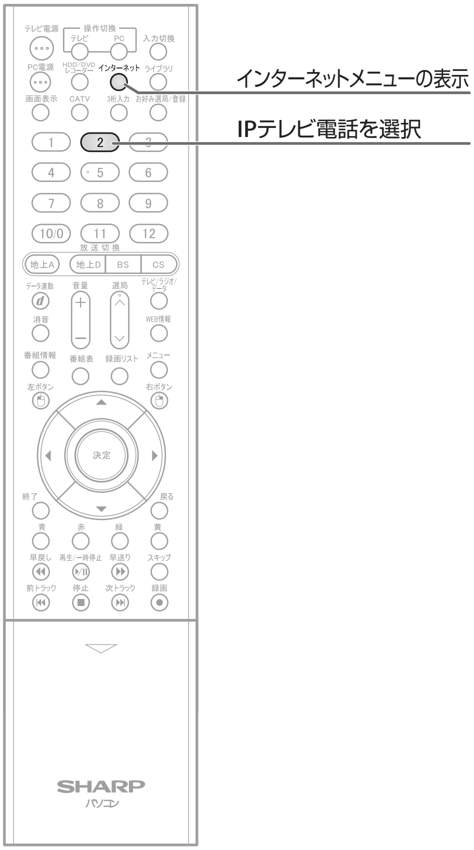
※ IP テレビ電話を利用するためには、WEB 用カメラ（市販）を接続しておく必要があります。

- **チャット**
  通話中でも、リアルタイムで文字による会話が楽しめます。
  長い URL など、口では伝えにくいことも簡単かつ正確に伝えることができます。



- **ホワイトボード**
  通話中に、一緒に絵を描いたり、画像ファイルを送受信することができます。
- **プレゼンス**
  通話する前に画面上で相手が会話できる状態かどうかを一覧で確認でき、通話相手を選んで発信することもできます。

ドットフォンパーソナル V の利用環境の確認、加入申し込みをする



1 **（インターネット）を押します。**

「インターネット」メニューが表示されます。



2 **（2）を押して「IP テレビ電話」を選びます。**



あとは、表示された画面から、利用環境の確認や加入申し込みを行ってください。

ネットワークに接続する（LAN）

このパソコンを自宅で 2 台目としてお使いになる場合など、パソコン同士でデータをやりとりするときは、ネットワークを利用すると便利です。
使用する環境に応じた方法で接続し、ネットワークの設定をしてください。

パソコンをネットワークに接続する

LAN ケーブルでハブを経由してネットワークに接続する

市販の LAN ケーブル（ストレートケーブル）を使ってパソコンの LAN ジャックとハブを接続します。

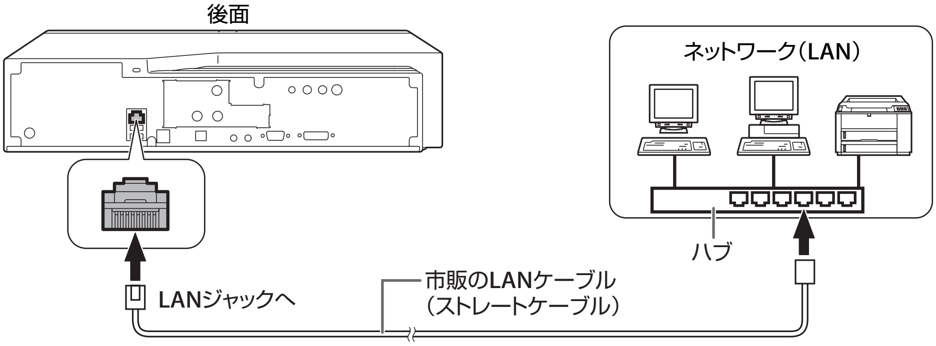
10BASE-T の LAN に接続する場合　　：カテゴリ 3 以上のケーブル

100BASE-TX の LAN に接続する場合　：カテゴリ 5 以上のケーブル

1000BASE-T の LAN に接続する場合　：エンハンストカテゴリ 5 以上のケーブル

1 パソコンの電源を切ります。

2 パソコンをハブに接続します。



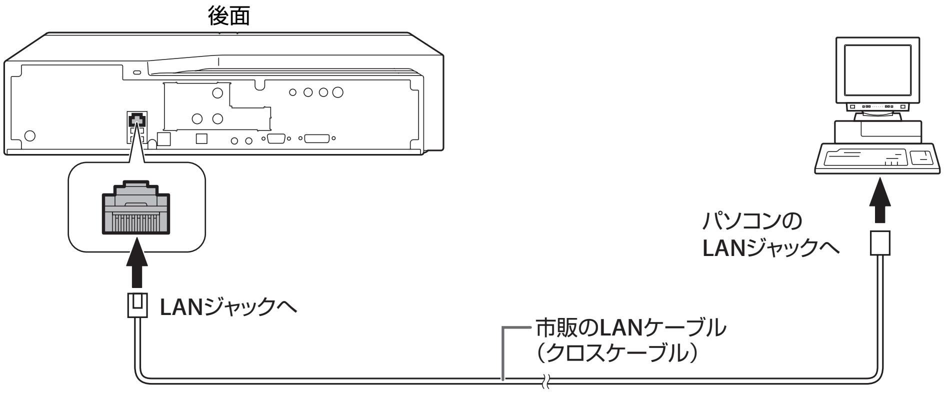
3 パソコンの電源を入れます。

LAN ケーブルで 2 台のパソコンを直接接続する

市販の LAN ケーブル（クロスケーブル）を使って、このパソコンの LAN ジャックともう一台のパソコンの LAN ジャックを接続します。

1 **パソコンの電源を切ります。**
接続先のパソコンも電源を切ってください。

2 **このパソコンともう一台のパソコンを接続します。**



3 **両方のパソコンの電源を入れます。**

ワイヤレス LAN で接続する

ご購入時は、このパソコンにワイヤレス LAN は内蔵されていません。市販のワイヤレス LAN アダプターをご利用いただくことによりワイヤレスでネットワークに接続することができます。

ご参考

- ワイヤレス LAN アダプター（市販）の使い方や設定方法などについては、ワイヤレス LAN アダプターの説明書を参照してください。

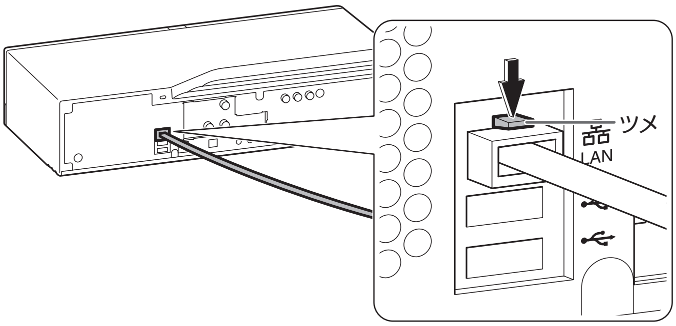
LAN ケーブルを取り外す

ご注意

- LAN ケーブルをパソコンから取り外すときは、必ず LAN ケーブルのツメを押しながら取り外してください。無理に引き抜くとツメが折れるので注意してください。

1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **LAN ケーブルのコネクターのツメを押しながら、まっすぐに引き抜きます。**



ネットワークを設定する

ネットワークを設定するには、ネットワークの環境によっていろいろな方法があります。ここでは、次の場合を例に説明します。

- インターネットに接続していない 2 台のパソコンを LAN ケーブルで接続する場合
- 接続する先のパソコンの OS は Windows XP、Windows Me、Windows 98
- ネットワークの設定に「ネットワークセットアップウィザード」を使用

ネットワークを設定する前に

「**LAN ケーブルで 2 台のパソコンを直接接続する**」（☞前ページ）を参照してパソコン同士を接続し、それぞれ電源を入れておいてください。

このパソコンのネットワークを設定する

1 **[スタート] をクリックし、「すべてのプログラム」ー「アクセサリ」ー「通信」ー「ネットワークセットアップウィザード」をクリックします。**

ネットワークセットアップウィザード画面が表示されます。

2 **[次へ] をクリックします。**

3 **[次へ] をクリックします。**

「ネットワークハードウェアの接続が切断されていることが検出されました」と表示されたときは

- 「接続」欄に「ローカルエリア接続」が表示されているときは、[キャンセル] をクリックしてネットワークセットアップウィザードをいったん終了した後、接続先のパソコンの電源が入っているか、LAN ケーブルが接続されているか確認して、もう一度手順 **1** からやり直してください。
- 「接続」欄に「ワイヤレスネットワーク接続」が表示されているときは、「接続されていないネットワークハードウェアを無視する」をクリックしてチェックマークを付け、[次へ] をクリックしてください。

4 **「その他」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。**

5 **「インターネットに接続していないネットワークに属している」をクリックして選択し、[次へ] をクリックします。**

「このコンピュータの説明と名前を入力してください。」と表示されたときは、手順 **9** へ進んでください。

6 **「ネットワークへの接続を選択する」をクリックし、[次へ] をクリックします。**

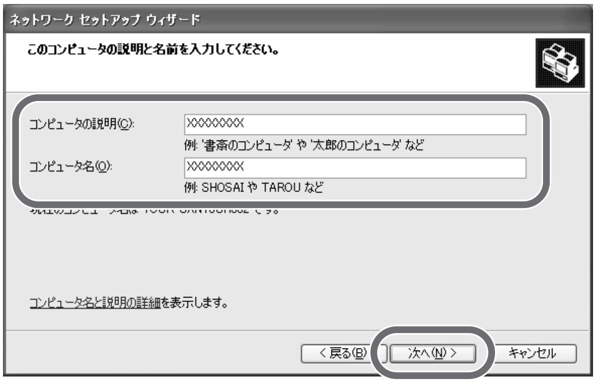
7 **「ローカルエリア接続」のみにチェックマークが付いている状態にします。**

「ワイヤレスネットワーク接続」や「1394 接続」が表示されているときはクリックしてチェックマークを外してください。

8 **[次へ] をクリックします。**

9 **「コンピュータの説明」欄にコンピュータの説明を、「コンピュータ名」欄にコンピュータの名前を入力し、［次へ］をクリックします。**

「コンピュータ名」は、ネットワーク上でコンピュータを区別するための名前です。このパソコンと接続先のパソコンは、それぞれ違う名前を付けてください。



10 **「ワークグループ名」欄に任意の名前を入力し、［次へ］をクリックします。**

このパソコンと接続先のパソコンのワークグループ名は、同じ名前を付けてください。

11 **「ファイルとプリンタの共有を有効にする」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

12 **［次へ］をクリックします。**

ネットワークの設定が始まります。

13 **「ほかのコンピュータでウィザードを実行する必要はない（ウィザード終了）」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

14 **［完了］をクリックします。**

確認画面が表示されます。

15 **［はい］をクリックします。**

パソコンが再起動します。

接続先のパソコンのネットワークを設定する

接続先のパソコンが Windows XP の場合

接続先のパソコンも「このパソコンのネットワークを設定する」(☞ 61 ページ）の作業をしてください。ただし、手順 **10** でワークグループ名を入力して［次へ］をクリックしたあと、「ファイルとプリンタの共有」画面が表示されないときは、手順 **11** を省略して手順 **12** に進んでください。

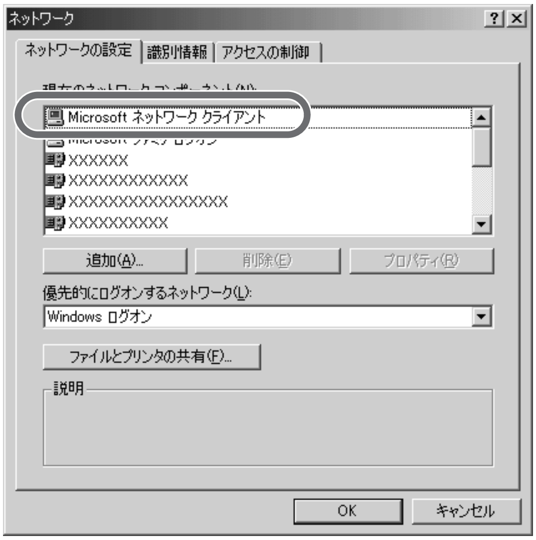
接続先のパソコンが Windows Me または Windows 98 の場合

1 **［スタート］をクリックし、「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**

「ネットワーク」画面が表示されます。
「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「現在のネットワークコンポーネント」欄に「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されているか確認します。**

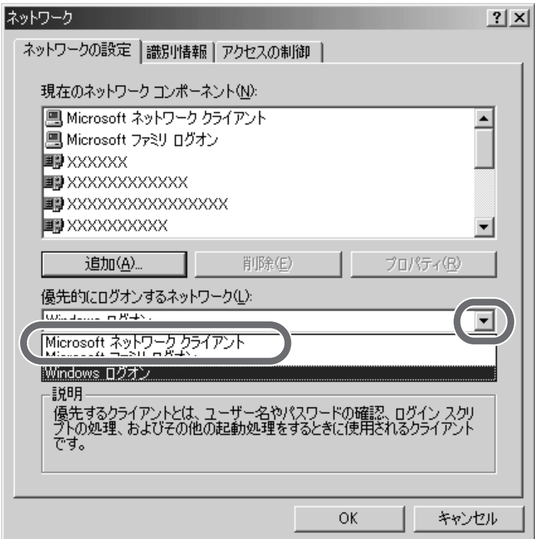
表示されている場合は、手順 **4** に進んでください。



3 **「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていない場合、以下の操作をして、「Microsoft ネットワーククライアント」を表示させせます。**

① ［追加］をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの選択」画面が表示されます。
② 「クライアント」をクリックして選択し、［追加］をクリックします。
「ネットワーククライアントの選択」画面が表示されます。
③ 「製造元」欄から「Microsoft」をクリックして選択し、「ネットワーククライアント」欄から「Microsoft ネットワーククライアント」をクリックして選択します。
④ ［OK］をクリックします。
「現在のネットワークコンポーネント」欄に「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されます。

4 **「優先的にログオンするネットワーク」欄の ▼ をクリックし、「Microsoft ネットワーククライアント」をクリックします。**



5 **［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。**

「ファイルとプリンタの共有」画面が表示されます。

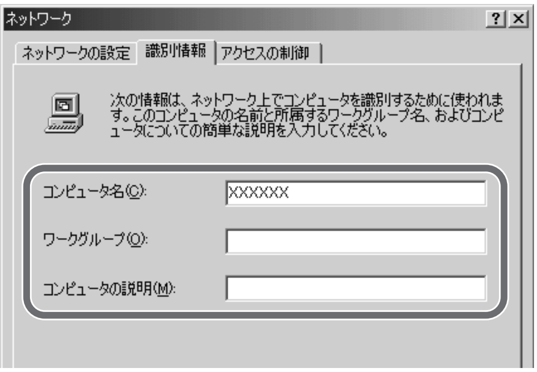
6 **「ファイルを共有できるようにする」をクリックしてチェックマークを付け、［OK］をクリックします。**

プリンターも共有したいときは、「プリンタを共有できるようにする」をクリックしてチェックマークを付けてください。

7 **「識別情報」タブをクリックします。**

8 「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」を入力します。

「ワークグループ」は、「このパソコンのネットワークを設定する」の手順 **10**（☞ 62 ページ）で入力したワークグループ名と同じ名前を入力してください。



9 ［OK］をクリックします。

確認画面が表示されます。

10 ［はい］をクリックします。

パソコンが再起動します。

コンピュータ名やワークグループ名を変更するには

1 **［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

2 **「システムのタスク」欄の「システム情報を表示する」をクリックします。**
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 **「コンピュータ名」タブをクリックし、［変更］をクリックします。**
「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。

4 **「コンピュータ名」欄にコンピュータ名を、「ワークグループ」欄にワークグループ名をそれぞれ入力し、［OK］をクリックします。**
「コンピュータ名の変更」画面が表示されます。

5 **［OK］をクリックして「コンピュータ名の変更」画面を閉じます。**
確認画面が表示されます。「コンピュータ名」のみを変更した場合は、手順 **7** へ進みます。

6 **［OK］をクリックします。**

7 **［OK］をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。**
確認画面が表示されます。

8 **［はい］をクリックします。**
パソコンが再起動します。

このパソコンから他のパソコンのデータを見えるようにする

パソコンのデータを共有設定すると、お互いのパソコンのファイルやフォルダを利用できます。自分で作ったデータを他の人に見せたり、このパソコンで作った資料を自分のノートパソコンにコピーしたりと、データの持ち運びに便利です。

フォルダを共有する

ここでは、例として「共有」フォルダを共有する方法について説明しますが、同じようにしてドライブも共有できます。

このパソコンおよび接続先のパソコンが Windows XP の場合

1 **共有したいフォルダ（「共有」フォルダ）を右クリックし、「共有とセキュリティ」をクリックします。**

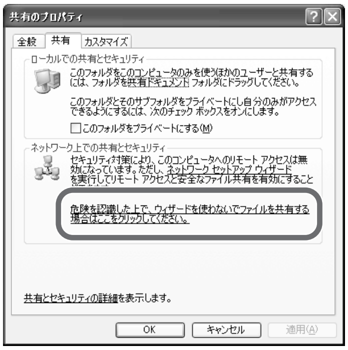
「共有のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、「共有名」を入力します。**

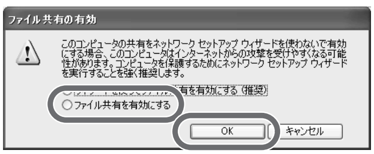
「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」が表示されないときは

- ネットワークセットアップウィザードを使用していないときや、Windows XP で初めてファイル共有するときは、次の画面が表示されます。以下の手順に従ってください。

① 「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。



② 「ファイル共有を有効にする」をクリックして選択し、［OK］をクリックします。



③ 「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」をクリックしてチェックマークを付け、「共有名」を入力します。

3 「Windows ファイアウォールの設定を表示します。」をクリックします。

画面に「Windows ファイアウォールの設定を表示します。」が表示されていないときは、手順 **6** に進みます。

4 「例外」タブをクリックし、「プログラムおよびサービス」欄で「ファイルとプリンタの共有」にチェックマークが付いていることを確認します。

チェックマークが付いていないときは、クリックしてチェックマークを付けてください。

5 ［OK］をクリックして、「Windows ファイアウォール」画面を閉じます。

6 ［OK］をクリックして、「共有のプロパティ」画面を閉じます。

共有されたフォルダのアイコンに が表示されます。

接続先のパソコンが Windows Me または Windows 98 の場合

1 共有したいフォルダ（「私の共有」フォルダ）を右クリックし、「共有」をクリックします。

「私の共有のプロパティ」画面が表示されます。

2 「共有する」をクリックして選択し、「共有名」を入力します。

3 「アクセスの種類」欄でアクセス権の種類をクリックして選択し、必要に応じてパスワードを入力します。

4 ［OK］をクリックします。

パスワードを設定したときは、パスワードの確認画面が表示されますので、もう一度同じパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。
共有されたフォルダのアイコンに が表示されます。

共有したフォルダを利用する

ここでは、例として他のパソコン（コンピュータ名：Mebius）の「共有」フォルダ内のファイルを、このパソコンのデスクトップ上にコピーする方法を説明します。

1 ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

「ネットワークとインターネット接続」が見つからないときは、「コントロールパネル」欄の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックして表示させてください。（**「コントロールパネルの表示について」**☞6ページ）

3 「関連項目」欄の「マイネットワーク」をクリックします。

「マイネットワーク」画面が表示されます。

4 「ネットワークタスク」欄の「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックします。

同じワークグループに所属するパソコンのアイコンがすべて表示されます。

5 「Mebius」をダブルクリックします。

共有した「共有」フォルダが表示されます。

6 「共有」フォルダをダブルクリックします。

「共有」フォルダにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力してください。

「共有」フォルダ内のファイルが表示されます。

7 このパソコンのデスクトップ上にファイルをドラッグ & ドロップします。

ファイルがコピーされます。

8 画面右上の ☒ をクリックして「共有 -Mebius」画面を閉じます。

MEMO

周辺機器

接続できる機器を確かめる

プリンターやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクターの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているのか、などを確かめましょう。

使える機器を確かめる

Windows XP に対応している周辺機器を選びましょう

周辺機器のカタログやパッケージで、Windows XP に対応しているか確認してください。

専用のデバイスドライバーをインストールするものがあります

デバイスドライバーは、周辺機器を認識するためのソフトウェアです。デバイスドライバーのフロッピーディスクや CD-ROM が付属している場合は、説明書に従ってパソコンにインストールしましょう。フロッピーディスクを使用する場合、別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

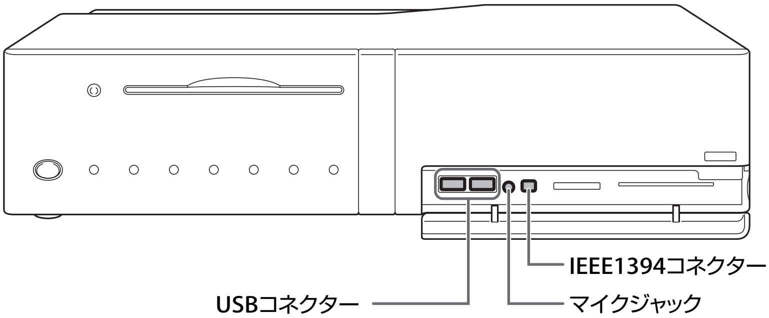
ご参考

- 接続可能な周辺機器については、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のインターネット AQUOS のホームページを参照してください。動作確認がとれ次第サポート情報の機種別ページにて、順次ご案内します。
  http://www.sharp.co.jp/i-aquos/

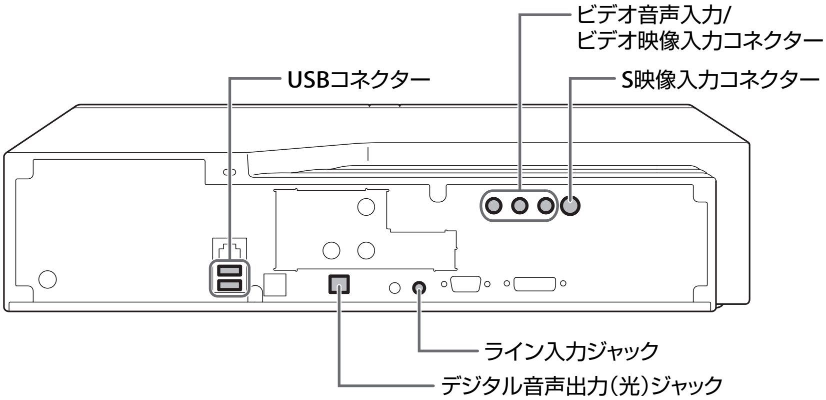
コネクターの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクターがあります。コネクターの名前や形状を確認してください。

前面



後面



IEEE 1394

IEEE1394 コネクター（DV コネクター）

IEEE1394 規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「IEEE1394 対応」などの表示があります。
IEEE1394 対応機器には、デジタルビデオカメラ、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブなどがあります。

コネクターの形状

USB コネクター（A タイプ）

USB 規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB 対応」などの表示があります。USB 対応機器には、マウス、キーボード、プリンター、ハードディスクドライブ、スピーカーなどがあります。

コネクターの形状

S 映像入力コネクター ［StationTV G2（付属ソフト）専用］

S 映像出力端子のあるビデオカメラやビデオデッキなどを接続します。

コネクターの形状

ビデオ音声入力／ビデオ映像入力コネクター ［StationTV G2（付属ソフト）専用］

アナログ音声／映像出力端子のあるビデオカメラやビデオデッキなどを接続します。

コネクターの形状

ライン入力ジャック

ライン出力端子（LINE OUT）のあるオーディオ機器を接続します。

ジャックの形状

マイクジャック

外部マイクを接続します。

ジャックの形状

デジタル音声出力

デジタル音声出力（光）ジャック

デジタル音声入力端子のある AV アンプ、ホームシアターシステム、MD レコーダーなどを接続します。

ジャックの形状

ご注意

- テレビの出力端子とパソコンのビデオ入力コネクター（または IEEE1394 コネクター）を接続しても、デジタル放送の番組は録画できません。

周辺機器

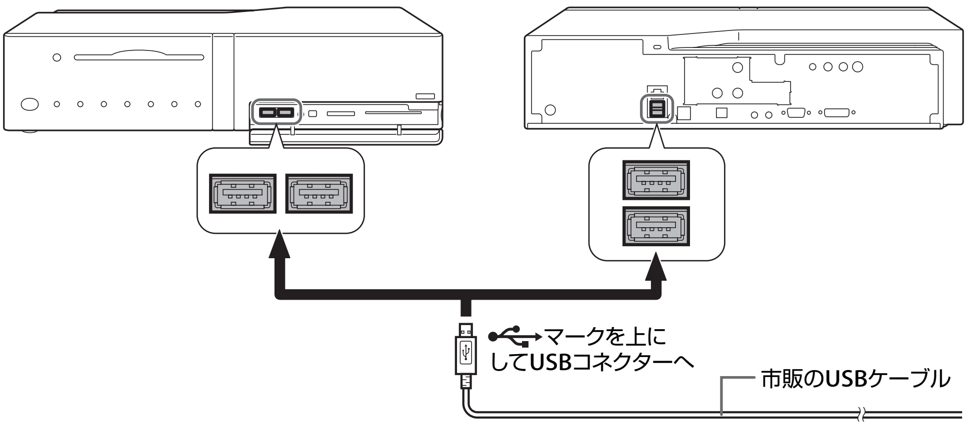
USB 機器を使う

USB 機器を使うには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、USB 機器の説明書もあわせて参照してください。

- Windows XP に対応している USB 機器を用意する。
- パソコンに USB 機器を接続する。
- デバイスドライバーが必要な場合、デバイスドライバーをパソコンにインストールする。

USB 機器を接続する

USB 機器に付属または市販の USB ケーブルで USB 機器とパソコンを接続します。USB コネクターはパソコンの前面と後面に 2 つずつあります。いずれのコネクターに接続してもかまいません。接続するときは、USB ケーブルの ⭠⭢ マークを上向きにしてください。



ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB 機器を接続することができます。
- 接続した USB 機器によっては、接続した後に対応するデバイスドライバーが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバーをインストールしてください。

USB2.0 について

このパソコンは、USB1.1 および USB2.0 に対応しています。USB2.0 は、USB1.1 よりも速いスピードでデータを転送することができます。USB2.0 の転送速度を利用するには、USB2.0 に対応している周辺機器および USB ケーブルを接続してください。ただし、USB1.1 規格のハブを経由して USB2.0 の周辺機器を接続した場合は、USB1.1 の転送速度に制限されます。

USB 機器を取り外す

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブなど、データを格納する周辺機器（記憶装置）は、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。接続している USB 機器は、デバイスを停止する必要があるかどうか、取り外す前に必ず確認してください。

ご参考

- 取り外し手順は接続する周辺機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書もあわせて参照してください。

タスクバーに が表示されていますか?
画面右下のタスクバーに が表示されているときは をクリックして が表示されていないか確認してください。また、 以外のアイコンが表示されていることもあります。USB機器の説明書も参照してください。

- はい → 次へ
- いいえ → 「デバイスを停止する必要はありません。」へ

画面右下にあるタスクバーの をクリックし、表示されるメニューに取り外したいUSB機器のデバイス名が表示されていますか?

- はい → 次へ
- いいえ → 「デバイスを停止する必要はありません。」へ

デバイスを停止する必要はありません。そのまま接続したUSB機器やUSBケーブルをパソコンから取り外してください。

下記の手順に従って、デバイスを停止してから、接続したUSB機器やUSBケーブルをパソコンから取り外してください。

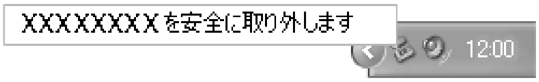
1 タスクバーの をクリックします。



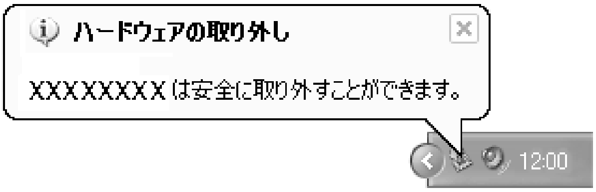


周辺機器

2 **表示されるメニューから、取り外したい USB 機器のデバイス名をクリックします。**



次の画面が表示されます。



3 **パソコンから USB 機器や USB ケーブルを取り外します。**

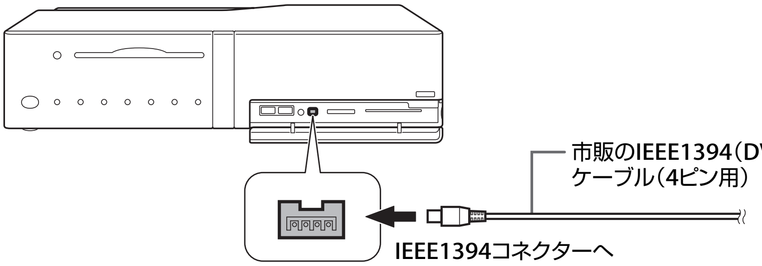
IEEE1394 機器を使う

IEEE1394 機器を使うには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、IEEE1394 機器の説明書もあわせて参照してください。

- Windows XP に対応している IEEE1394 機器を用意する。
- パソコンに IEEE1394 機器を接続する。
- デバイスドライバーが必要な場合、デバイスドライバーをパソコンにインストールする。

IEEE1394 機器を接続する

IEEE1394 機器に付属または市販の IEEE1394（DV）ケーブル（4 ピン用）で IEEE1394 機器とパソコンを接続します。



ご注意

- IEEE1394 コネクターに i.LINK (TS) 対応機器を接続することはできません。
  また、テレビの i.LINK (TS) 端子と接続しても、テレビで受信したデジタル放送を録画することはできません。
- Ulead DVD MovieWriter 4 SE（付属ソフト）は、HDV 形式で記録されたハイビジョンビデオカメラの映像の取り込みには対応していません。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、IEEE1394 機器を接続することができます。
- 接続した IEEE1394 機器によっては、接続した後に対応するデバイスドライバーが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバーをインストールしてください。
- スタンバイまたは休止状態から復帰した後、接続している IEEE1394 機器が認識できない場合があります。この場合は、いったん IEEE1394 ケーブルを外して、再度接続してください。

IEEE1394 機器を取り外す

ハードディスクドライブなど、データを格納する周辺機器（記憶装置）は、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。接続している IEEE1394 機器は、デバイスを停止する必要があるかどうか、取り外す前に必ず確認してください。

ご参考

- 取り外し手順は接続する周辺機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書もあわせて参照してください。

タスクバーに が表示されていますか?
画面右下のタスクバーに が表示されているときは をクリックして が表示されていないか確認してください。また、 以外のアイコンが表示されていることもあります。IEEE1394機器の説明書も参照してください。

- はい → 次の質問へ
- いいえ → 「デバイスを停止する必要はありません。」へ

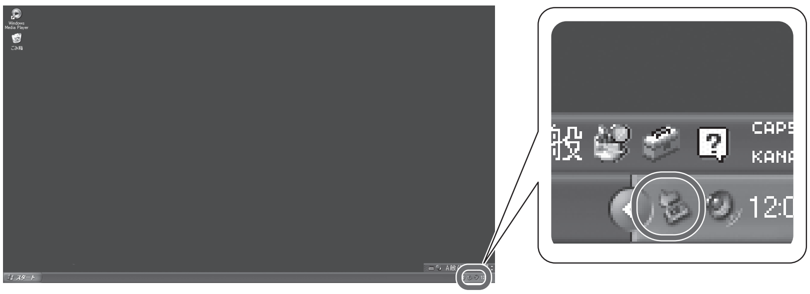
画面右下にあるタスクバーの をクリックし、表示されるメニューに取り外したいIEEE1394機器のデバイス名が表示されていますか?

- はい → 「下記の手順に従って…」へ
- いいえ → 「デバイスを停止する必要はありません。」へ

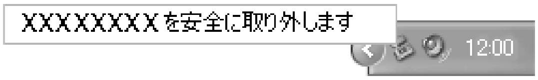
デバイスを停止する必要はありません。そのまま接続したIEEE1394（DV）ケーブルをパソコンから取り外してください。

下記の手順に従って、デバイスを停止してから、接続したIEEE1394（DV）ケーブルをパソコンから取り外してください。

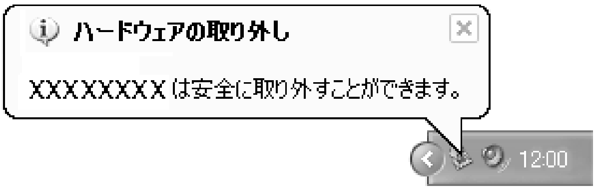
1 タスクバーの をクリックします。



2 表示されるメニューから、取り外したい **IEEE1394** 機器のデバイス名をクリックします。



次の画面が表示されます。



3 パソコンから **IEEE1394** 機器や **IEEE1394**（**DV**）ケーブルを取り外します。

フロッピーディスクを使う

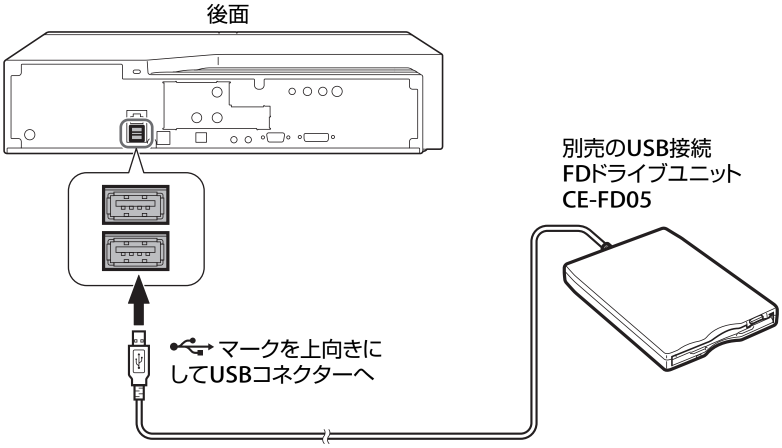
別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）を使うと、文書データなど比較的小さいデータをフロッピーディスク（FD）に保存できます。

フロッピーディスクドライブを接続する

フロッピーディスクドライブは以下のものをお買い求めください。

USB 接続 FD ドライブユニット　　CE-FD05

パソコンの電源を入れたまま接続できます。
USB コネクターはパソコンの前面と後面に 2 つずつあります。いずれのコネクターに接続してもかまいません。接続するときは、ケーブルの ⭠ マークを上向きにしてください。



ご参考

- このパソコンには、USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）用ドライバーがあらかじめ保存されています。はじめて USB 接続 FD ドライブユニット(CE-FD05) を接続したとき、ドライバーが自動的にインストールされますので、そのままご使用になれます。

フロッピーディスクドライブを取り外す

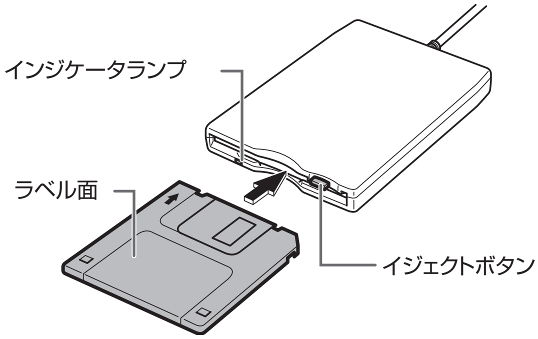
取り外す前にデバイスを停止する必要があります。「**USB 機器を取り外す**」(☞ 76 ページ）を参照して、デバイスを停止してから USB 接続ケーブルを取り外してください。

周辺機器

フロッピーディスクに保存する

1　フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを入れます。

ラベル面を上にして差し込んでください。

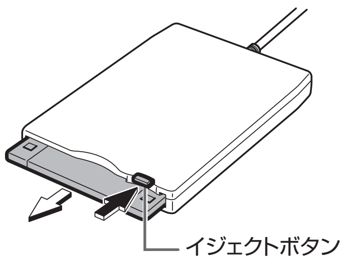


正しく差し込まれると、イジェクトボタンが少し飛び出します。
斜めに入れたり、上下を逆にしたりして、無理に押し込まないでください。

2　使用しているアプリケーションソフトで、「保存する場所」を「3.5 インチ FD（A:)」に指定して、作成したデータを保存します。

3　インジケータランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

フロッピーディスクの端が少し出てきて、取り出すことができます。



ご注意

インジケータランプ点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください

- インジケータランプ点灯中はフロッピーディスクへの書き込みが実行されています。途中でフロッピーディスクを抜くと、データが失われたり、破損したりすることがあります。

フロッピーディスクの取り扱い

フロッピーディスクに記録されているデータを保護するため、次のような点にご注意ください。

- シャッターを開けて直接シート（記録面）に触れないでください。
- 落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。
- 液体をこぼさないでください。
- 磁気を発生させるもの（磁石、スピーカーなど）の近く、直射日光の当たるところや暖房器具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

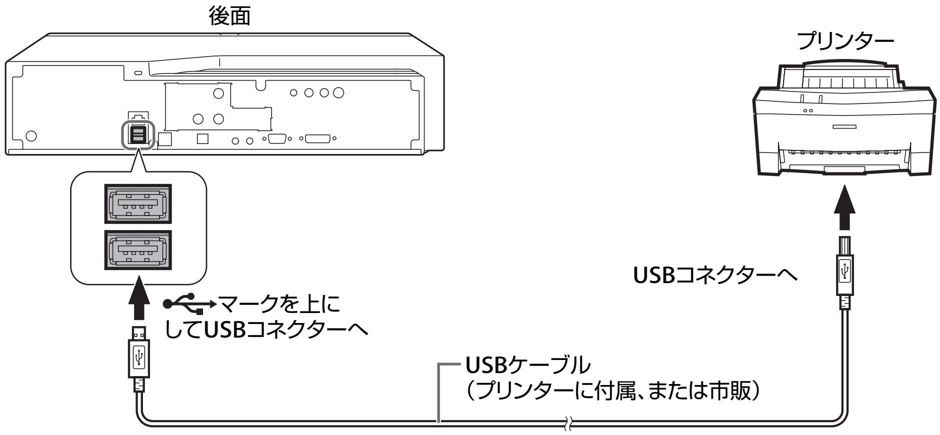
プリンターで印刷する

プリンターを接続して印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンターの説明書もあわせて参照してください。

- Windows XP に対応しているプリンター（USB 接続可能なもの）を用意する。
- パソコンにプリンターを接続する。
- プリンタードライバーをパソコンにインストールする。

プリンターを接続する

パソコンの電源を入れたまま接続できます。
USB コネクターはパソコンの前面と後面に 2 つずつあります。いずれのコネクターに接続してもかまいません。接続するときは、USB ケーブルの ⭠ マークを上向きにしてください。



プリンタードライバーをインストールする

プリンターを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。
プリンターの説明書を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。プリンターに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。フロッピーディスクを使用する場合、別売の USB 接続 FD ドライブユニット（CE-FD05）が必要です。

シャープ製、キヤノン製、エプソン製プリンターの場合

このパソコンには、次のプリンタードライバーがあらかじめ保存されています。
はじめて接続したときに、ドライバーが自動的にインストールされます。プリンターに付属のプリンタードライバーをインストールする必要はありません。

シャープ製プリンター

UX-MF40CW、UX-MF40CL、UX-MF30CW、UX-MF30CL

キヤノン製プリンター

PIXUS iP8600、PIXUS iP7500、PIXUS iP4200、PIXUS iP90
※はじめて接続すると「使用許諾契約書」が表示されますので、同意される場合は、[はい] をクリックしてください。

エプソン製プリンター

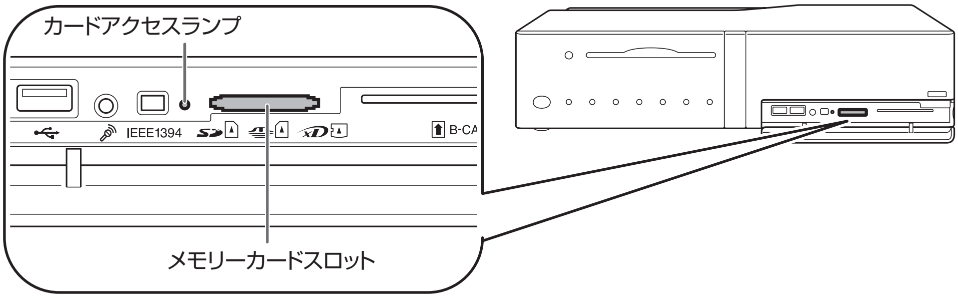
PX-V630、PX-G920、PX-A650、PM-G730、PM-D800、PM-D600、PM-A950、PM-A890、PM-A750

ご参考

- 印刷の設定などは、プリンターの説明書を参照してください。
- プリンターに関する質問などは、各メーカーにお問い合わせください。

メモリーカードを使う

メモリーカードスロットに SD メモリーカード、メモリースティックまたは xD-ピクチャーカードを差し込むと、データを保存したり、メモリーカードに保存されたデータを取り込むことができます。



周辺機器

このパソコンで使えるメモリーカード

- SD メモリーカード、miniSD カード
- メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティックデュオ、メモリースティック PRO Duo
- xD- ピクチャーカード

ご注意

マルチメディアカードを挿入しないでください

- マルチメディアカードは使用できません。マルチメディアカードをメモリーカードスロットに差し込むと、取り出せなくなり故障の原因となります。

ご参考

- miniSD カード、メモリースティックデュオおよびメモリースティック PRO Duo を使用するときは、市販の専用アダプターが必要です。
- SD メモリーカードおよびメモリースティックの著作権保護機能、高速転送機能には対応していません。
- このパソコンで使用できる SD カードは、メモリーカードのみです。PHS 通信カードなどの SD I/O カードは動作しません。
- メモリーカードは、データをやりとりする相手の機器でフォーマットしたものをお使いください。

「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンしてください

メモリーカードを使用するときは、必ず「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントでログオンしてください。「制限付きアカウント」でログオンすると、安全にメモリーカードを取り出すことができません。

メモリーカードを差し込む

ご参考

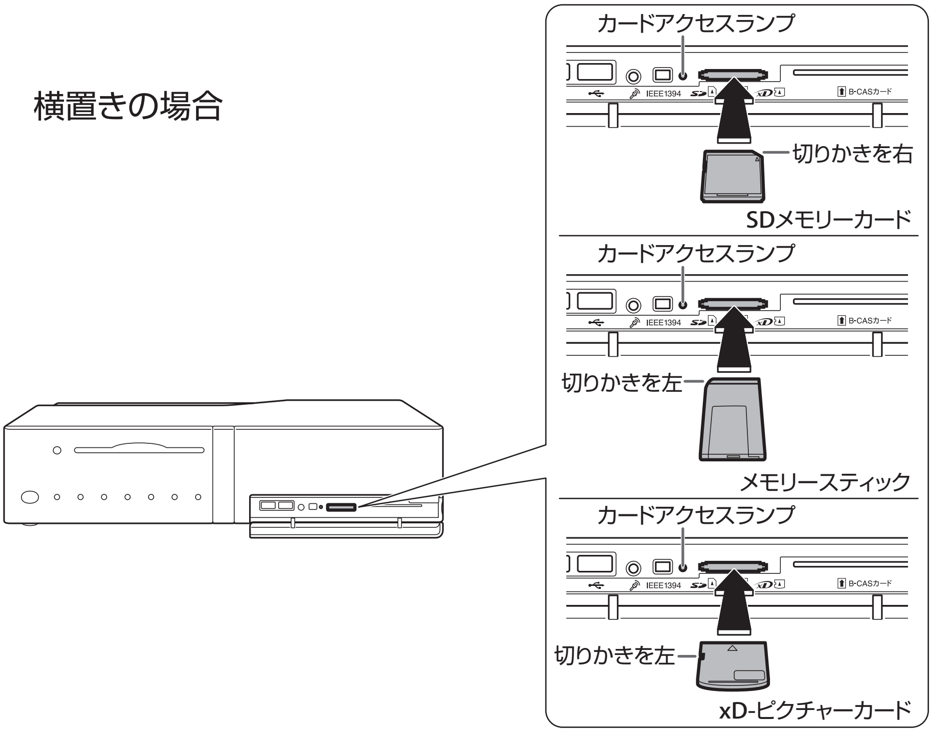
- 電源を入れた状態で、メモリーカードを差し込むことができます。
- 同時に複数のメモリーカードを差し込むことはできません。

1 **データを書き込むときは、メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除位置にして、書き込みできる状態にします。**

データを読み取るだけのときは、書き込み禁止スイッチが LOCK 位置にあっても読み取ることができます。書き込み禁止スイッチについては、メモリーカードの説明書を参照してください。

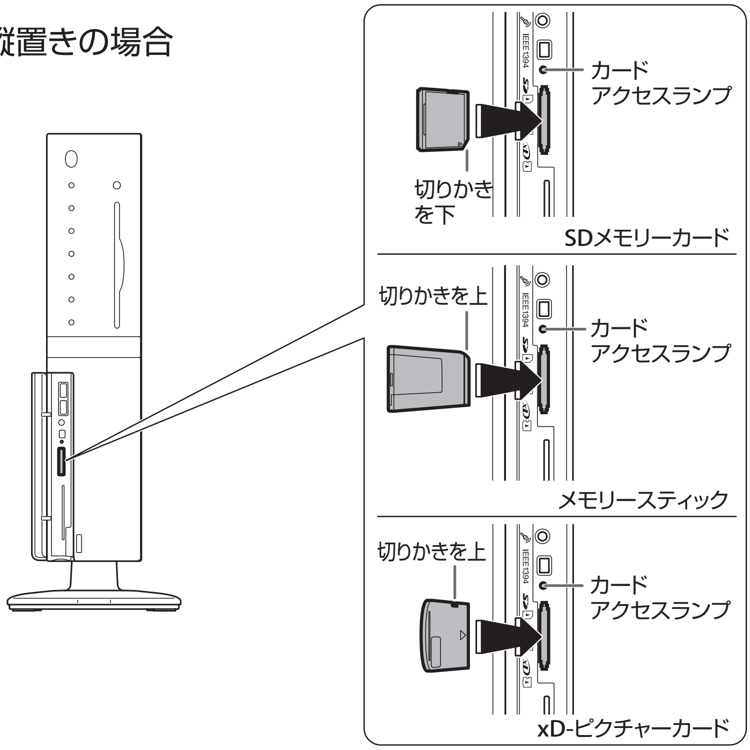
2 **メモリーカードを、図の方向にしてメモリーカードスロットに奥までしっかりと差し込みます。**

横置きの場合



周辺機器

縦置きの場合



正しく挿入されると「カチッ」と音がして、カードアクセスランプが点滅します。

ご注意

- メモリーカードは、必ずイラストどおりの向きで差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと故障の原因になります。

周辺機器

メモリーカードを差し込んだ後に以下のような画面が表示されたときは、Windows が実行する動作をクリックして選択し、[OK] をクリックします。表示される画面は、メモリーカード内のデータによって異なります。



メモリーカードの内容を表示したいときは

上記の画面で「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して、[OK] をクリックするか、「マイコンピュータ」画面で次のアイコンをダブルクリックします。

SD メモリーカードの場合	メモリースティックの場合	xD- ピクチャーカードの場合
SD Card	Memory Stick または MemoryStick PRO Card	XD Picture Card

※表示される名称は、使用環境によって異なります。

メモリーカードを取り出す

ご注意

- 必ず下記の手順どおりに操作してメモリーカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、パソコンが正常に動作しなくなったり、メモリーカードやデータが破損したりすることがあります。

1 カードアクセスランプが点滅していないことを確認します。

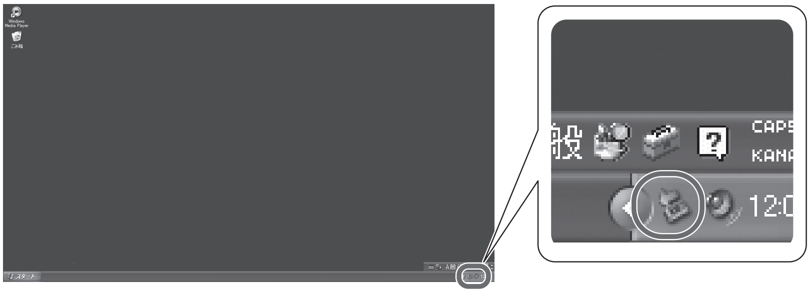
- メモリーカードに保存されているデータを開いているときは、データを閉じてください。
- データの保存・削除・コピーなどの処理中は、処理が完了するまで次の操作をしないでください。

ご参考

- キーボードやキーボードのトラックボールを操作すると、カードアクセスランプが点滅します。確認の際はキーボードに触らないようにしてください。

周辺機器

2　タスクバーの をクリックします。

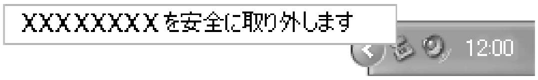


3　表示されるメニューから、「XXXXXXXX－ドライブ（G:）を安全に取り外します」をクリックします。

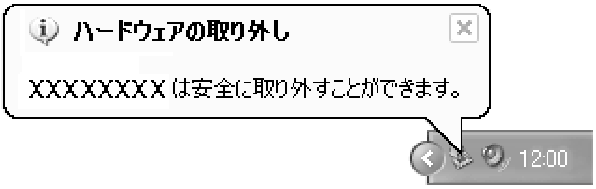
「XXXXXXXX」の箇所には、取り付けられているメモリーカードによって、それぞれ下記のように表示されます。

- SD メモリーカードの場合　　：SD1 Device
- メモリースティックの場合　：MemoryStick0 Device
- xD- ピクチャーカードの場合：XD0 Device

（G:）の下線部分「G」の箇所は、PC-AX50M では「（F:）」と表示されます。ただし、USB コネクターや IEEE1394 コネクターに周辺機器が接続されているときは、「G」または「F」以外の文字が表示されることがあります。



次の画面が表示されます。

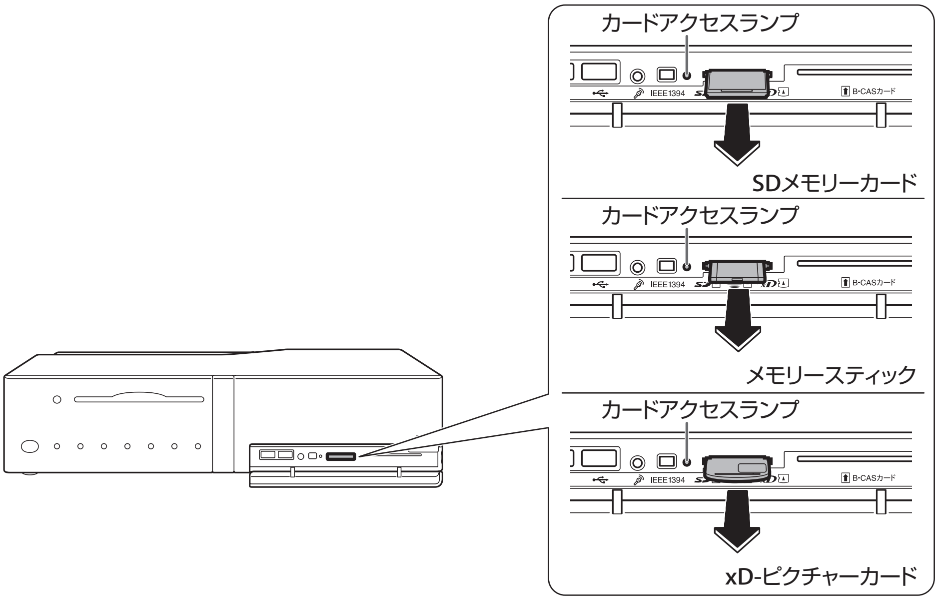


4　スロットのくぼみから見えている部分を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

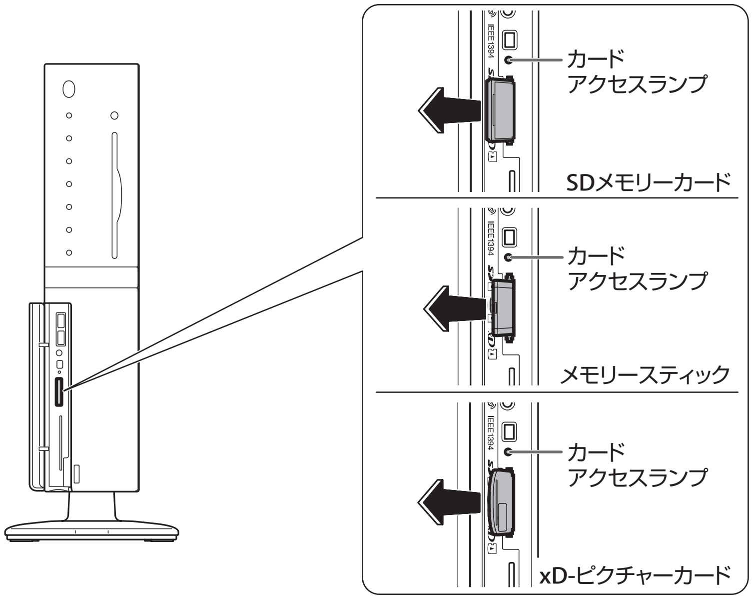
メモリーカードが少し出てきます。

5 メモリーカードをゆっくりと取り出します。

横置きの場合



縦置きの場合



マイク（市販）から音声を入力する

パソコン前面のマイクジャックに、マイク（市販）を接続して音声を録音できます。

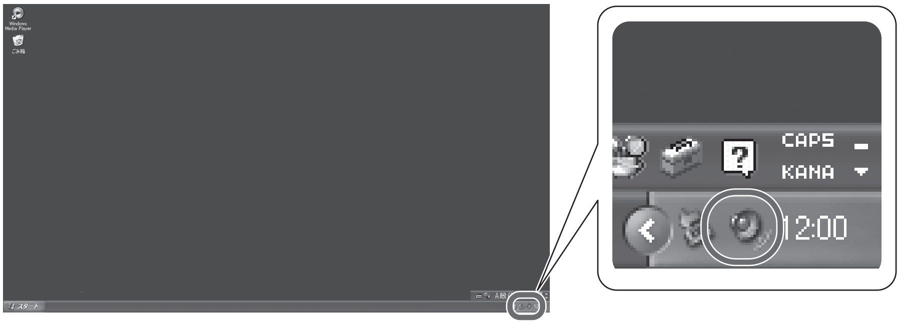
使用できるマイクの種類について

プラグ形状：	φ 3.5mm モノラルミニプラグ （ステレオミニプラグ（3 極プラグ）タイプのモノラルマイクも使用できます）
適合インピーダンス：	1.5k Ω～ 2.4k Ω
電源電圧：	DC 2.5V
タイプ：	エレクトレットコンデンサマイク

マイクからの入力を有効にする

下記の手順で、マイクからの録音ができるように設定します。

1 タスクバーの をダブルクリックします。



「マスタ音量」画面が表示されます。

2 「オプション」メニューをクリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「プロパティ」画面が表示されます。

3 「ミキサーデバイス」欄の をクリックし、表示されるメニューから「Realtek HD Audio input」を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

「録音コントロール」画面が表示されます。

5 「マイクボリューム」欄の「選択」をクリックしてチェックマークを付けます。

6 音量つまみを上下にドラッグして音量を調節します。

7 画面右上の をクリックし、「録音コントロール」画面を閉じます。

周辺機器

外部マイクを使用しないときは

外部マイクを使用しないときは、「マイクからの入力を有効にする」（☞ 前ページ）の手順 **5** で「ライン音量」の「選択」をクリックしてチェックマークを付けておいてください。

メモリーを増設する

メモリーを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを高速に処理できるようになったり、より多くのアプリケーションソフトを同時に起動できるようになります。
このパソコンのメモリースロットは 2 つあり、ご購入時は以下のように RAM ボードが取り付けられています。

PC-AX50M ： 1 つのスロットに 512MB の RAM ボードが取り付けられています。（空きスロットは 1 つです。）
PC-AX100M ： 2 つのスロットにそれぞれ 512MB の RAM ボードが取り付けられています。（空きスロットはありません。）

メモリー容量を増やすには、空きスロットに市販の増設 RAM ボードを取り付けるか、あらかじめ取り付けられている RAM ボードを、より容量の大きな RAM ボードと交換します。搭載可能な最大メモリー容量については、「**仕様一覧**」（☞ 257 ページ）の「**メインメモリー**」をご覧ください。

取り付け可能な増設RAM ボードについて

- 取り付け可能な増設 RAM ボードについては、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のインターネット AQUOS のホームページを参照してください。動作確認がとれ次第サポート情報の機種別ページにて、順次ご案内します。
  http://www.sharp.co.jp/i-aquos/

PC-AX100Mをお使いのときは

- PC-AX100M のメモリー容量を増設する場合は、必ず 2 つのスロットにそれぞれ 1GB の RAM ボードを取り付けてください。取り付ける RAM ボードの容量が異なると処理速度が遅くなり、デジタル放送の視聴・録画・再生時にコマ落ちする（音声や映像が一瞬途切れる）ことがあります。

増設 RAM ボードを取り付ける

ご注意

- RAM ボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。
  ・取り扱う前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃がしておく。
  ・静電気の起きやすい場所（カーペットの上など）では、取り付け作業をしない。
  ・RAM ボードの端子部分は、手で触れない。
  ・RAM ボードを保管するときは、RAM ボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。

1 パソコンの電源を切り、接続しているケーブル類をすべて取り外します。

ご注意

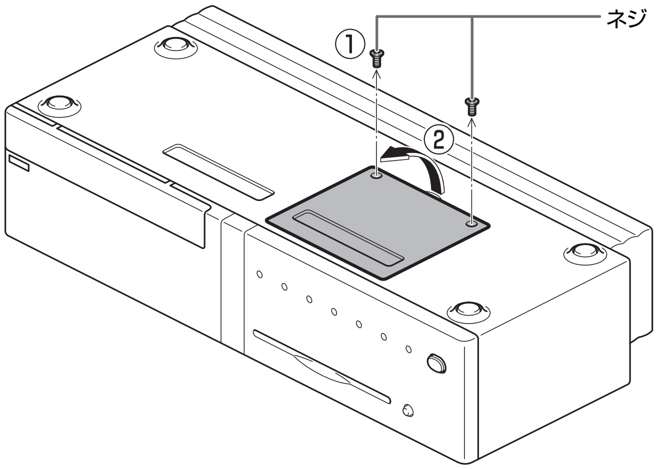
- 必ずパソコンの電源を切り、接続しているケーブル類をすべて取り外してください。故障の原因になります。
- 長時間使用した直後は、パソコン内部が熱くなっていることがあります。温度が下がるのを待ってから作業を開始するようにしてください。

2 パソコンを裏返し、カバーを取り外します。

① カバーのネジを外します。
② カバーを取り外します。

ご注意

- 縦置きで使用している場合は、必ず下記のようにパソコンの左側面を上にしてからカバーを取り外してください。このとき縦置きスタンドが邪魔になってパソコンを水平に置くことができない場合は、縦置きスタンドを取り外してください。（☞ 接続と準備編 の「**設置・接続**」－「**設置のしかた**」－「**縦置きスタンドの取り外し／取り付け**」）縦置きのままでメモリー交換の作業をすると、パソコンが転倒・転落し、故障やけがの原因となることがあります。

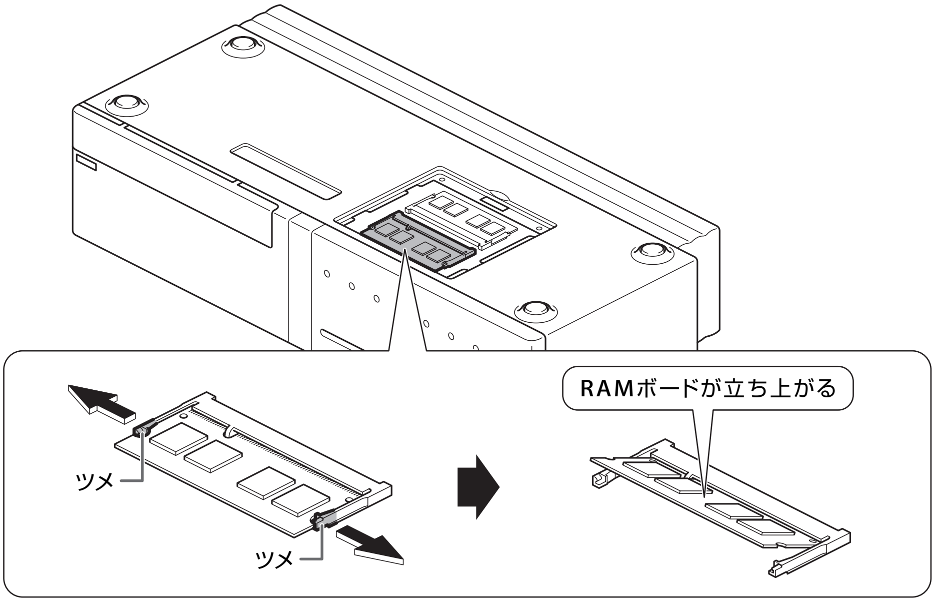


3 メモリースロットに RAM ボードを取り付けます。

- 空きスロットに RAM ボードを取り付けたい場合　：手順 **6** に進んでください。
- 取り付けられている RAM ボードを交換したい場合：手順 **4** に進んでください。
（2 つのスロットの RAM ボードを交換する場合は、手順 **4** から手順 **7** を繰り返してください。）

4 取り外す側のスロットの左右のツメを外側に開きます。

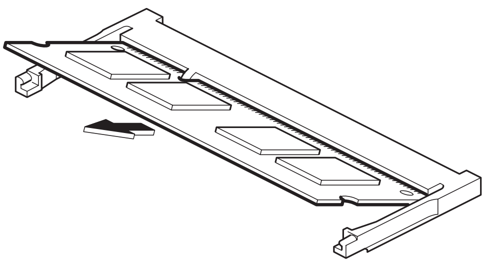
RAM ボードが立ち上がります。



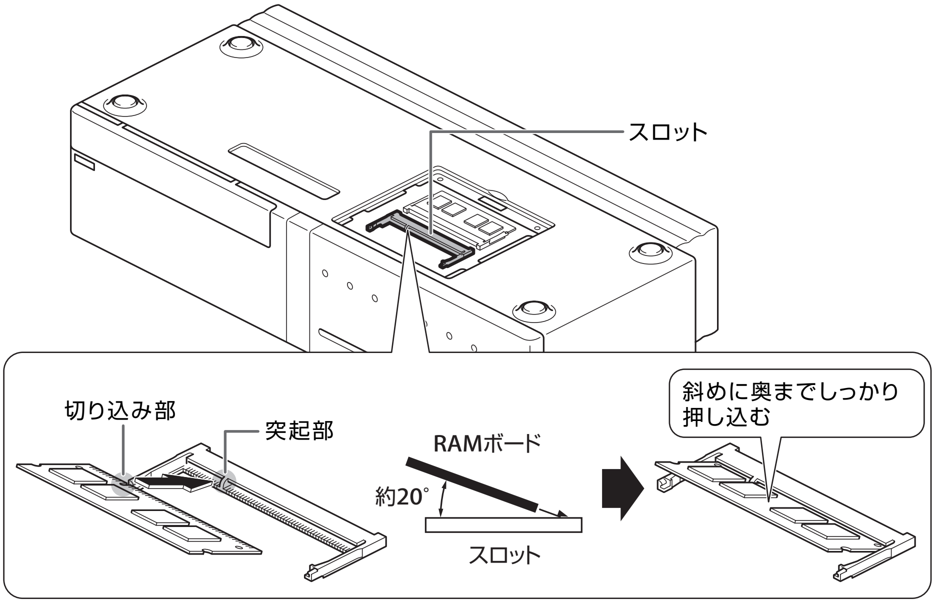
ご注意

- RAM ボードスロット両端の 2 つのツメには、強い力を加えないでください。ツメの変形、破損の原因になります。

5 RAM ボードをまっすぐ引き抜きいて、取り外します。

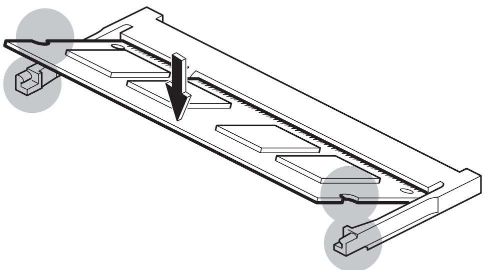


6 RAM ボードの切り込み部を取り付ける側のスロットの突起にあわせて、斜めに奥までしっかり押し込みます。

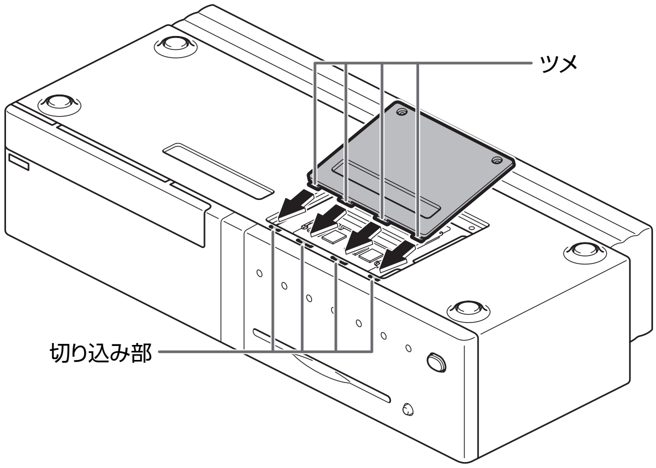


7 RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し下げます。

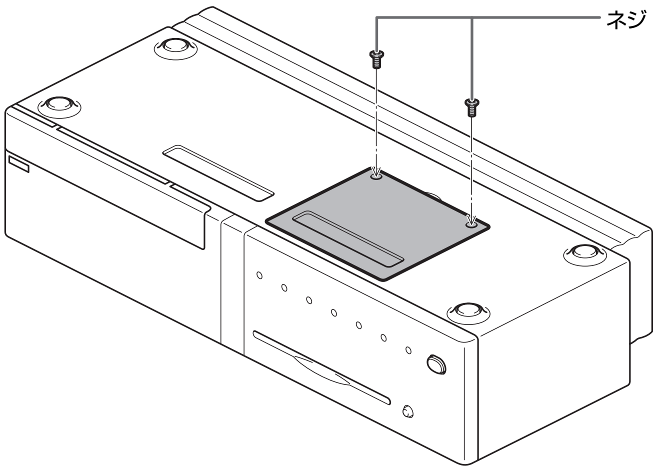
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。



8 **カバーのツメをパソコンの切り込み部にはめ込み、しっかり奥まで押し込んでから、静かにカバーを元の位置に戻します。**



9 **カバーをネジで固定します。**



10 **パソコンを元の状態に戻し、ケーブル類を取り付けます。**

パソコンを元の状態に戻し、取り付けが終わったら、電源を入れてメモリー容量を確認してください。（「**メモリーの容量を確認する**」☞次ページ）

メモリーの容量を確認する

1 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

2 **「Main」メニューの「Total Memory Size」の容量を確認します。**

3 **→ キーで「Exit」メニューを選択します。**

「Exit」メニュー画面が表示されます。

4 **↓ キーで「Exit Discarding Changes」を選択し、⏎ キーを押します。**

5 **「Exit Discarding Changes?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**

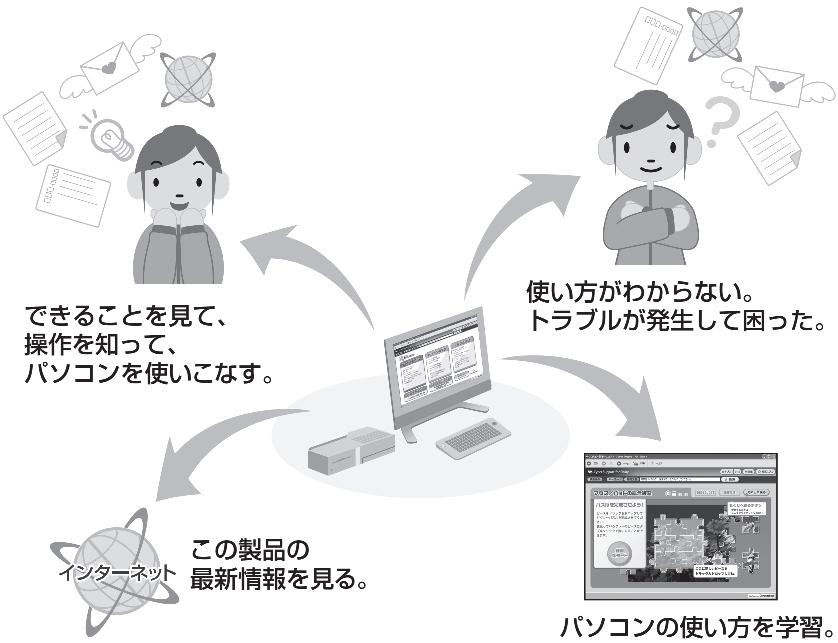
パソコンが起動します。

MEMO

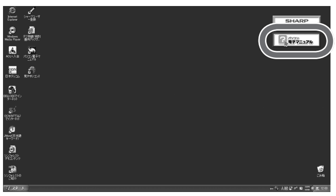
- 各アプリケーションソフトの詳しい操作方法については、それぞれのアプリケーションソフトのヘルプを参照してください。
- アプリケーションソフトの使い方などに関するお問い合わせは、当社でお受けするソフトと、ソフトメーカーにお問い合わせいただくソフトがあります。お問い合わせ先は、【パソコン電子マニュアル】の「お問い合わせ先」（☞ 104ページ）でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

パソコン電子マニュアルを使う

この製品に付属しているマニュアルは冊子だけではなく、画面で見るためのマニュアルがあります。
画面で見るためのマニュアルを「パソコン電子マニュアル」といいます。

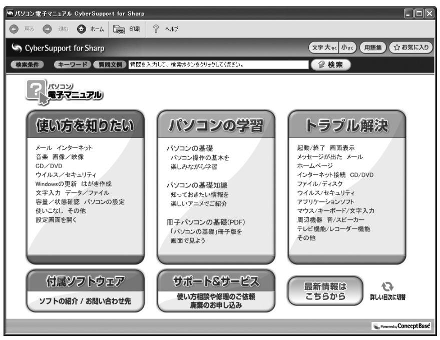


パソコン電子マニュアルを起動する





をクリック



使い方を知りたい

- 映像をDVDに残す。
- 電子メールを送受信する。
- ウイルス対策ソフトを更新する。

など、パソコンのさまざまな使い方を紹介。

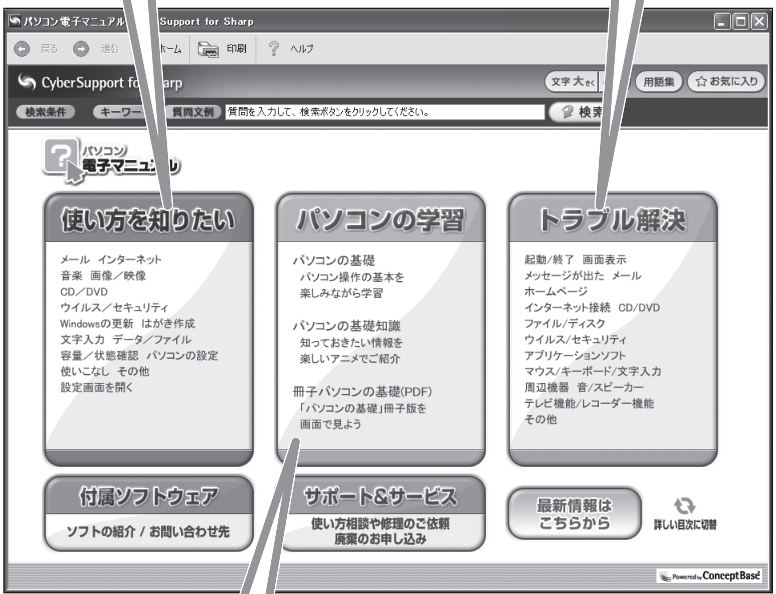


トラブル解決

- 押したキーと違う文字が入力される。
- ホームページが表示されない。

などのトラブルを解決するお手伝いをします。





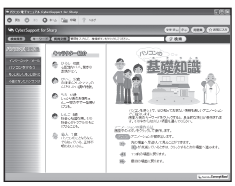
パソコンの学習

パソコンの基礎



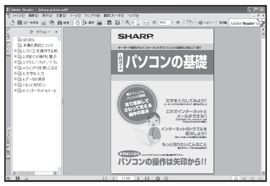
ウィンドウ操作や文字入力など、パソコンを使う基本操作を学習できます。
練習問題で実力を試すこともできます。

パソコンの基礎知識



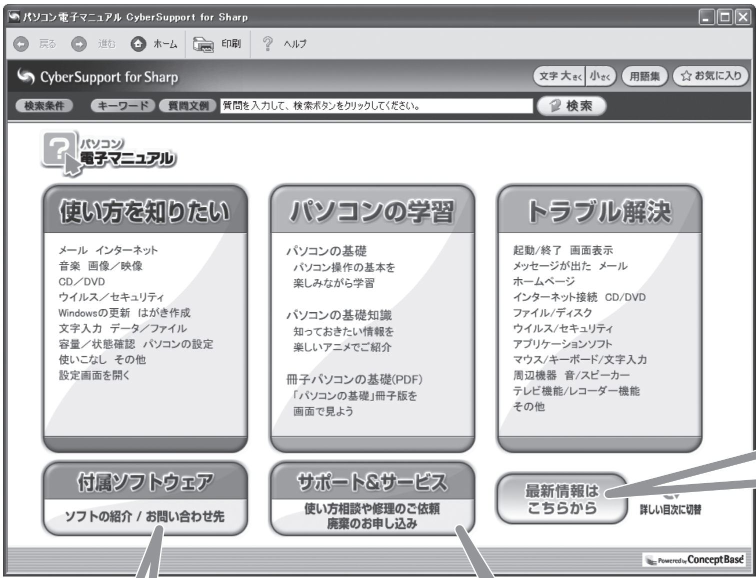
インターネットの利用やウイルス対策などを動画で解説しています。

冊子パソコンの基礎（PDF）



このパソコンには、冊子の「パソコンの基礎」は付属されていません。画面で確認しながら、必要なページを印刷してください。

活用



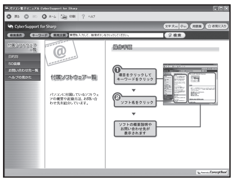
最新情報はこちらから

この製品のホームページを表示するボタンなどがあります。ホームページには、製品に関する最新の情報があります。日頃からホームページを見るように心がけましょう。



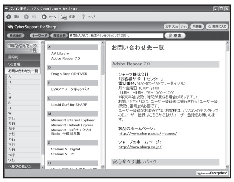
付属ソフトウェア

ソフトの紹介



このパソコンに付属されているアプリケーションソフトの概略や基本的な使い方などを紹介しています。

お問い合わせ先



付属ソフトのお問い合わせ先を紹介しています。お使いのソフトによって、お問い合わせ先が異なります。確認してから問い合わせましょう。

サポート&サービス

- 使い方相談の窓口
- 修理相談の窓口

など、この製品のサポートやサービスを紹介しています。

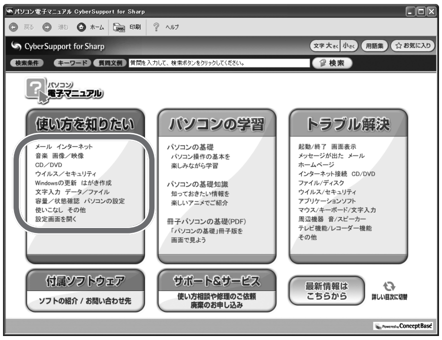


活用

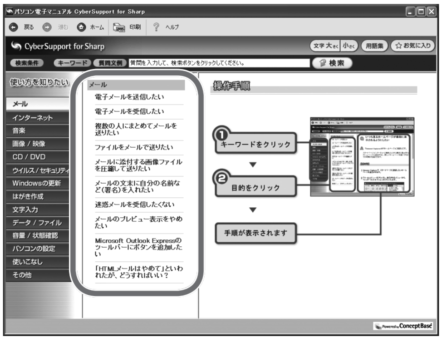
パソコン電子マニュアルを使ってみる

ここでは、「使い方を知りたい」を例に説明します。

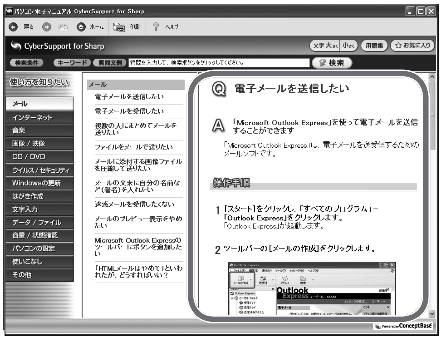
1 「使い方を知りたい」の中にあるキーワードをクリックします。



2 中央の列の目的をクリックします。



右側の列に説明が表示されます。



活用

音楽や映像を楽しむ

このパソコンでデジタルカメラの画像を見たり、音楽 CD や DVD ビデオを楽しむことができます。

デジタルカメラの画像を見よう

Windows の画像閲覧機能を使って、デジタルカメラで撮影した画像を見ることができます。
また、撮影した画像をスライドショーで楽しむこともできます。

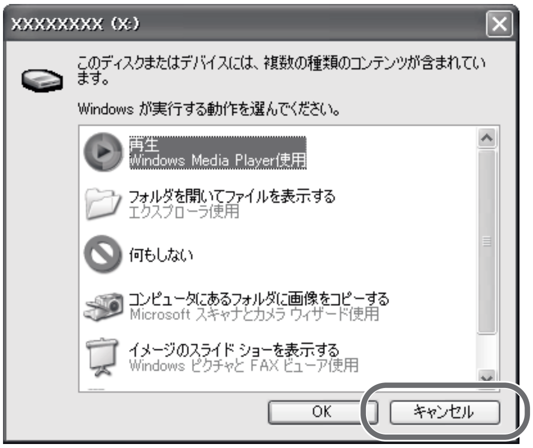


1 **デジタルカメラの電源を切り、デジタルカメラからメモリーカードを取り出します。**

メモリーカードの取り出し方法については、お使いのデジタルカメラの説明書を参照してください。

2 メモリーカードを差し込みます。

「メモリーカードを差し込む」（☞87 ページ）を参照してください。
メモリーカードを差し込んだ後に右のような画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリック。



ご注意

マルチメディアカードを挿入しないでください。

- マルチメディアカードは使用できません。マルチメディアカードを差し込むと取り出せなくなり、故障の原因となります。
  お使いのデジタルカメラに内蔵のメモリーカードがマルチメディアカードの場合は、デジタルカメラとパソコンをケーブルで接続して画像をご覧ください。操作方法について詳しくは、お使いのデジタルカメラの説明書を参照してください。

活用

3 画像を見ます。

① ［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリック。
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

②差し込んだメモリーカードのアイコンをダブルクリック。
メモリーカード内の画像が表示されます。
次の画像を見るときは をクリックし、一つ前の画像を見るときは をクリック。



スライドショーを見るときは

①「画像のタスク」欄の「スライドショーを表示する」をクリック。
② 終了するときは、画面右上の をクリック。

4 終了します。

① 終了するときは、画面右上の をクリック。
②「メモリーカードを取り出す」（☞89ページ）を参照し、メモリーカードスロットからメモリーカードを取り出す。

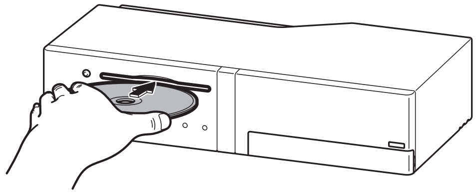
音楽 CD を聴こう

内蔵の CD/DVD ドライブおよび Windows Media Player で、音楽 CD を聴くことができます。



1 **音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。**

ディスクが認識されると、Windows Media Player が起動し、自動的に再生が始まります。



ご参考

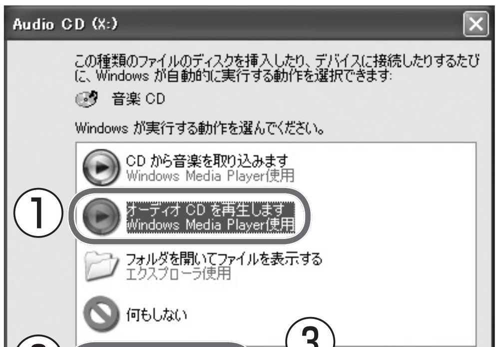
- ディスクが認識されるまで、10 秒以上かかります。
- パソコンの電源が切れている状態で音楽 CD をセットすると、パソコンは起動しますが、音楽 CD の再生は開始されません。

動作を選択する画面が表示されたときは･･･

音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットしたときの動作を設定します。

①「オーディオ CD を再生します」をクリック。
②「常に選択した動作を行う。」をクリックしてチェックマークを付ける。
③［OK］をクリック。

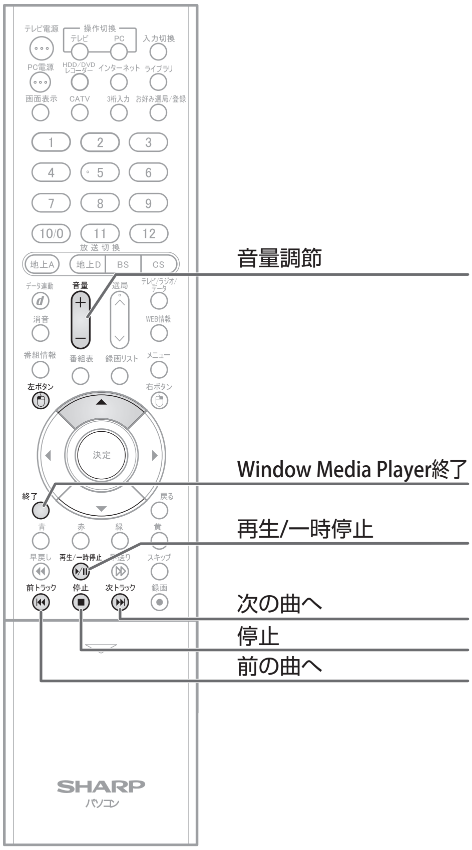
この設定により、音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットすると、自動的に再生が始まるようになります。



「Windows Media Player 10へようこそ」の画面が表示されたときは･･･

初めて起動したときには、「Windows Media Player 10 へようこそ」の画面が表示されます。内容を確認して設定を完了してください。
DVD ビデオの再生は、「WinDVD」の使用をお勧めします。「インストールオプションの変更」画面では、「ファイルの種類」タブで「DVD ビデオ」のチェックマークを外してください。

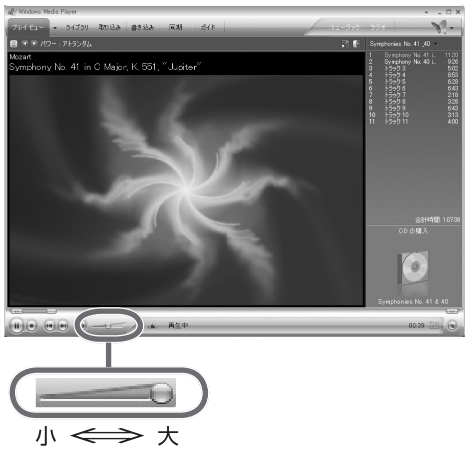




2 Windows Media Player の音量を最大にします。

① [スライダー] にマウスカーソルをあわせて、[左ボタン] を押します。

② [▲] を数回押して [スライダー最大] にします。



ご参考

- Windows Media Player 画面の音量調整つまみは必ず最大に設定しておいてください。この音量を最大に設定しないで、リモコンの音量ボタンだけで調節すると、テレビソフトでテレビを見るときに大きな音が出ます。

3 リモコンの [音量] を押して、お好みの音量に調節します。

再生する曲を変更するには･･･

Windows Media Player が起動すると、自動的に音楽 CD の 1 番目の曲が再生されます。曲の再生が終了したら、自動的に次の曲が再生されます。複数の曲が音楽 CD に収録されている場合、別の曲を再生するには、以下の手順に従ってください。

① 停止 を押して、曲の再生を停止します。
② 前トラック 次トラック を押して再生リストから再生したい曲を選択します。
③ 再生/一時停止 を押します。
選択した曲が再生されます。



4 再生が終了したら、終了 を押して Windows Media Player を終了します。

Windows Media Player の画面で操作する

リモコンで操作する代わりに、Windows Media Player の画面をクリックして操作することもできます。



ランダム再生/連続再生について

- を繰り返しクリックすると、再生のしかたを次のように切り替えることができます。
- 再生リストの順に再生され、最後の曲が終わると停止する
- 再生リストの順に再生され、最後の曲が終わると最初の曲に戻って連続再生される
- 再生リストの曲がランダムに再生され、一巡したら停止する
- 再生リストの曲がランダムに再生され、一巡した後もランダム再生が続く

ご参考

- Windows Media player に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、【パソコン電子マニュアル】の「お問い合わせ先」（☞104 ページ）でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

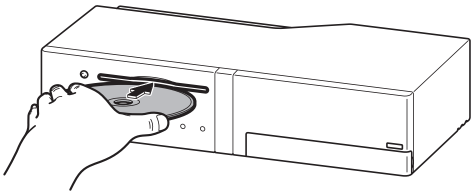
曲をパソコンに取り込もう

音楽 CD の内容を Windows Media Player でパソコンに取り込むことができます。取り込んだ音楽は、パソコンで再生したり、音楽 CD を作成するときに利用できます。

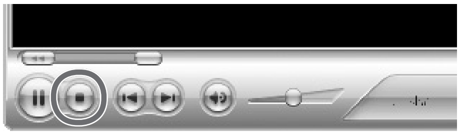
ご参考

- CD 規格に準拠していない CD（コピーコントロール CD など）の場合、音楽をパソコンに取り込むことができません。CD のパッケージや印刷物をよくお読みください。

1 **音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。**
Windows Media player が起動します。



2 **自動的に再生が始まったら、（停止）をクリックしていったん再生を停止します。**



活用

3 **取り込みます。**

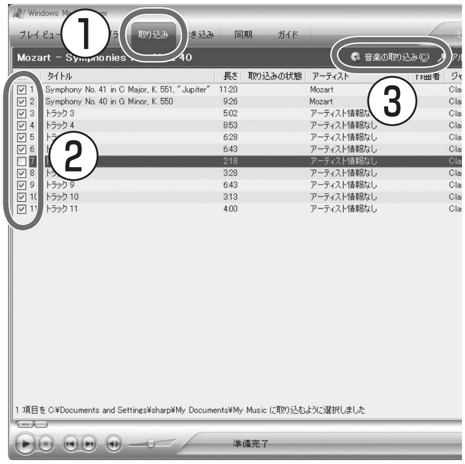
①「取り込み」タブをクリック。

② 取り込まない曲をクリックしてチェックマークを外す。

③［音楽の取り込み］をクリック。
初めて取り込みをするときは、「取り込みオプション」画面が表示されます。

④ オプションを選択し、著作権事項の内容を確認してチェックボックスにチェックマークを付け、［次へ］をクリック。
「取り込みオプション（2/2)」が表示されます。

⑤ 録音したいオーディオ形式を選択して［完了］をクリック。
「現在の形式設定を変更する」を選択した場合は、保存先とファイル形式を選択し、必要に応じて項目を設定して［OK］をクリック。



ご参考

- 「CD から取り込む音楽が、米国および各国の著作権法ならびに国際条約で保護されていること、および取り込んだ者自身が、それを使用する上でのすべての責任を負うことを理解している」ことに同意してチェックマークを付けないと、次に進むことができません。

4 **終了するときは、右上の ×（閉じる）をクリックします。**



ご参考

- Windows Media Player の詳しい操作については、Windows Media Player のヘルプを参照してください。ヘルプは、F1 キーを押すと表示できます。
- Windows Media Player に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、【パソコン電子マニュアル】の「お問い合わせ先」（☞104 ページ）でご確認いただくか、(サポートのご案内) をご覧ください。

取り込んだ曲を再生するには

次の操作で、取り込んだ曲を再生できます。

① Windows Media Playerの「ライブラリ」タブをクリック。
② コンテンツウィンドウ領域で「すべての音楽」をクリック。
③ 詳細ウィンドウ領域で曲をクリック。
④ （再生）をクリック。



DVD ビデオを見よう

内蔵の CD/DVD ドライブおよび WinDVD（付属ソフト）を使って、DVD ビデオを見ることができます。



DVD ビデオを再生するときの準備

再生の途中で不意に止まったりすることを避けるために、再生する前に次の準備をしてください。

- スクリーンセーバーを「なし」に設定する。
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。

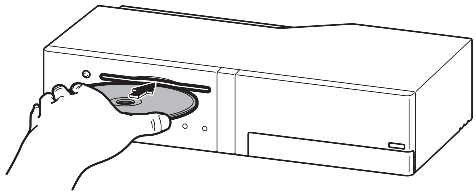
活用

ご参考

- DVD ビデオや、再生時に動作している他のソフトの状態によっては、コマ落ち（音声や映像が一瞬途切れる）などにより、スムーズに表示されない場合があります。
- DVD ビデオによっては、録音レベルが低く、音が小さいものがあります。
- 「コンピュータの管理者」のユーザーアカウントでログオンしてください。「制限付きアカウント」でログオンすると、著作権保護されたディスクを再生することができません。
- 著作権保護された DVD ディスクを再生しているときに、入力切換をしたり、テレビの電源を切ったり、PC 映像ケーブルを取り外したりすると、再生が停止します。

1 DVD ビデオを CD/DVD ドライブにセットします。

ディスクが認識されると、WinDVD が起動し、自動的に再生が始まります。



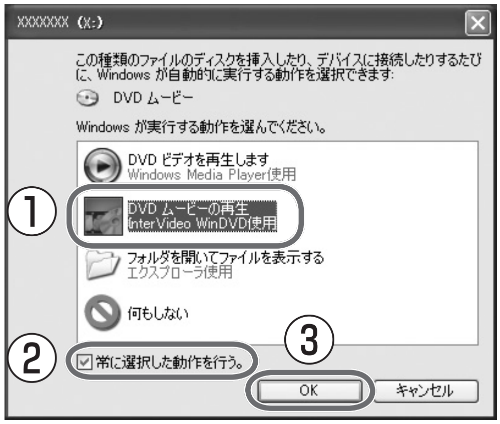
ご参考

- ディスクが認識されるまで、10 秒以上かかります。
- 両面が再生できる DVD ビデオの場合は、再生面の表記（Side A など）がある面を上（縦置きの場合は右）にしてセットしてください。
- パソコンの電源が切れている状態で DVD ビデオをセットすると、パソコンは起動しますが、DVD ビデオの再生は開始されません。
- すでにディスクがセットされているときや、自動的に再生が始まらないときは以下の方法で再生してください。
  ①［HDD/DVD レコーダー］を押します。
  「HDD/DVD レコーダー」メニューが表示されます。
  ②・PC-AX100M の場合は、［7］を押します。
  ・PC-AX50M の場合は、［4］を押します。
  再生が始まります。

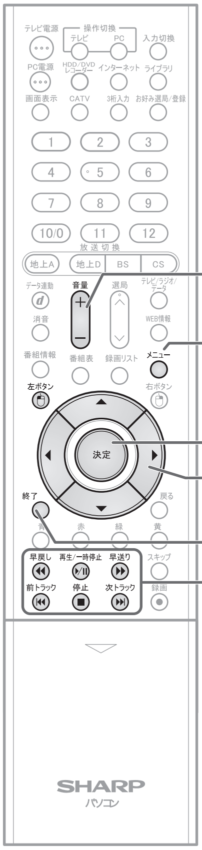
動作を選択する画面が表示されたときは…

DVD ビデオを CD/DVD ドライブにセットしたときの動作を設定します。

① 「DVD ムービーの再生」をクリック。
② 「常に選択した動作を行う。」をクリックしてチェックマークを付ける。
③ ［OK］をクリック。



この設定により、DVD ビデオを CD/DVD ドライブにセットすると、自動的に再生が始まるようになります。



再生/一時停止	一時停止します。 もう一度押すと、再生を再開します。
早戻し　早送り	押すたびに、早送り／早戻しの速度が切り換わります。 2.00X → 4.00X → 6.00X → 8.00X → 12.00X → 16.00X → 20.00X →標準速→ 2.00X...
前トラック　次トラック	前後のチャプターにとびます。
停止	再生を停止します。

2 Win DVD の音量を最大にします。





コントロールパネルが自動的に隠れてしまったときは、画面をクリックしてください。

ご参考

- コントロールパネルの音量調整つまみは必ず最大に設定しておいてください。この音量を最大に設定しないで、リモコンの音量ボタンだけで調節すると、テレビソフトでテレビを見るときに大きな音が出ます。

3 リモコンの 音量 を押して、お好みの音量に調節します。

4 メニューが表示されたときは、▲▼◀▶ で項目を選び、決定 を押します。

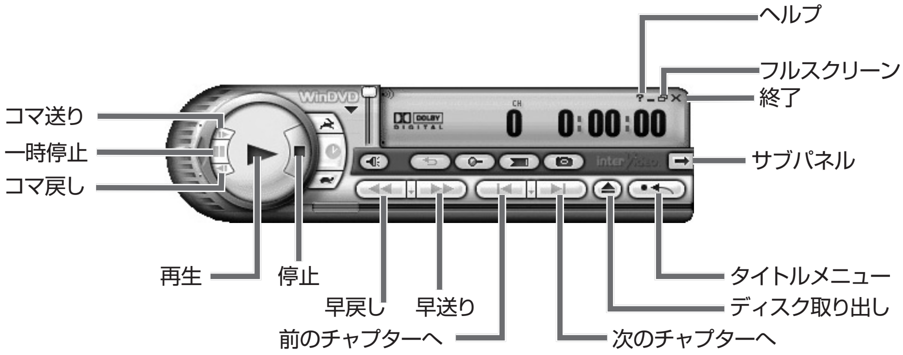
メニュー を押して、メニューを表示することもできます。

5 再生が終了したら、終了 を押して WinDVD を終了します。

活用

コントロールパネルで操作する

リモコンで操作する代わりに、WinDVD のコントロールパネルをクリックして操作することもできます。



ご参考

- 全画面表示のとき、一定時間経過するとコントロールパネルは、画面から消えます。また、コントロールパネル表示中に画面をクリックすると、コントロールパネルは画面から消えます。再びコントロールパネルを表示するには、もう一度画面をクリックしてください。
- 次のいずれかの操作で、全画面表示とウインドウ表示を切り替えることができます。

  ・リモコンの 戻る○ を押す。

  ・コントロールパネル右上の （フルスクリーン）をクリックする。

  ・ビデオ画面上をダブルクリックする。

  ・Esc キーまたは Z キーを押す。
- WinDVDの操作については、WinDVDのヘルプを参照してください。ヘルプは、F1 キーを押すと表示できます。
- 一時停止後、再生を再開すると画面が一瞬途切れることがあります。
- WinDVDに関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、【パソコン電子マニュアル】の「お問い合わせ先」（☞104 ページ）でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

活用

DVD のリージョン番号について

DVD ビデオディスクには、リージョン番号（再生可能地域番号：　など）が設定されています。ご購入時の状態で再生が可能なのは、リージョン番号が「2」と「ALL」のディスクです。リージョン番号は DVD ビデオディスクに表示されています。国内で制作・販売されている DVD ビデオディスクを再生するときは、通常は設定を変更する必要はありませんが、変更できるのは 4 回までです。変更を必要とする場合は、「WinDVD」のヘルプを参照してください。

ドルビーデジタルサラウンド(5.1チャンネル)を楽しむには

市販の光デジタルオーディオケーブルでドルビーデジタルサラウンド方式に対応した AV アンプやスピーカーなどを接続し、臨場感あふれる音で DVD ビデオをお楽しみいただけます。
5.1 チャンネルで録音された DVD ビデオの音声を 5.1 チャンネルで出力するには、次の操作で WinDVD の設定を変更してください。

① コントロールパネルの　をクリックし、「オーディオエフェクト」をクリック。

② サブパネルの　をクリック。

③「オーディオ」タブの「オーディオ出力構成」で「外部プロセッサへのデジタル（S/PDIF）出力」を選択し、[OK] をクリック。

④　をクリックしてサブパネルを閉じる。



CD の曲をデジタルオーディオプレーヤーにコピーしよう

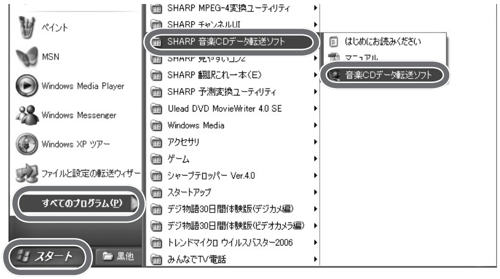
音楽 CD の内容を、シャープ製デジタルオーディオプレーヤーにコピーします。CD の内容を全てコピーします。コピーする曲の選択はできません。

使用できるデジタルオーディオプレーヤー（2006 年 4 月現在）

MP-S200/S300

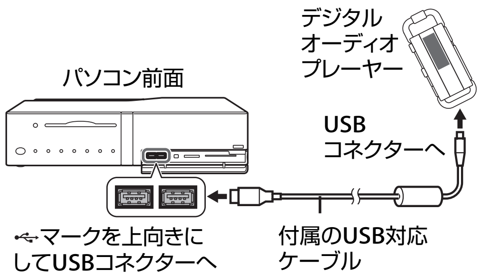
1 音楽 CD データ転送ソフトを起動します。

［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 音楽CDデータ転送ソフト」－「音楽 CD データ転送ソフト」をクリック。



2 デジタルオーディオプレーヤーを接続します。

USB コネクターは前面と後面に 2 つずつあります。
接続には、デジタルオーディオプレーヤーに付属の USB 対応ケーブルをお使いください。

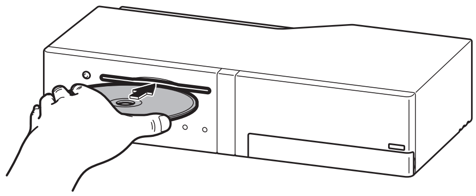


ご参考

- 動作を選択する画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックしてください。

3 音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。

音楽 CD データ転送ソフト画面に、音楽 CD 情報が表示されます。



ご参考

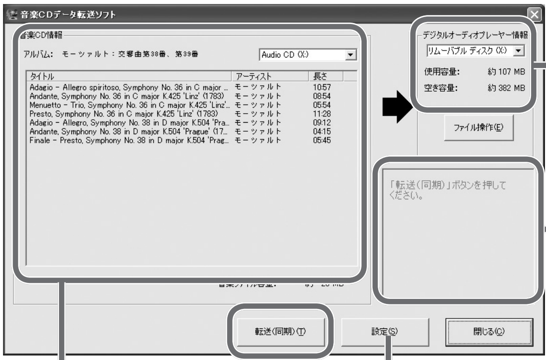
- インターネットに接続している場合、アルバム名、曲名、アーティスト名などの情報を取得して表示します。

活用

4 曲を転送します。

① ［転送（同期）］をクリック。

曲の転送が始まります。
転送が終わると確認の画面が表示されます。



5 ［OK］をクリックします。



6 終了するときは、［閉じる］をクリックします。



ご参考

- デジタルオーディオプレーヤーの接続や取り外し、その他詳しい使い方については、デジタルオーディオプレーヤーに付属の取扱説明書を参照してください。
- 音楽 CD データ転送ソフトの詳しい操作については、ヘルプを参照してください。
  ヘルプを見るときは、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP 音楽CDデータ転送ソフト」－「マニュアル」をクリックしてください。
- 音楽 CD データ転送ソフトに関しては、シャープまでお問い合わせください。
  お問い合わせ先は、**【パソコン電子マニュアル】**の「**お問い合わせ先**」(☞ 104 ページ) でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

活用

音楽 CD や DVD を作る

このパソコンでは、オリジナルの音楽 CD や DVD ビデオを作成できます。
また、このパソコンに VHS テープやデジタルビデオカメラの映像を取り込むことができます。

ディスクへの書き込みや映像の取り込みのご注意

- 「著作権等に関するご注意」（☞ 接続と準備編 ）をよくお読みのうえ、お楽しみください。
- 書き込みや取り込みが途中で止まったりすることを避けるために、書き込みや取り込み操作の前に次の準備をしてください。
  ・ディスク作成に関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する
  ・スクリーンセーバーを「なし」にする
- 書き込み中や取り込み中は、リモコンのボタンやキーボードのキーを押さないでください。

活用

使用するディスクについて

CD-R	音楽CDの作成やデータのバックアップに使用します。容量が650MB(音楽74分相当)のものと、700MB(音楽80分相当)の2種類があります。再生に使用するCDドライブによっては、700MBのCD-Rを再生できない場合があります。 映像を納めたビデオCD（VCD）やスーパービデオCD（SVCD）の作成にも利用できます。ただし、ビデオCDやスーパービデオCDは、それぞれに対応したパソコンやDVDプレーヤーでしか再生できません。
CD-RW	CD-Rと同じ容量を持つディスクです。約1000回程度、書き込んだデータを消去して書き換えることができます。データのバックアップに適しています。音楽CDも作成できますが、CD-RWに対応したプレーヤーでしか再生できません。音楽CDはCD-Rで作成することをお勧めします。
DVD-R DVD+R	DVDビデオの作成やデータのバックアップに使用します。データの書き換えはできません。 ファイナライズ処理を行うと、市販のDVDプレーヤーでも再生できます。
DVD-RW DVD+RW	DVDビデオの作成やデータのバックアップに使用します。DVD-R、DVD+Rと同じ容量を持つディスクです。書き込んだデータを消去して、書き換えることができます。ファイナライズ処理を行うと、市販のDVDプレーヤーでも再生できます。市販のDVDプレーヤーには、DVD-RWやDVD+RWを再生できないものもありますので、注意してください。
DVD-RAM	約10万回、書き込んだデータを消去して、書き換えることができるディスクです。片面カートリッジ式、両面カートリッジ式、非カートリッジ式の3種類があります。DVDビデオとは異なった形式で映像を記録します。市販のDVDプレーヤーには、DVD-RAMに対応していないものもありますので、注意してください。

※ 動作確認済みのディスクについては、「**動作確認済みディスク**」（☞28ページ）を参照してください。
また、保存するディスクの種類、保存後のディスクの用途によって、使用するディスクは異なります。詳しくは、**【パソコン電子マニュアル】**（☞102ページ）の「**使い方を知りたい**」の「**CD/DVD**」を参照してください。

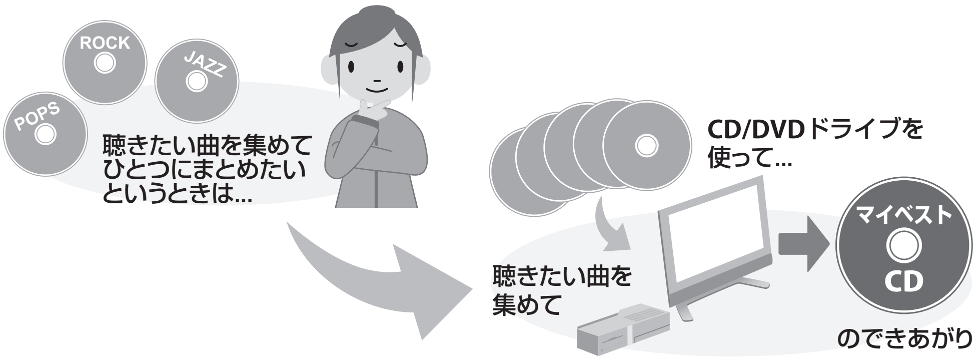
※ 8cmのディスクおよび8cmディスク用の変換アダプター、特殊形状（ハート形や八角形、名刺型など）やDVD Slim discなどの規格外ディスクは使えません。

※ 次のDVD-RAMは使用できません。
- ・片面2.6GBのDVD-RAM、両面5.2GBのDVD-RAM
- ・カートリッジから取り出せないタイプのDVD-RAM

※ CPRMで著作権保護された映像を録画したディスクの場合、DVD MovieWriterでは追記/再編集はできません。

マイベスト CD を作ろう

複数の音楽 CD からお気に入りの曲だけを 1 枚の CD-R にまとめた、マイベスト CD を作成できます。



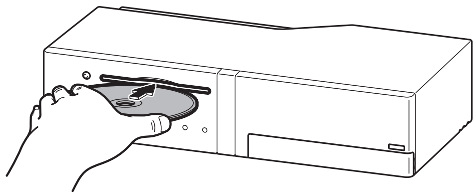
準備するもの

- 未使用の CD-R
- お気に入りの曲が入った音楽 CD

ご参考

- CD-RW でも、音楽 CD を作成できます。ただし、CD プレーヤーが CD-RW に対応していない場合は、再生できません。音楽 CD は、CD-R で作成することをお勧めします。
- CD 規格に準拠していない CD（コピーコントロール CD など）の場合、音楽をパソコンに取り込むことができません。CDのパッケージや印刷物をよくお読みください。
- CD-R に対応していないプレーヤーでは正しく再生できないことがあります。

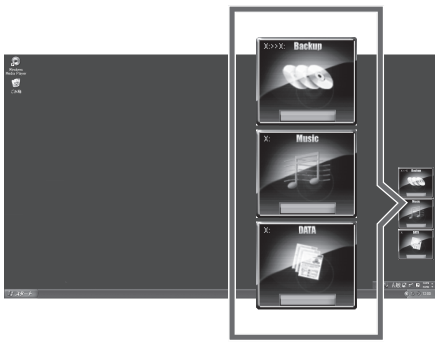
1 **音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。**



ご参考

- 音楽 CD が認識され 、「Windows Media Player」が起動して 、再生が始まった場合 、画面右上の ☒ をクリックし、「Windows Media Player」を閉じます。

2 **デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「DATA」の 3 つのボックスが表示されていることを確認します。**



ご参考

- デスクトップ上にボックスが表示されていないときは、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Drag'n Drop CD+DVD5」－「Drag'n Drop CD+DVD5」をクリックします。

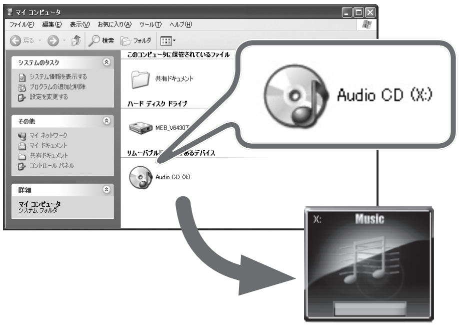
3 操作画面を表示します。

①［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリック。

「マイコンピュータ」画面が表示されます。

②「Audio CD」（または「音楽CD」）と表示されているアイコンを「Music」ボックスにドラッグ＆ドロップ。

「Audio CD Layout Window」が表示され、曲情報が表示されます。



4 お気に入りの曲を取り込みます。

①「ブランク CD サイズ」欄の ▼ をクリックして、新しい CD-R の容量を指定する。

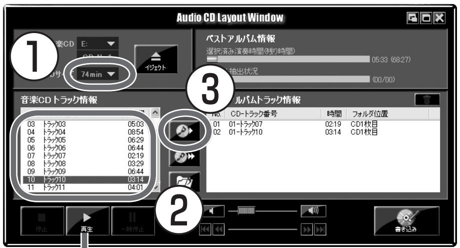
ブランクCDのサイズ	63min 74min	79min
CD-Rの容量	650MB	700MB

②曲をクリックして選択。

③ [ボタン] をクリック。

曲がパソコンに取り込まれ、「ベストアルバムトラック情報」の欄に表示されます。

④操作手順②～③を繰り返して、お気に入りの曲を「ベストアルバムトラック情報」の欄に集めます。



クリックすると選択した曲が再生され、内容を確認できます。

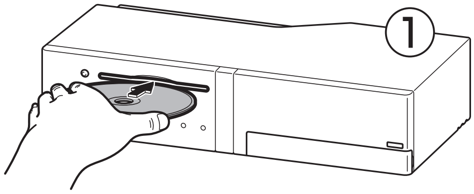
ご参考

- [イジェクト] をクリックして別の音楽 CD と入れかえて②～③の操作を行い、別の音楽 CD の曲を取り込むこともできます。
- 間違えて読み込んだときは、曲を選択して [ボタン] をクリックすると削除できます。
- 「ベストアルバムトラック情報」の曲をドラッグして移動し、曲の順番を変更できます。
- [再生] をクリックしても音が出ないときは、Windows のボリュームコントロールで「ミュート」にチェックマークが付いていないことを確認してください。

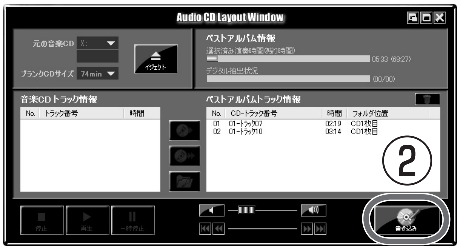
活用

5 CD-R に書き込みます。

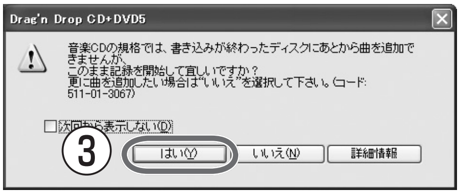
①  をクリックして音楽 CD を取り出し、新しい CD-R と入れ替える。



②  をクリック。



③ 確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリック。



④ 書き込み速度が「Max.」になっていることを確認して［OK］をクリック。



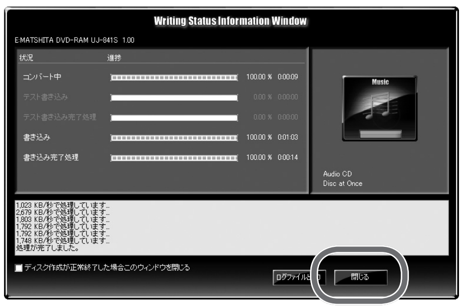
ご参考

- 操作手順③、④の画面で、「次回から表示しない」「以降、問い合わせしない」のチェックボックスにチェックマークを付けた場合、次回以降の書き込み操作では画面が表示されません。

書き込みが終わると、ディスクが自動的に出てきます。

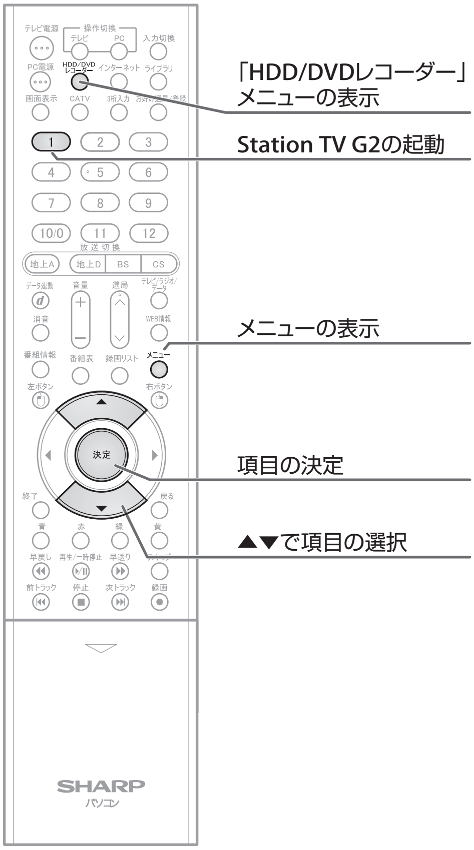
6 終了します。

［閉じる］をクリック。

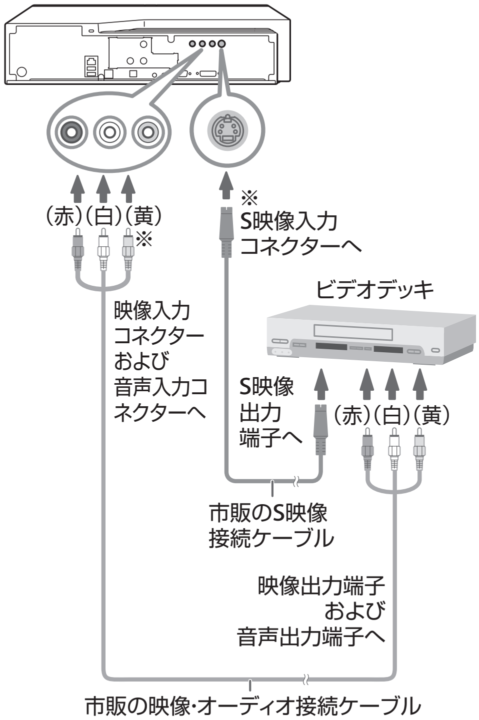


VHS テープの映像を取り込もう

VHS テープの映像を StationTV G2 を使用してハードディスクに取り込む方法について説明します。ここでは、リモコンでの操作方法を紹介します。



1 パソコンとビデオデッキを接続します。



※ S 映像接続ケーブルを使用する場合は、映像・オーディオ接続ケーブルの黄色のコネクターは接続する必要がありません。

2 Station TV G2 を起動します。

① HDD/DVD レコーダー を押す。

「HDD/DVD レコーダー」メニューが表示されます。

② 1 を押して「見る［アナログ放送］」を選ぶ。

StationTV G2 が起動し、テレビが表示されます。

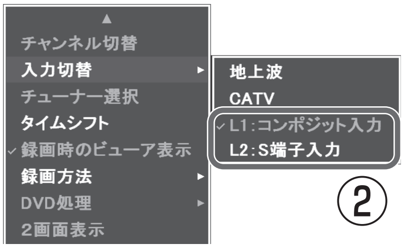
3 VHS テープの映像を取り込む設定をします。

① メニュー を押す。

メニューが表示されます。

活用

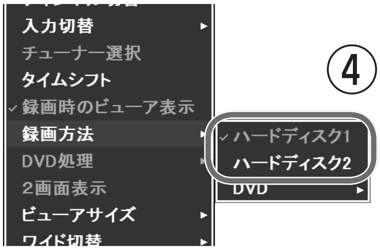
② (▲) (▼) と [決定] を使い、「入力切替」−「L1：コンポジット入力」（または L2：S 端子入力）を順に選ぶ。



ビデオ映像入力に接続したとき
「L1：コンポジット入力」を選ぶ
S 映像入力に接続したとき
「L2：S 端子入力」を選ぶ

③ [メニュー] を押す。
メニューが表示されます。

④ (▲) (▼) と [決定] を使い、「録画方法」−「ハードディスク 1」または「ハードディスク 2」を順に選ぶ。
すでに「ハードディスク 1」または「ハードディスク 2」が選択されている場合は、[メニュー] を押す。



4 取り込みます。

① ビデオデッキに VHS テープを挿入し、VHS ビデオを再生する。
② 映像を確認して、頭出しをし、「一時停止」する。
③ [録画] を押し、VHS ビデオを再度再生する。
映像の取り込みが始まります。

5 取り込みを停止します。

[録画] または [停止] を押します。

取り込んだ映像を確認するには…

[メニュー] を押し、表示されたメニューから「録画リスト」を選択すると、録画された映像が一覧表示されます。

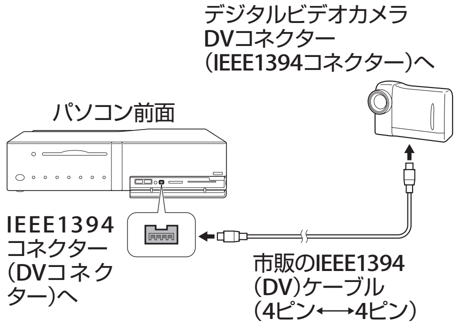
ご参考

- コピー防止信号の含まれた VHS テープの映像は、正しく表示されず、再生・録画もできません。
- 録画した映像は、ご購入時の設定では次の場所に録画した日付と時間の名前で保存されます。

	PC-AX50M	PC-AX100M
ハードディスク 1	D ドライブの「アナログテレビ録画 1」フォルダ	E ドライブの「アナログテレビ録画 1」フォルダ
ハードディスク 2	D ドライブの「アナログテレビ録画 1」フォルダ	D ドライブの「アナログテレビ録画 2」フォルダ

デジタルビデオカメラの映像をハードディスクに保存するには

Ulead DVD MovieWriter 4 SE でデジタルビデオカメラの映像をハードディスクに保存することができます。ここでは概要を紹介します。



① 録画した DV テープをデジタルビデオカメラに入れ、保存する映像の開始位置までテープを進めて一時停止にしてからパソコンと接続。

ご参考

- HDV 形式で記録された映像の取り込みはできません。
- IEEE1394 コネクターに i.LINK (TS) 対応機器を接続することはできません。また、テレビの i.LINK (TS) 端子と接続しても、テレビで受信したデジタル放送を録画することはできません。

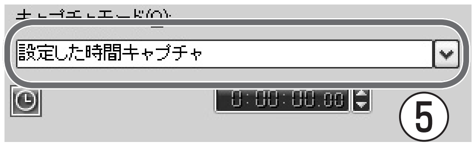


② Ulead DVD MovieWriter 4 SE で「ビデオ DVD の作成」の「DVD-Video DVD+VR の新規作成」をクリック。

③ をクリックして、キャプチャ画面を表示。

④「ソース」の をクリックし、接続したデジタルビデオカメラ（例：SHARP--MSDV）を選択する。

⑤ キャプチャモードを「設定した時間キャプチャ」に設定。
時間は 0:00:00:00 のままにしておく。



⑥ をクリック。
メッセージが表示されたら、[はい]をクリック。
キャプチャが始まります。

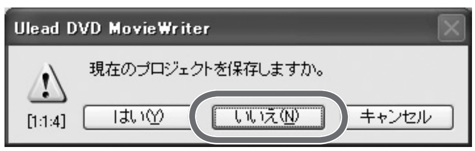
⑦ キャプチャを終わる場面で をクリック。

⑧［OK］をクリック。



⑨［閉じる］をクリック。
このときプロジェクトを保存する必要はありません。





映像ファイルは、「マイドキュメント」の「Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE ¥キャプチャ」フォルダに保存されています。

活用

デジタルビデオカメラの映像を DVD にしよう

デジタルビデオカメラの映像を直接 DVD に録画して DVD ビデオを作成できます。作成した DVD ビデオは、市販の DVD プレーヤーで再生できます。ここでは例として DVD-R、DVD+R を使用します。

Ulead DVD MovieWriter 4 SE と対応するディスクについて

ディスクの種類によって作成可能なフォーマットは異なります。Ulead DVD MovieWriter 4 SE で作成できるフォーマットは以下のとおりです。

フォーマット	DVD-R	DVD-RW※1	DVD+R	DVD+RW※1	DVD-RAM※1
DVD-Video（ビデオモード）	○	○	○	○	×
DVD-VR（VR モード）	×	○※2	×	ー	○
DVD+VR（+VR モード）	×	ー	×	○	×

※ 1 ディスクへの追記／再編集ができます。（CPRM で著作権保護された映像を録画したディスクを除く）

※ 2 WinDVD、DVD プレーヤーや DVD レコーダーで再生する場合は、ファイナライズ処理をしてください。

ビデオモード： 再編集には適しませんが、多くの DVD プレーヤー（市販）で再生可能なディスクになります。

VR/+VR モード： 不要部分のカットなど、再編集がしやすいディスクになります。

ご参考

- DVD プレーヤーなどで再生するときは、あらかじめ再生機器の説明書などを参照して、再生機器に対応したディスク／フォーマットで DVD を作成してください。
- Ulead DVD MovieWriter 4 SE でビデオ CD（CD-R、CD-RW）を作成することもできます。詳しくはヘルプを参照してください。

準備するもの

- 未使用の DVD-R または DVD+R、デジタルビデオカメラ、IEEE1394（DV）ケーブル
- 録画した DV テープをデジタルビデオカメラに入れておく。

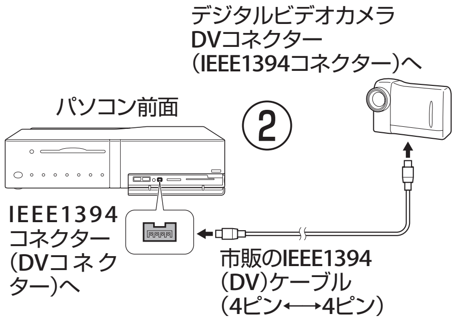
ご参考

- 接続できないデジタルビデオカメラもあります。接続できるデジタルビデオカメラについては、インターネット AQUOS のホームページ内サポート情報の機種別ページにて順次ご案内します。
http://www.sharp.co.jp/i-aquos/

1 デジタルビデオカメラを接続します。

① デジタルビデオカメラを再生モードにする。

② IEEE1394（DV）ケーブルの一方をパソコンの IEEE1394 コネクターに差し込み、もう一方をデジタルビデオカメラの DV コネクターに差し込む。



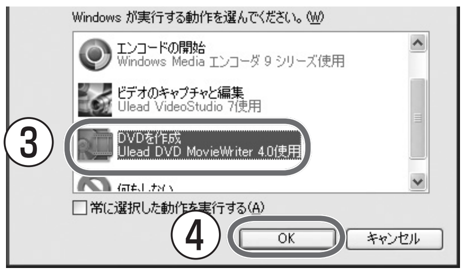
ご参考

- IEEE1394 コネクターに i.LINK (TS) 対応機器を接続することはできません。
  また、テレビの i.LINK (TS) 端子と接続しても、テレビで受信したデジタル放送を録画することはできません。

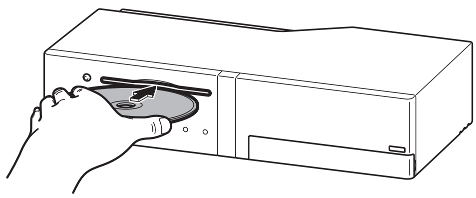
③「デジタルビデオデバイス」画面が表示されたら、「DVD を作成」をクリック。

④［OK］をクリック。

Ulead DVD MovieWriter 4 SE が起動します。



2 未使用の DVD-R または DVD+R を CD/DVD ドライブに入れます。

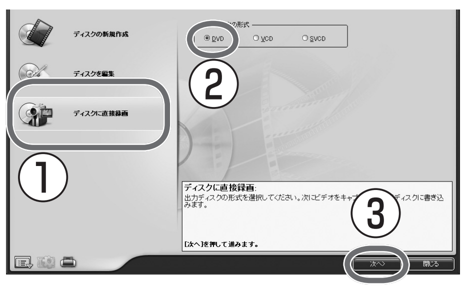


3 作成方法を選択します。

①「ディスクに直接録画」をクリック。

② 出力ディスク形式の項目の「DVD」をクリック。

③［次へ］をクリック。



活用

4 **録画します。**

①「DVD ビデオ形式」をクリックし、[OK] をクリック。

②「ソース」の ▽ をクリックし、接続した機器を選択。

③「キャプチャモード」で ▽ をクリックし、「フル DV テープ(ビットレート自動)」を選択。

④ をクリック。

収録時間を確認してディスク作成の条件を設定するために、DV テープが自動で巻き戻され、テープの先頭からオートスキャンが行われます。
その後、キャプチャおよび DVD の作成が自動で行われます。



ご参考

- HDV 形式で記録された映像の取り込みには、対応していません。

5 **終了します。**

終了のメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックし、[OK] をクリック。
ディスクが自動的に出てきます。



デジタルビデオカメラの取り外しについて

- デジタルビデオカメラの電源を切り、IEEE1394(DV)ケーブルを取り外します。

活用

ハードディスクに保存した映像を DVD にしよう

デジタルビデオカメラなどからハードディスクに保存した映像を DVD ビデオにすることができます。作成した DVD ビデオは、市販の DVD プレーヤーで再生できます。ここでは例として DVD-R、DVD+R を使用します。

ご参考

- PC-AX100M で録画したデジタル放送の番組を DVD に書き込む場合は、レコーダー機能編 の「**その他の機能**」－「**デジタル放送の録画番組を DVD-RAM に移動する（DVD 作成）**」－「**録画した番組を DVD-RAM に移動する（基本の操作）**」を参照してください。

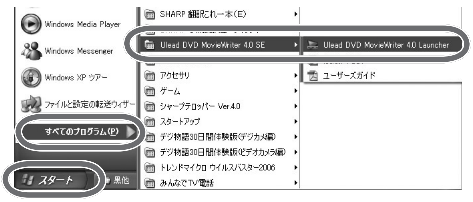
準備するもの

- 未使用の DVD-R または DVD+R

1 **DVD MovieWriter 4 SE を起動します。**

① ［スタート］をクリック。

②「すべてのプログラム」－「Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE」－「Ulead DVD MovieWriter 4.0 Launcher」をクリック。



2 **作成方法を選択します。**

「ビデオ DVD の作成」をクリック。



3 **作成するディスクの形式を選択します。**

「DVD-Video DVD+VR の新規作成」をクリック。



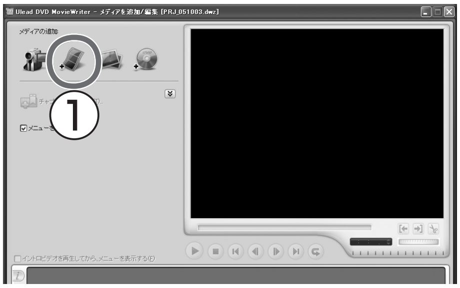
4 DVD にする映像ファイルを選択します。

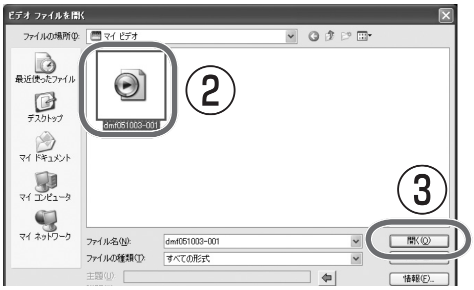
①  をクリック。

② 映像ファイルをクリック。

③［開く］をクリック。

映像リストに、選択した映像が追加されます。





ご参考

- ①～③の操作を繰り返して、複数の映像ファイルを追加することができます。
- 間違った映像ファイルを選択した場合は、映像リストの映像をクリックし、 をクリックして映像リストから削除します。
  ※映像リストの映像を削除しても、ハードディスクに保存している元の映像は削除されません。
- 「StationTV G2」を使って取り込まれた VHS ビデオの映像ファイルは、ご購入時の設定では、次の場所に保存されています。
  PC-AX100M：E ドライブの「アナログテレビ録画 1」フォルダ
  　　　　　　D ドライブの「アナログテレビ録画 2」フォルダ
  PC-AX50M　：D ドライブの「アナログテレビ録画 1」フォルダ

5 メニューを作成するかどうかを指定して［次へ］をクリックします。

この例では、メニューを作成しないので、☑ をクリックしてチェックマークを外します。

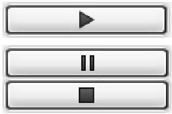




活用

6 仕上がりの状態を確認します。

① 次のボタンを使用して、仕上がりを確認する。



・・・映像の再生

・・・再生の一時停止

・・・再生の停止

② ［次へ］をクリック。



7 ディスクへ書き込みます。

① CD/DVD ドライブに DVD-R または DVD+R を入れる。

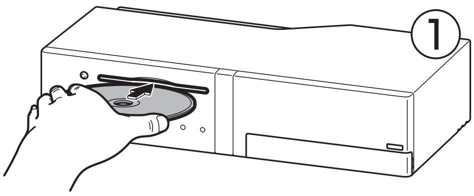
② 「ディスクへの書き込み」にチェックマークが付いていることを確認し、レコーディング形式を選択する。

ここでは、「DVD-Video」形式を選択します。

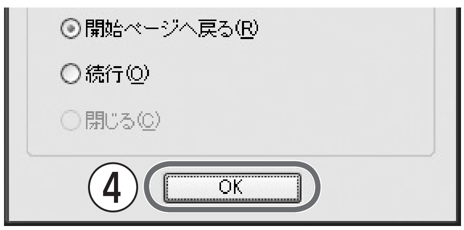
③  ［書き込み］をクリック。

ディスクへの書き込みが行われます。書き込みの進行状況が画面に表示されます。

④ ［OK］をクリック。







ご参考

- 同じディスクをもう 1 枚作成するときなどに、「続行」を選択します。

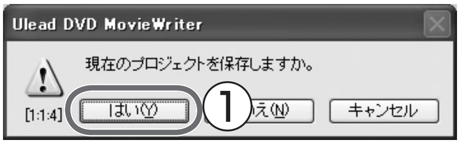
活用

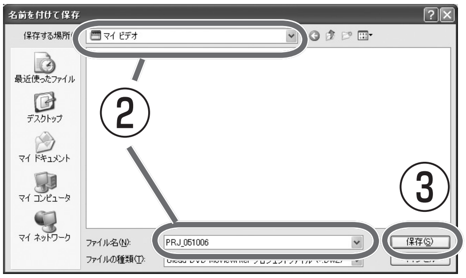
8 **作業内容を保存します。**

①［はい］をクリック。

②保存場所とファイル名を指定。

③［保存］をクリック。





ご参考

- 作業内容を保存したファイルをプロジェクトファイルと呼びます。プロジェクトファイルを保存しておくと、そのファイルを読み込んで同じ内容の DVD を作成したり、追加の編集を行って別の DVD を作成したりすることができます。

9 **Ulead DVD MovieWriter 4 SE を終了します。**

をクリック。



活用

DVD に記録した映像を編集しよう

ここでは、DVD-RAM に記録した映像を Ulead DVD MovieWriter 4 SE を使用して不要な部分をカットし、結合する方法について説明します。
作成した DVD に追記／再編集ができるディスクについては、128 ページを参照してださい。

著作権保護機能について

PC-AX100M で録画したデジタル放送の番組や、レコーダーなどで 1 回だけ録画可能な番組を録画した DVD ディスクの映像は Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE では表示されません。また、追記／編集することもできません。

1 **映像データの入った DVD-RAM を CD/DVD ドライブにセットします。**

ディスクの内容を表示する画面が表示されたときは、☒ をクリックします。

2 **「DVD MovieWriter 4 SE」を起動します。**

①スタートをクリック。

②「すべてのプログラム」－「Ulead DVD MovieWriter 4.0 SE」－「Ulead DVD MovieWriter 4.0 Launcher」をクリック。

3 編集方法を選択します。

① をポイントし、表示されるメニューから「DVD の編集」をクリック。

② 「DVD-VR の編集」をクリック。

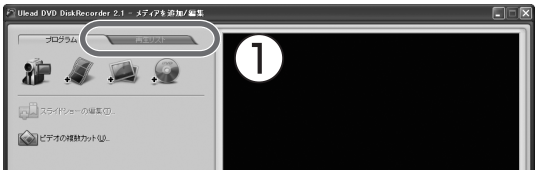
「メディアを追加 / 編集」画面が表示されます。



4 編集する映像ファイルを選択します。

① 「再生リスト」タブをクリック。

② 「プログラムリスト」から編集したい映像をクリックして選択。





5 映像ファイルの不要な部分をカットして編集します。

① 必要な映像の先頭に [ジョグバー] を移動し、 [マークインボタン] をクリック。

② 必要な映像の最後に [ジョグバー] を移動し、 [マークアウトボタン] をクリック。

③ [ビデオセグメントを現在選択した再生リストに追加] をクリック。





ご参考

- 続けて編集するときは、「プログラムリスト」から、手順 **4** で選択した同じムービーを再度クリックして、不要な部分をカットしていきます。

活用

6 編集した映像ファイルを結合します。

①「リスト」欄から、編集した映像を選択する。
複数の映像を選択するときは、Ctrl キーを押しながらクリック。

②［エントリーポイントを結合］をクリック。

③［次へ］をクリック。
「プレビューと終了」画面が表示されます。





7 ディスクへ書き込みます。

①［書き込み］をクリック。

②「処理が完了しました。」と表示されたら、［OK］をクリック。

8 Ulead DVD MovieWriter 4 SE を終了します。

をクリック。

活用

映像・画像・音楽を手軽に楽しむ（ライブラリ）

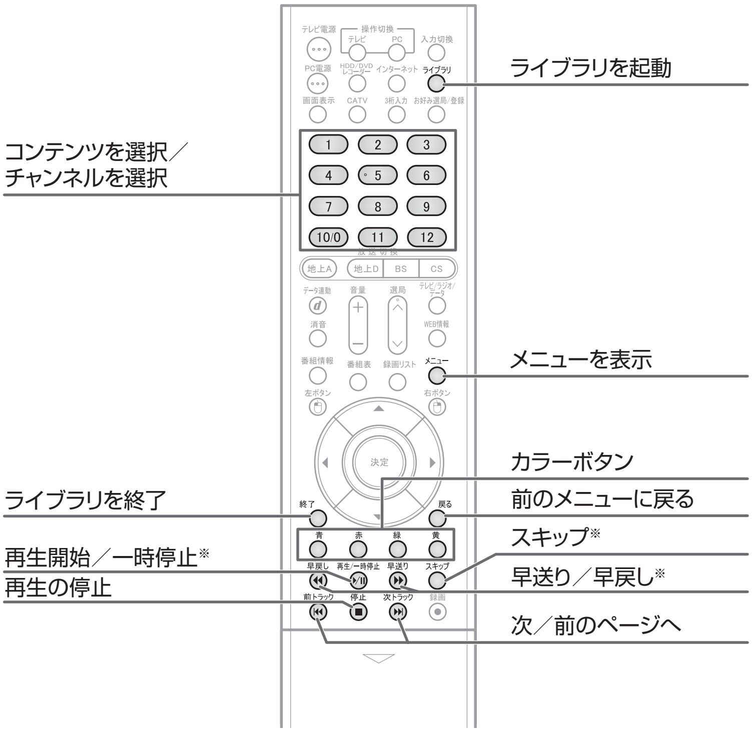
ライブラリ（AV Library）を使うと、お使いのパソコンに保存している映像･画像･音楽を AV Library で再生できます。また、ネットワーク（LAN）に接続している場合は、このパソコンや他のパソコンに保存している映像・画像・音楽を共有し、お互いのパソコンで再生できます。

ご参考

- AV Library の詳しい操作についてはヘルプを参照してください。ヘルプを見るときは、[スタート] をクリックし､「すべてのプログラム」ー「SHARP AV Library」ー「AV Library」ー「AV Library のヘルプ」（または［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」ー「SHARP AV Library」ー「AV Library Server」ー「AV Library Server のヘルプ」）をクリックしてください。

ライブラリでのリモコン操作一覧

リモコンのボタンで以下のような操作ができます。
カラーボタン（青・赤・緑・黄）で操作することもあります。詳しくは、ライブラリ起動中、画面下部に表示される操作ガイドを参照してください。



※再生するファイルによっては、一時停止、早送り／早戻し、スキップができないことがあります。操作可能な場合は、画面に表示されるコントローラーの［ ▶▶ ］［ ◀◀ ］などのボタンが有効になります。

活用

ライブラリで再生できるファイル形式

ライブラリで再生できるファイル形式は次のとおりです。

映像ファイル	MPEG-2、WMV、AVI
画像ファイル	JPEG、BMP、PNG
音楽ファイル	MP3、WMA、WAV、LPCM

ご参考

- 上記の条件を満たしていても、ご使用の環境によっては正常に再生・表示できない場合があります。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- StationTV G2（付属ソフト）で録画した地上アナログ放送の番組も利用できます。
- StationTV Digital（PC-AX100Mのみに付属のソフト）で録画したデジタル放送の番組は利用できません。

お使いのパソコンで楽しむには

手順	ページ
①「公開フォルダ」を指定	次ページ
②「公開フォルダ」に、楽しみたい映像・画像・音楽を保存	
③ **AV Library** を起動	141 ページ
④ 公開フォルダにある映像・画像・音楽を楽しむ	141 ページ

他のパソコンと映像などを共有するには

手順	ページ
① 他のパソコンと映像などを共有するこのパソコンでユーティリティ **CD** を作成	144 ページ
② 作成したユーティリティ **CD** を他のパソコンにセットして **AV Library** をインストール	146 ページ
③ それぞれのパソコンで「公開フォルダ」を指定	139 ページ
④「公開フォルダ」に、楽しみたい映像・画像・音楽を保存	
⑤ **AV Library** を起動	148 ページ
⑥ 公開フォルダにある映像・画像・音楽を楽しむ	148 ページ

公開フォルダを指定する

ライブラリでは、公開フォルダとして設定されているフォルダ内のファイルだけを再生･表示します。このパソコンでは、あらかじめ次のフォルダが公開フォルダとして設定されています。

映像ファイル	アナログテレビ録画 1 アナログテレビ録画 2（PC-AX100M のみ）
画像ファイル	マイピクチャ（My Picture）
音楽ファイル	マイミュージック（My Music）

ご注意

- 公開フォルダに登録されたフォルダ内の各ファイルは、他のパソコンから参照することができます。別のパソコンに公開したくないフォルダは、公開フォルダに登録しないでください。ただし、この場合はご自分のパソコンでもそのフォルダ内のコンテンツは、AV Library で視聴できなくなります。

ご参考

- StationTV G2（付属ソフト）で録画した地上アナログ放送の番組は、自動的に公開フォルダ内に保存されます。
- 公開フォルダを指定する前に Windows Media Player を起動すると、映像ファイルの公開フォルダとしてマイビデオ（My Video）が追加設定されます。
- 映像・画像・音楽の各ファイルを上記以外のフォルダに保存しているときは、そのフォルダを新たに公開フォルダとして登録する必要があります。（☞ 下記）

1 画面下部に表示されているタスクバーの（または）を右クリックし、「公開フォルダの設定」をクリックします。

「公開フォルダの設定」画面が表示されます。

ご参考

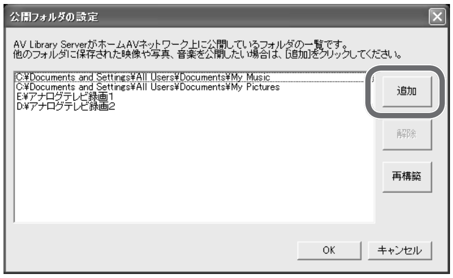
- はじめて使用したときは､「AV Library Server －使用許諾書」が表示されます。記載内容を確認し、同意される場合は［同意する］をクリックしてください。
- または が表示されていないときは、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP AV Library」－「AV Library Server」－「AV Library Server」をクリックして AV Library Server（サーバー機能）を起動してください。

活用

2 **新たに公開フォルダとして設定したいフォルダがある場合は、手順 3 に進みます。**
公開フォルダを追加する必要のない場合は、手順 5 に進みます。

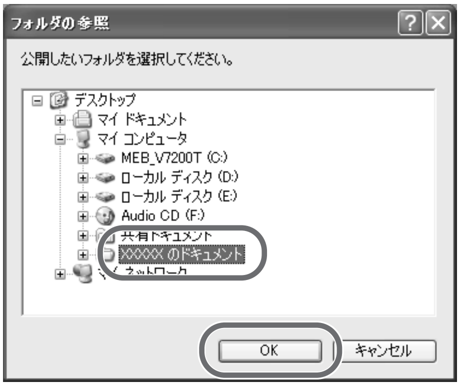
3 **［追加］をクリックします。**

「フォルダの参照」画面が表示されます。



4 **登録するフォルダをクリックして選択し、［OK］をクリックします。**

選択したフォルダが、公開フォルダのリストに追加されます。



5 **［OK］をクリックして「公開フォルダの設定」画面を閉じます。**

ご参考

- 公開を解除するときは、手順 **3** の画面でフォルダを選択し［解除］をクリックします。
- その他の機能については、AV Library Server のヘルプを参照してください。

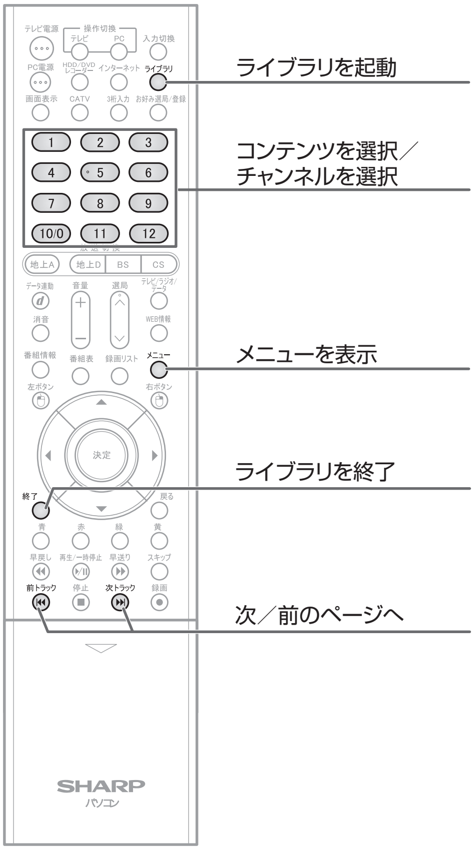
活用

このパソコンに録りためた映像・画像・音楽を楽しむ

公開フォルダに保存している映像・画像・音楽を再生します。

ご参考

- AV Library をはじめて使用したときは、「AV Library －使用許諾書」が表示されます。記載内容を確認し、同意される場合は［同意する］をクリックしてください。



1 ライブラリ を押します。

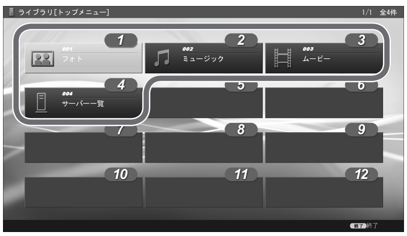
「ライブラリ［トップメニュー］」画面が表示されます。



ご参考

- AV Library は、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP AV Library」－「AV Library」－「AV Library」をクリックして起動することもできます。

2 1～12 を押してコンテンツの種類を選びます。



フォルダ一覧が表示されます。

ご参考

- 「サーバー一覧」を選択するとアクセス可能なコンピュータの一覧が表示され、選択したコンピュータのコンテンツのみを表示することができます。

活用

3 **で内容を見たいフォルダのチャンネルを押します。**

選択したフォルダの内容一覧が表示されます。

戻る を押すと、1 つ前のメニューに戻ります。

前トラック または 次トラック で、前または次のページを表示します。



4 **で再生したいコンテンツのチャンネルを押します。**

コンテンツの再生が始まります。



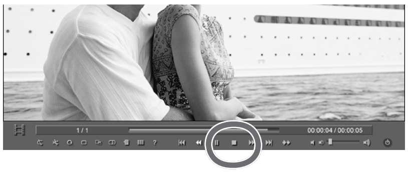
ご参考

- フォトの場合、選択した画像からスライドショーが始まります。
- 再生中のリモコンボタンの操作については、137 ページを参照してください。
- マウスポインターを動かすと、コントローラーが表示されます。各ボタンの働きについては、AV Library のヘルプを参照してください。



5 **停止を押して再生を終了します。**

メニューを押すとフォルダの内容一覧画面に戻ります。



6 **再生が終了したら、終了 を押して AV Library を終了します。**

スライドショー再生中に BGM を流すには

① スライドショー再生中に メニュー を押します。

②「ライブラリ［トップメニュー］」画面が表示されるまで 戻る を押します。

③ 2 を押して、「ミュージック」を選びます。

④ でフォルダを選びます。

フォルダ（または曲）が見つからないときは、前トラック または 次トラック で、前または次のページを表示させてください。

⑤ で聴きたい曲を選びます。

⑥ コントローラの ♫ をクリックします。

♫ が に変わります。

⑦ 再生/一時停止 を押してスライドショーの再生を再開します。

活用

ライブラリの環境設定について

メニュー画面で 黄 を押すと、メニューに表示されるファイルを並び替えることができます。また、フォト画面では画像の切り替え効果や画像の表示時間などもお好みの設定に変更することができます。

フォト画面の設定項目

並び替え

ファイルの並び順を設定します。

・名前の昇順　・名前の降順　・日付の昇順　・日付の降順

画像の切り替え効果

スライドショーで画面が切り換わるときの視覚効果を設定します。

・なし　・クロスディゾルブ　・ディザディゾルブ　・チェッカーワイプ
・ワイプ　・スライドイン　・ランダムディゾルブ　・レクトアングルワイプ
・ランダム

画像の表示時間（秒）

1 枚の画像の表示時間を設定します。

・1　・3　・5　・10　・15　・30

ミュージック画面の設定項目

並び替え

ファイルの並び順を設定します。

・名前の昇順　・名前の降順　・日付の昇順　・日付の降順
・アーティストの昇順　・アーティストの降順　・アルバムの昇順　・アルバムの降順
・ジャンルの昇順　・ジャンルの降順　・トラックの昇順　・トラックの降順

「ムービー」画面の設定項目

並び替え

ファイルの並び順を設定します。

・名前の昇順　・名前の降順　・日付の昇順　・日付の降順

他のパソコンと映像・画像・音楽を共有するための準備をする

ネットワーク（LAN）に接続している場合は、お使いのパソコンや他のパソコンに保存している映像・画像・音楽を共有し、お互いの機器で再生できます。映像・画像・音楽を共有できるようにするには、このパソコンでユーティリティCD を作成し、共有する他のパソコンに AV Library をインストールする必要があります。

ご参考

- 他のパソコンに「SHARP Media Library」がインストールされている場合は、「AV Library」をインストールする必要はありません。SHARP Media Library を使ってお互いのパソコンに保存している映像・画像・音楽を共有し、お互いのパソコンで再生できます。

ユーティリティ CD を作成する

準備するもの

- 新しい CD-R　1 枚

ご参考

- 動作確認済み CD-R については、「**動作確認済みディスク**」（☞ 28 ページ）を参照してください。

1 **デスクトップに「Backup」、「Music」、「DATA」の 3 つのボックスが表示されていることを確認します。**
表示されていないときは、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Drag'n Drop CD+DVD5」－「Drag'n Drop CD+DVD5」をクリックします。

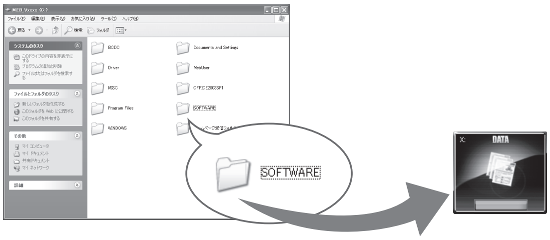


2 **［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**

3 **「MEB_Vxxxx(C:)」アイコンをダブルクリックします。**

活用

4 **「SOFTWARE」フォルダを「DATA」ボックスにドラッグ＆ドロップします。**



5 **新しい CD-R を CD/DVD ドライブにセットします。**

何か画面が表示されたときは、画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じてください。

6 **「DATA」ボックスの をクリックします。**

「DATA」ボックスをダブルクリックし、「Data Layout Window」画面で［書き込み］をクリックしてもかまいません。



7 **「書き込み速度の選択」画面で［OK］をクリックします。**

書き込みが始まります。

8 **書き込みが終了すると、自動的にディスクが出てきますので、CD-R（ユーティリティ CD）を取り出します。**

「Writing Status Information Window」画面が表示されているときは、［閉じる］をクリックして閉じます。

9 **取り出した CD-R に「ユーティリティ CD」と書きます。**

CD-R に文字を書くときは、ペン先の硬くない油性ペンなどをお使いください。

活用

他のパソコンに AV Library をインストールする

ネットワークに接続している他のパソコンと映像･画像･音楽を共有するため、共有するパソコンに AV Library をインストールします。

必要な動作環境

対応 OS	・Windows XP Home Edition SP2（日本語版のみ） ・Windows XP Professional SP2（日本語版のみ）
CPU	・Intel Celeron 1GHz 以上または互換 CPU 1GHz 以上 ・Intel Pentium Ⅲ 1GHz 以上または互換 CPU 1GHz 以上を推奨
メモリー	・256MB 以上を推奨
ハードディスク	・50MB 以上の空き容量（配信するコンテンツに応じた空き容量が別途必要）
ネットワークアダプター	・利用環境に応じた LAN アダプターまたはワイヤレス LAN アダプター
ディスプレイ	・解像度 1024 × 768 以上 ・色 High Color（16 ビット）以上

ご参考

- 上記の条件を満たしていても、ご使用のソフトウェア、ハードウェアの環境によっては正常に動作しない場合があります。
- AV Library で再生可能なファイル形式については、「**ライブラリで再生できるファイル形式**」（☞138 ページ）を参照してください。
- サーバー側のパソコンの使用状況によっては、映像のコマ落ちが発生する場合があります。

MPEG-2の再生について

- DVD 再生ソフトなどがインストールされていない場合は、AV Library で MPEG-2 を再生できません。

1 **他のパソコンの CD/DVD ドライブに、ユーティリティ CD（☞ 144 ページ）をセットします。**

2 **［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

3 **CD/DVD ドライブのアイコンをダブルクリックします。**

4 **「SOFTWARE」フォルダをダブルクリックします。**

活用

5 **「AV Library 」フォルダをダブルクリックします。**
「AV Library」フォルダと「AV Library Server」フォルダが表示されます。

6 **「AV Library」フォルダをダブルクリックします。**

7 **「Setup」アイコンをダブルクリックします。**
インストーラーが起動します。

8 **画面の指示に従って AV Library をインストールします。**
インストールが完了したら、続いて「AV Library Server」フォルダを開き、「Setup」アイコンをダブルクリックして AV Library Server（サーバー機能）をインストールします。
AV Library Server をインストールすると、再起動を促す画面が表示されます。[はい] をクリックすると、パソコンが再起動します。

ご参考

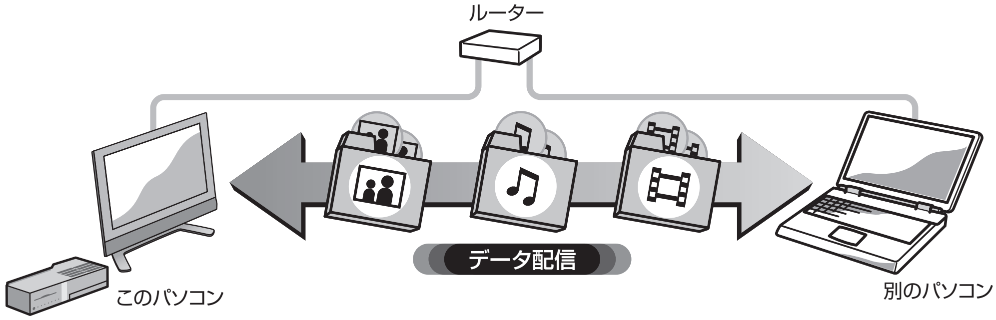
- サーバー名の入力画面が表示された場合は、ネットワーク上でそのパソコンが特定できるような名前を入力します。名前は、あとで変更することもできます。
- ファイアウォールの変更画面が表示された場合は、[OK] をクリックします。

9 **タスクバーに表示された  をクリックすると、「AV Library Server －使用許諾書」の画面が表示されます。同意される場合は［同意する］をクリックします。**
AV Library Server は、パソコンの電源を入れると自動的に起動します。

活用

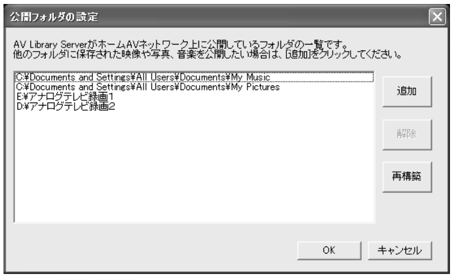
他のパソコンと共有して映像・画像・音楽を楽しむ

ここでは、このパソコンとネットワーク（LAN）に接続している他のパソコンと映像･画像･音楽を共有し、お互いの機器で再生する方法について説明します。



1　このパソコンと他のパソコンで公開フォルダを設定します。

詳しくは、「公開フォルダを指定する」（☞ 139 ページ）を参照してください。



2　（ライブラリ）を押します。

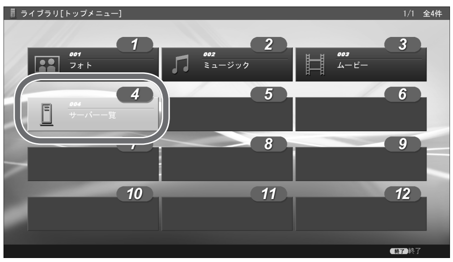
AV Library が起動します。

他のパソコンで起動するには、［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP AV Library」－「AV Library」－「AV Library」をクリックします。

3　（4）を押してサーバー一覧を選びます。

公開されているパソコンのコンピュータ名が一覧表示されます。

他のパソコンで操作するときは、「サーバー一覧」をクリックします。



4 ①〜⑫でコンピュータ名を選びます。

選択したパソコンの公開フォルダが表示されます。
他のパソコンで操作するときは、コンピュータ名をクリックします。



5 映像・画像・音楽を再生します。

詳しくは、「このパソコンに撮りためた映像・画像・音楽を楽しむ」（☞ 141 ページ）の手順 **2** 以降を参照してください。

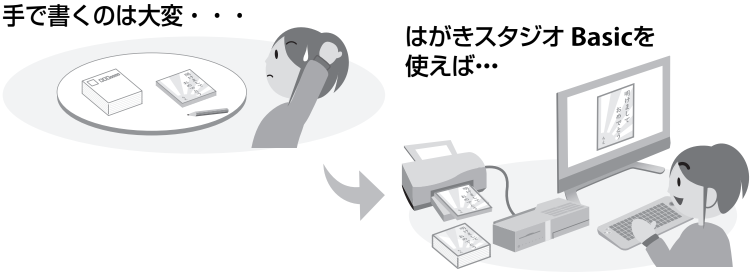
ご参考

- 電源が入っていないパソコンの映像・画像・音楽ファイルは再生できません。
- 他のパソコンでの AV Library の操作方法については、AV Library のヘルプを参照してください。

活用

年賀状を作る

Microsoft はがきスタジオ Basic 平成 18 年版（以下「はがきスタジオ Basic」と表記します。）を使って、年賀状を作ります。



活用

はがきスタジオ Basic での操作の概要

最初に、はがきスタジオ Basic の起動から終了までの操作の概要を紹介します。

はがきスタジオ Basic を起動する

［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「Microsoft はがきスタジオ」－「Microsoft はがきスタジオ」をクリックします。
はじめて起動するときは、使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容を読み、同意される場合は、［同意する］をクリックすると、次ページの画面（スタートビュー）が表示されます。

年賀状を作る

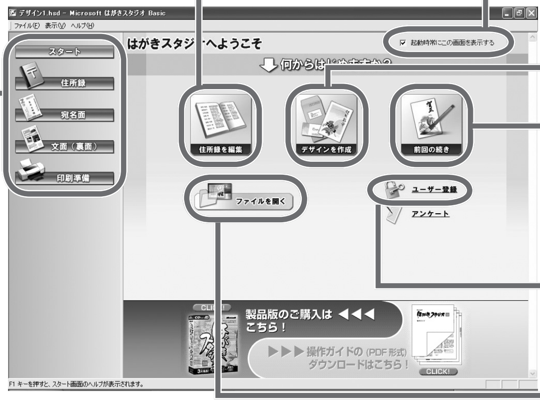
本文デザインや宛先用の住所録、差出人などを作ります。

はがきスタジオ Basic の画面

操作パネル
ボタンをクリックして
各ビューに切り替えます。

住所録を編集
新しく住所録を作成したり、
他社製ソフトの住所録を
読み込むことができます。

起動時にこの画面を表示する
このチェックボックスをオンにすると、
「はがきスタジオ Basic」を起動したときに
常にスタートビューが表示されます。



デザインを作成
はがきやラベル、名刺などの
デザインを作ることができます。

前回の続き
前回終了したときの状態から
作業を続けることができます。

ユーザー登録
インターネット上でユーザー
登録することができます。

ファイルを開く
デザインファイルを
開くことができます。

印刷する

作成した本文デザインや宛先をはがきに印刷します。

保存する

作成した本文デザインや宛先を保存します。

ご参考

- はがきスタジオ Basic について詳しくは、ヘルプを参照してください。ヘルプは「ヘルプ」メニューをクリックし、「Microsoft はがきスタジオ ヘルプ」をクリックすると表示されます。
- はがきスタジオ Basic に関しては、マイクロソフト株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**【パソコン電子マニュアル】**の「**お問い合わせ先**」(☞104 ページ)でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

活用

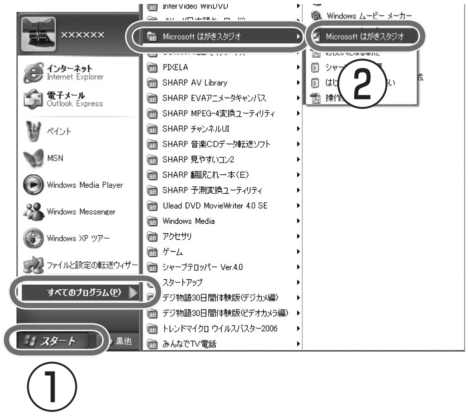
年賀状をデザインしよう

年賀状の裏面（文面）をデザインします。
ここでは、ひな形のデザインを利用して、写真入り年賀状を作成する方法を説明します。

1 **はがきスタジオ Basic を起動します。**

①［スタート］をクリック。

②「すべてのプログラム」－「Microsoft はがきスタジオ」－「Microsoft はがきスタジオ」をクリック。



ご参考

- はじめて起動するときは、使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容を読み、同意される場合は、［同意する］をクリックすると、起動します。

2 **［デザインを作成］をクリックします。**



ご参考

- 上記の画面（スタートビュー）が表示されていない場合は、画面左上の［スタート］をクリックすると表示されます。
すでにデザインが作られている場合は、メッセージが表示されます。(☞155ページ)

活用

3 デザインを選択します。

①［写真入り年賀状］をクリック。



②［伝統的なデザイン］をクリック。



③ 使用するデザインをクリック。

④［このデザインを使う］をクリック。



ご参考

- ここでは、写真は後で差し替えますので、写真を差し替えるかどうかをたずねるメッセージが表示されたら、［後で差し替える］をクリックします。

4 文章を変更します。

① 変更する文章をドラッグして選択。

② 変更後の文章を入力。



ご参考

- フォント、スタイル、大きさを変えることができます。文章を選択し、「文字の書式」作業ウィンドウの［書式］タブで変更したい項目をクリックします。

活用

5 写真を差し替えます。

「マイ ピクチャ」に保存している写真と差し替える場合を例に説明します。
あらかじめ、年賀状に使いたい写真をマイピクチャに保存しておきます。

① 写真をクリック。
② ［写真を差し替える］をクリック。
③ 差し替える写真をクリック。
④ ［置換］をクリック。



6 保存します。

①「ファイル」－「名前を付けて保存」をクリック。
② ファイル名を入力して［保存］をクリック。
③［閉じる］をクリック。



活用

すでにデザインが作られている場合

- デザインは、一つのファイルに複数作ることができます。保存した後、手順 **2** から繰り返すことで作ります。例えば、大人用と子供用のデザイン、個人用と会社用のデザインを一つのファイルで管理することができます。
- すでにデザインが作られている場合は、手順 **3** の①で右の画面が表示されます。これから作るデザインを一緒に保存･管理したいときは［はい］をクリックし、別のファイル名で保存･管理したいときは、［いいえ］をクリックしてください。



  はがきスタジオを起動したときには、前回保存したファイルが自動的に読み込まれますので、起動後初めてデザインを作成するときにもこの画面が表示されることがあります。
- 一緒に保存した場合、切り替えパネルのサムネイルをクリックすることで、作業するデザインを選ぶことができます。



活用

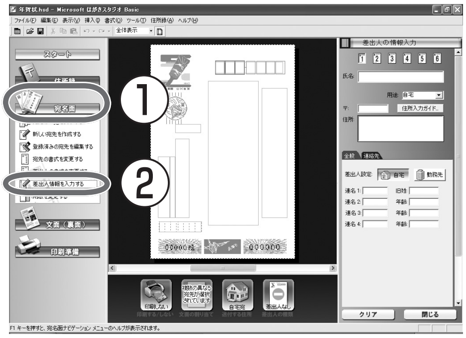
差出人を登録しよう

差出人（自分や家族など）の情報を登録しておきます。6 つまで登録でき、はがきの内容によって記載する差出人情報を使い分けることができます。

1 **宛名面を表示します。**

① ［宛名面］をクリック。

②「差出人情報を入力する」をクリック。



2 **差出人の情報を入力します。**

① 各項目を入力。

- 氏名は必ず入力してください。
  連名の名前の位置を揃えるため、姓と名の間にスペース（全角または半角）を入力してください。
- 連名とは、差出人と一緒に並べて記載する名前（家族の名前など）のことです。
- 郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」欄に自動的に入力されます。番地を追加して住所欄を完成させます。
- 必要に応じて「連絡先」タブをクリックして、電話番号等を入力します。



選択した入力項目名（上の例では「TEL」）は、そのままはがきに記載されます。

- 1 2 3 4 5 6 の 1 ～ 6 をクリックし、それぞれに異なった差出人情報を入力して、印刷時に使い分けることができます。
- ［クリア］をクリックすると、入力した情報
  （1 2 3 4 5 6 の内の入力中のカード）がすべて削除されます。

② ［閉じる］をクリック。

入力した情報が確定情報として登録されます。



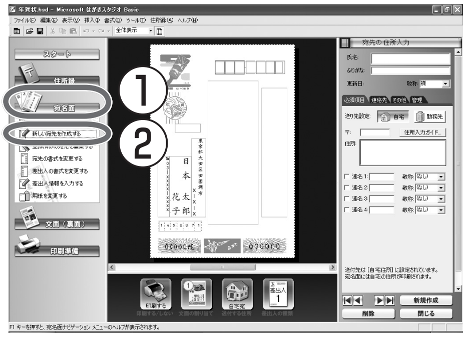
宛先を登録しよう

送り先の名前と住所を登録します。送り先の住所を登録しておくと、年賀状以外でも利用できます。
また、別のはがき作成ソフトの住所録を利用することもできます。(☞165ページ)

1 宛名面を表示します。

①［宛名面］をクリック。

②「新しい宛先を作成する」をクリック。



2 宛先の情報を入力します。

① 各項目に入力。

- 氏名は必ず入力してください。
  連名の名前の位置を揃えるため、姓と名の間にスペース（全角または半角）を入力してください。
- 連名とは、差出人と一緒に並べて記載する名前（家族の名前など）のことです。
- 氏名を入力すると、ふりがなが自動入力されます。必要に応じて修正します。
- 郵便番号を入力すると、該当する住所が「住所」欄に自動的に入力されます。番地を追加して住所欄を完成させます。
- 必要に応じて「連絡先」「その他」「管理」の各タブをクリックして、入力してください。
- ［削除］をクリックすると、表示中の宛先がまるごと削除されます。

②［新規作成］をクリック。
入力した宛先が確定情報として登録され、続けて次の宛先を入力するための空白の画面に変わります。
続けて宛先を入力しない場合は、［閉じる］をクリックします。



活用

印刷しよう

はがきを印刷するには、使用しているパソコンでプリンターが使用できるようになっている必要があります。印刷を始める前に、プリンターの準備ができていることを確認してください。
はがきの印刷の流れは、次のようになります。

テスト印刷する ➡ 宛先を指定する ➡ 印刷前にエラーをチェックする ➡ はがきに印刷する

テスト印刷する

宛名面のテスト印刷を行います。テスト印刷後、必要に応じて印刷位置の微調整を行います。

1 印刷準備画面を表示します。

① ［印刷準備］をクリック。

②「宛名面を印刷する」をクリック。



ご参考

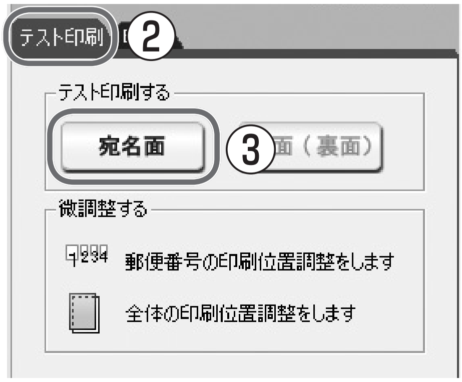
- 文面（裏面）をテスト印刷するときは、「文面（裏面）を印刷する」をクリックします。

2 テスト印刷します。

① プリンターに、テスト印刷用の用紙をセット。
宛名面が印刷されるようにセットします。

②「テスト印刷」タブをクリック。

③ ［宛名面］をクリック。
テスト印刷が始まります。



印刷位置を微調整するには

- 宛名用と差出人用の郵便番号の印刷位置を微調整するには、「テスト印刷」タブの 1234（郵便番号の印刷位置調整をします）をクリックします。「郵便番号の位置調整」画面で、郵便番号欄の数字をドラッグして、テスト印刷の結果と同じ位置までずらします。「縦位置」「横位置」の▲ ▼をクリックして調整することもできます。
- はがき全体の位置を微調整するには、（全体の印刷位置調整をします）をクリックします。「デザインの位置調整」画面で、テスト印刷の結果を参考にしながら「デザインイメージ」をドラッグするか、「縦位置」「横位置」の▲▼をクリックして調整してください。

宛先を指定する

宛先の一覧で印刷する人を指定します。

1 **宛先を一覧表示します。**

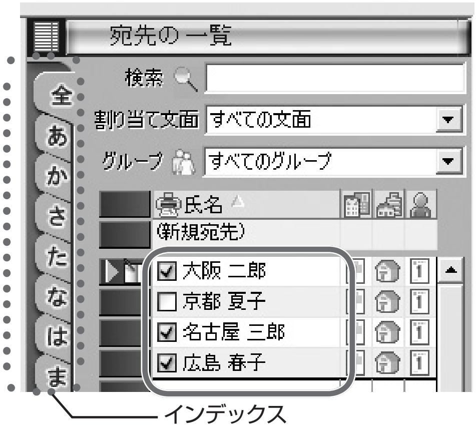
①［宛名面］をクリック。

②「宛先の一覧を表示する」をクリック。



2 **宛先を指定します。**

印刷する宛先にチェックマークを付ける。

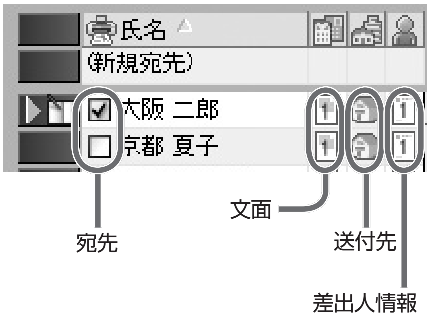


ご参考

- クリックするたびにチェックマークが付いたり消えたりします。
- インデックスをクリックすると、名前の読みが「あ行」「い行」など、インデックスに該当する人だけが表示されますので、送付対象の人を効率よく探すことができます。
- 名前の読みで検索して、送付対象の人を絞り込むこともできます。

送付先、差出人および文面の印刷内容も指定できます

- 自宅以外に勤務先も入力している宛先の場合は、送付先アイコンをクリックして印刷する送付先を切り替えることができます。
  は自宅、は勤務先を表します。
- 差出人情報を２つ以上入力している場合は、差出人情報のアイコンをクリックして切り替えることができます。
  が表示されているときには、はがきに印刷されません。
- 文面のデザインを２つ以上含むファイルの場合は、文面のアイコンをクリックして切り替えることができます。
  表示されているときには、はがきに印刷されません。



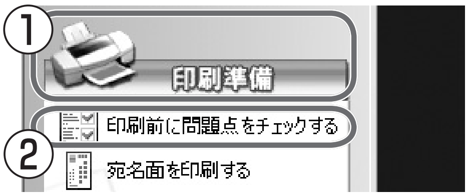
エラーをチェックする

印刷する前に、エラーがないか確認することができます。

1 エラーをチェックします。

① ［印刷準備］をクリック。

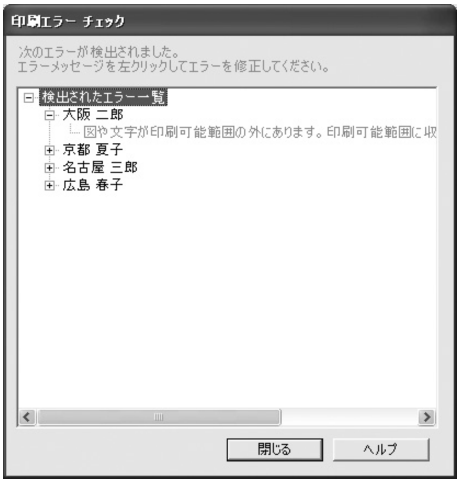
② 「印刷前に問題点をチェックする」をクリック。



活用

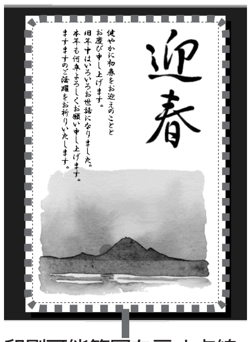
2 エラー内容を確認します。

- エラーがあった場合は、右のような画面が表示されます。
- エラーがなかった場合は、「エラーはありません。印刷が行えます。」とメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてください。
- 検出されたエラー一覧の ＋ をクリックすると、エラーを含む宛先が表示されます。
  宛先の前の ＋ をクリックすると、エラーメッセージが赤色の文字で表示されます。
- エラーメッセージをクリックすると、エラーが発生している編集画面に切り替わります。必要に応じて修正してください。
- エラーの中には、問題のないもの（たとえば、印刷可能範囲から図の透明な部分がはみ出している場合など）もあります。



はがきの印刷可能範囲とふちなし印刷について

- 宛名面画面や文面（裏面）画面で点線で囲まれた内側がプリンターで印刷される範囲です。この印刷可能範囲は、プリンターによって異なります。
- ふちなし印刷に対応したプリンターの場合、プリンターの設定を変えると､印刷可能範囲を文面（裏面）いっぱいまで広げることができます。設定方法はプリンターのマニュアルを参照してください。
  キヤノン製またはエプソン製ふちなし印刷対応プリンターを標準プリンターとして使用している場合は、はがきスタジオ Basic が自動でふちなしの設定を行うので、特別な操作は必要ありません。



印刷可能範囲を示す点線

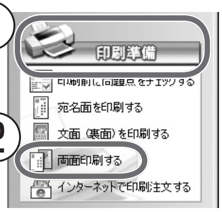
- 宛名面を印刷する場合は、はがきスタジオ Basic を起動するときにプリンターの設定がふちなしになっていると、郵便番号などの位置がずれることがあります。プリンターのふちなし設定をオフにしてからはがきスタジオ Basic を起動し、宛名面を印刷してください。

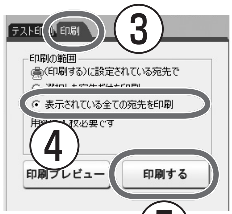
はがきに印刷する

「宛名面を印刷する」、「文面（裏面）を印刷する」、「両面印刷する」の 3 通りの方法で印刷できます。いずれの場合も、画面からの指示に従って操作を進めることができます。
ここでは、両面印刷を例に説明します。

1 印刷方法を選択します。

① ［印刷準備］をクリック。
②「両面印刷する」をクリック。
③「印刷」タブをクリック。
④「表示されている全ての宛先を印刷」をクリック。
⑤ ［印刷する］をクリック。



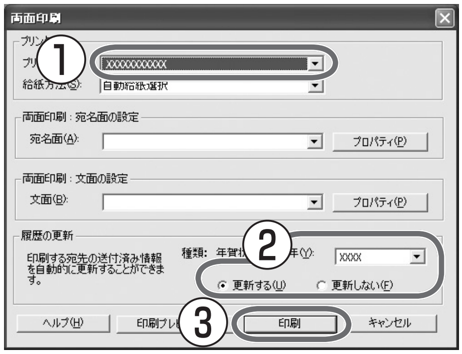


2 印刷します。

① プリンターを選択。
② 送付情報の履歴の更新をする / しないを設定。
履歴を更新すると、宛先の［管理］タブの履歴が更新され、該当年のはがきを出したことになります。



③ ［印刷］をクリック。
印刷が開始されます。



ご参考

- 履歴を更新できるのは
  はがきの種類が「年賀はがき」または「暑中見舞い」のときだけです。
- 紙詰まりなどが起きたときは
  印刷中に紙詰まりやインク切れを起こしてしまった場合は、お使いのプリンターの取扱説明書を参照して、適切な処置を行ってください。
- 画面の色と出力された色が違うときは
  まれに、宛名面の文字がグレーになるなど、画面上で指定した色と印刷した色が異なることがあります。
  そのような場合は、お使いのプリンターのプリンタードライバーの設定をご確認ください。
- 自動両面印刷対応のプリンターで印刷するには
  自動両面印刷対応のプリンターで印刷する場合は、「印刷準備」画面の「印刷」タブで「自動両面印刷する」の項目にチェックマークを付けてください。

以前に作ったデザインや住所録を修正する

デザインを開く

以前に保存したデザインを修正するときは、次の操作でファイルを開きます。

1 **［スタート］をクリックし、［ファイルを開く］をクリックします。**



2 **デザインファイルを選択します。**

① 修正したいデザインファイルをクリック。

② ［開く］をクリック。



3 **操作パネルの［文面］(裏面)をクリックします。**

複数のデザインがあるときは、切り替えパネルのサムネイルで修正するデザインをクリック。



サムネイル

住所録を開く

名前を付けて保存しておいた住所録を使用するには、次の操作で開きます。

1 **［スタート］をクリックし、［住所録を編集］をクリックします。**



活用

2 ［住所録を開く］をクリックします。



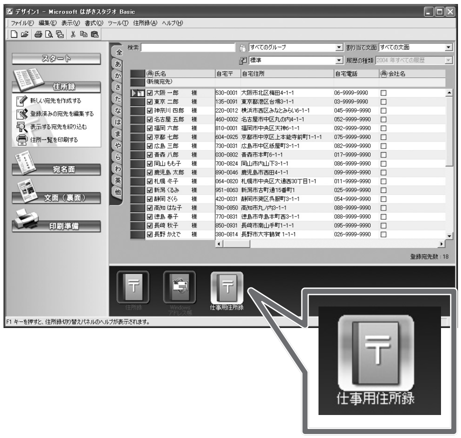
3 住所録ファイルを選択します。

① 修正したい住所録ファイルをクリック。

② ［開く］をクリック。

住所録が開き、画面の切り替えパネルにサムネイルが表示されます。





別のはがき作成ソフトの住所録を利用しよう

「はがきスタジオ Basic」の住所録には、以下のデータを取り込むことができます。あらかじめ、以下のファイル形式で保存して、このパソコンにコピーしておいてください。

作成したアプリケーション	ファイルの種類
他のはがき作成ソフト	ContactXML形式のファイル CSV形式(カンマ区切り形式)のファイル XML形式のファイル
Microsoft Excel	CSV形式(カンマ区切り形式)のファイル XLS形式のファイル
Microsoft Access	MDB形式のファイル
Outlook 98/2000/2002/2003	連絡先のデータ
Outlook Express	アドレス帳

ご参考

- 「はがきスタジオ Basic」で取り込める ContactXML 形式の住所録データは、「筆まめ ver.13/ver.14」「筆王 2003/2004」「筆ぐるめ ver.10/ver.11」「宛名職人 2003/2004」の住所録データです。
- これ以外のバージョンで作成した住所録データを取り込むには、元のデータを元のアプリケーションソフトで CSV/XLS/MDB 形式で保存したあと、「**XLS 形式や CSV 形式の住所録データを取り込む**」(☞次ページ)と同様の方法で、取り込むことができます。

ここでは、他のはがき作成ソフトで作成した ContactXML 形式のファイル、および Excel で作成した住所録ファイル (.xls) を取り込む方法を説明します 。取り込むファイルは、あらかじめこのパソコンにコピーしておいてください。

他のはがき作成ソフトの住所録を取り込む

他のはがき作成ソフトの住所録を、あらかじめ ContactXML 形式のファイルとして保存しておいてください。

1 取り込み操作を開始します。

① [スタート] をクリック。

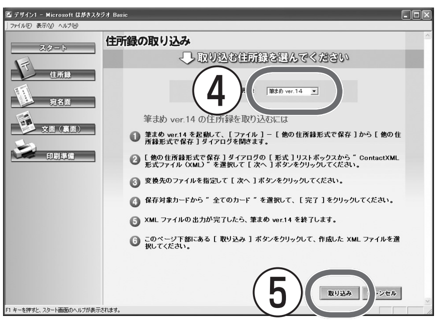
② [住所録を編集] をクリック。

③ [他社製住所録ファイルから取り込み] をクリック。

④「取り込む住所録」で取り込むはがき作成ソフトとそのバージョンを選択。

⑤ [取り込み] をクリック。





活用

2 **ファイルを指定して取り込みます。**

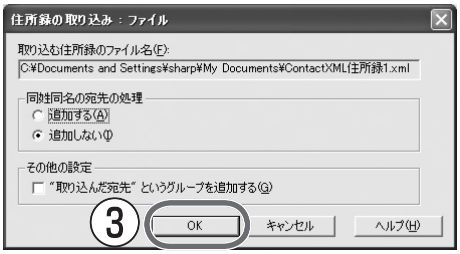
①あらかじめ用意した住所録ファイルをクリックして選択。

②［開く］をクリック。

③［OK］をクリック。

ContactXML形式のファイルが「はがきスタジオ Basic」の住所録ファイルに変換され、住所録ビューに表示されます。ただし、名前が入力されていないデータは「はがきスタジオ Basic」では取り込めません。





XLS形式やCSV形式の住所録データを取り込む

Microsoft Excelで作成したXLS形式またはCSV形式のデータを取り込みます。

ご参考

- 他のはがき作成ソフトで作成したCSV(カンマ区切り)形式のファイルも同じ方法で取り込むことができます。

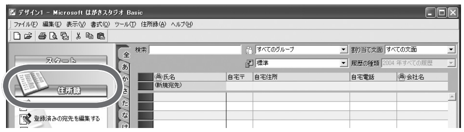
1 **取り込み操作を開始します。**

①［住所録］をクリック。

複数の住所録を使用している場合は、切り替えパネルのサムネイルをクリックして追加先の住所録に切り替えます。

②［ファイル］をクリックし、「住所録の取り込み」－「Excelファイルから」をクリック。

CSVファイルの場合は、「CSVファイルから」をクリック。





2 **ファイルを指定します。**

①あらかじめ用意したExcelファイル（.xls）をクリック。

②［開く］をクリック。



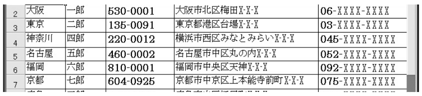
3 取り込むデータの項目を対応づけて、取り込みます。

① ［項目の対応づけ］をクリック。

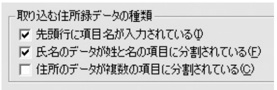
② 住所録の項目と取り込むデータの項目を対応づける。



例：次の Excel ファイルでの対応づけ

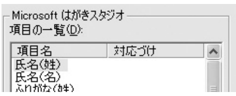


1「先頭行に項目名が入力されている」と「氏名のデータが姓と名の項目に分割されている」にチェックマークを付ける。





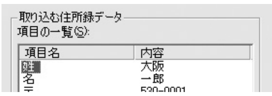
2 はがきスタジオ Basic の項目をクリック。

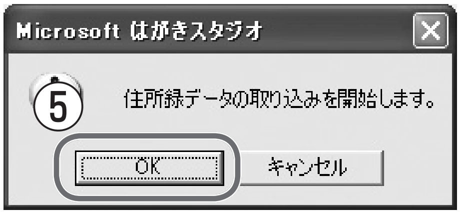


例：氏名（姓）

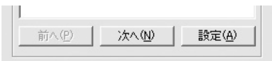
3 対応する Excel ファイルの項目をクリック。

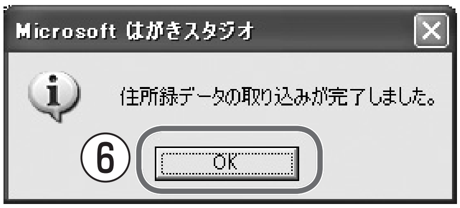
例：姓



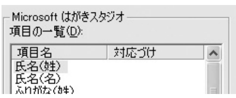


4［設定］をクリック。





はがきスタジオ Basic の項目の一覧の「対応づけ」の欄に「姓」と表示されます。





他の項目についても 1 ～ 4 の操作を行います。

③［OK］をクリック。

④［OK］をクリック。

⑤［OK］をクリック。

⑥［OK］をクリック。
データが取り込まれます。

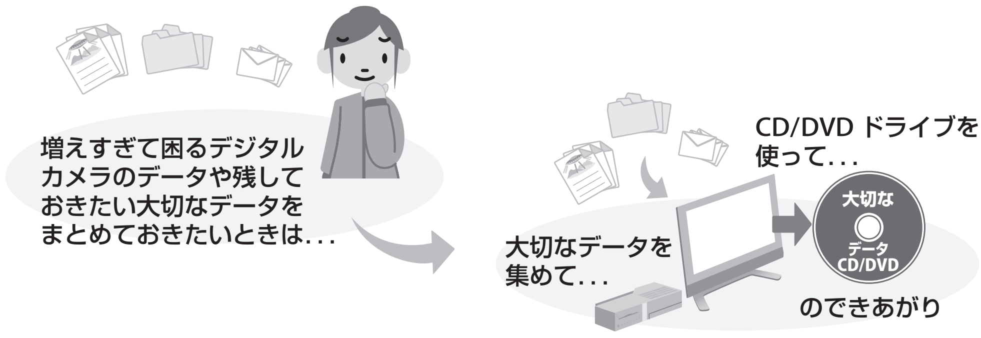
活用

パソコンのデータを管理する

パソコンのデータを CD-R/RW、DVD±R/RW、DVD-RAM に書き込む方法を紹介します。

※ 使用できるディスクの種類については、「使用するディスクについて」（☞121 ページ）を参照してください。

※ 「書き込みに失敗しないために」（☞33 ページ）を参照してください。



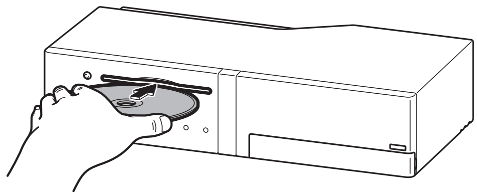
CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW にデータを保存しよう

残しておきたい大切なデータは、Drag'n Drop CD+DVD5 を使用し CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW に書き込んで保存できます。

準備するもの

- 次のいずれかのディスク
  未使用の CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

1 **新しいディスクを CD/DVD ドライブにセットします。**

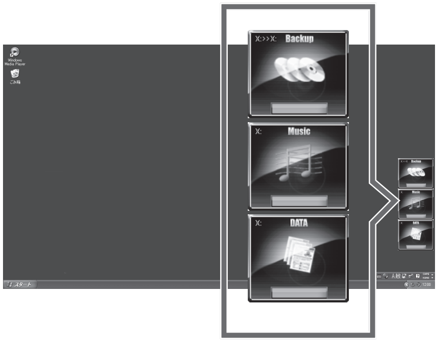


ご参考

- 「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されたときは、［キャンセル］をクリックします。

活用

2 デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「DATA」の3つのボックスが表示されていることを確認します。

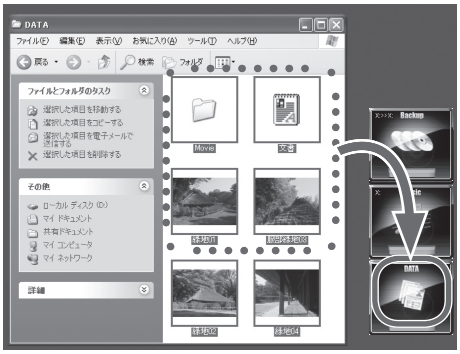


ご参考

- デスクトップ上にボックスが表示されていないときは、[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」－「Drag'n Drop CD+DVD5」－「Drag'n Drop CD+DVD5」をクリックします。

3 保存するデータを指定します。

保存したいフォルダやファイルを「DATA」ボックスにドラッグ＆ドロップ。



ご参考

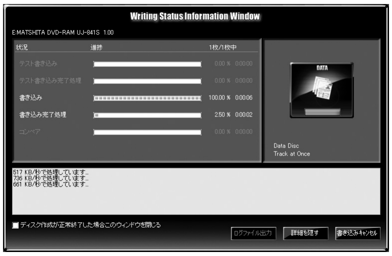
- 複数のフォルダやファイルを書き込む場合は、この操作を繰り返し、保存するファイルやフォルダを「DATA」ボックスに集めます。
- ドラッグ＆ドロップしたファイルやフォルダを確認するには、「DATA」ボックスをダブルクリックして「Data Layout Window」を表示します。
- 「Data Layout Window」での操作については、Drag'n Drop CD+DVD5 のヘルプを参照してください。

4 ディスクに書き込みます。

① 「DATA」ボックスの をクリック。

② 書き込み速度が「Max.」になっていることを確認。

③ ［OK］をクリック。
「Writing Status Information Window」が表示され、ディスクへの書き込みが始まります。



書き込みが終わると、ディスクが自動的に出てきます。

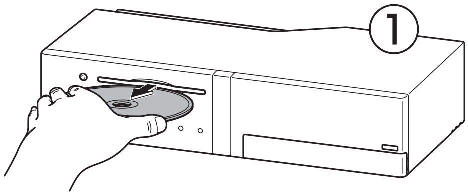


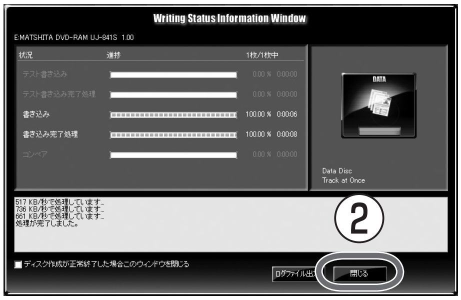


5 終了します。

① ディスクを取り出す。

② ［閉じる］をクリック。





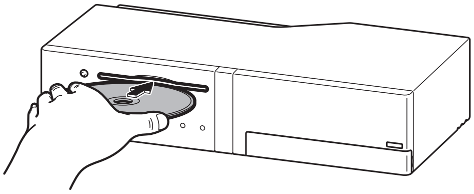
ご参考

- CD-RW、DVD-RW、DVD+RW ディスクにデータを追加して書き込むこともできます。操作については、Drag'n Drop CD+DVD5 のヘルプを参照してください。
- CD-RW、DVD-RW、DVD+RW は、書き込んだデータを消去して、もう一度データを書き込むことができますが、CD-R、DVD-R、DVD+R は書き込んだデータを消去できませんので、十分ご注意ください。
- Drag'n Drop CD+DVD5 の「Backup」では、元のディスクと異なった種類のディスクには書き込むことができません。元のディスクと同じ種類のディスクをご使用ください。
- Drag'n Drop CD+DVD5 に関しては、イージーシステムズ株式会社までお問い合わせください。お問い合わせ先は、**【パソコン電子マニュアル】**の「**お問い合わせ先**」（☞104 ページ）でご確認いただくか、**サポートのご案内** をご覧ください。

CD-RW、DVD-RW、DVD+RW からデータを消去しよう

CD-RW、DVD-RW、DVD+RW に保存されているデータが不要になった場合、データを消去して、別のデータの保存に利用できます。

1 消去するディスクを CD/DVD ドライブにセットします。



ご参考

- 「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されたとき、または、「WinDVD」が起動したときなどは、画面右上の☒をクリックして画面を閉じてください。

2 デスクトップ上に「Backup」、「Music」、「DATA」の 3 つのボックスが表示されていることを確認します。

ご参考

- 「デスクトップ上にボックスが表示されていないときは、「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」－「Drag'n Drop CD+DVD5」－「Drag'n Drop CD+DVD5」をクリックします。

3 3 つのボックスのどれかを右クリックし、[RW ディスクの消去] をクリックします。

4 消去します。

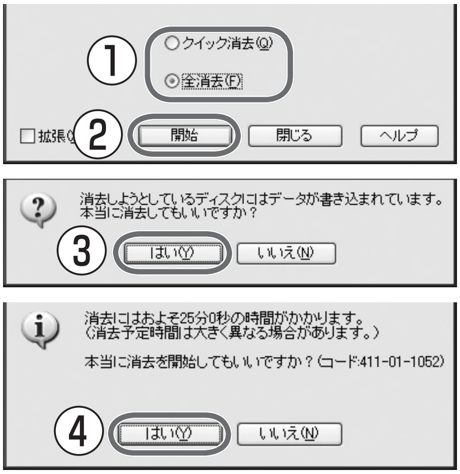
①「クイック消去」または「全消去」をクリック。

② [開始] をクリック。

③ 確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリック。

④ 時間を確認して [はい] をクリック。

消去が終わると、ディスクが自動的に出てきます。



5 終了します。

① [OK] をクリックして、ディスクを取り出す。

② [閉じる] をクリック。



DVD-RAM をデータディスクとして使おう

DVD-RAM は、ハードディスクに保存するときと同様の操作で 、データを保存することができます。
DVD-RAM にデータを保存するには 、あらかじめ Windows の CD 書き込み機能を無効に設定します。
ご購入時に無効に設定されていますので、そのまま DVD-RAM を利用することができます。

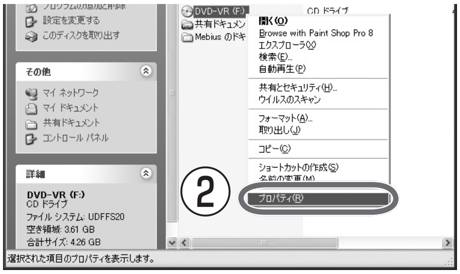
ご参考

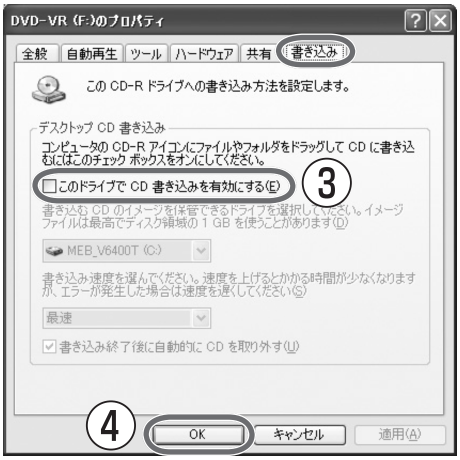
次の操作を行うときは、Windows の CD 書き込み機能を有効にしておく必要があります。

- Windows の CD 書き込み機能を使って、CD-R および CD-RW にデータを書き込むとき
- Windows の CD 書き込み機能を使って、CD-RW のデータを消去するとき

WindowsのCD書き込み機能の無効/有効を切り替える

① [スタート] をクリックし､｢マイコンピュータ｣ をクリック。
② 「DVD-RAM ドライブ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」 をクリック。
③「書き込み」 タブをクリックし、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」をクリックして有効 / 無効を切り替える。
チェックマークが付いているときが、有効です。
④ [OK] をクリック。
⑤ マイコンピュータ画面右上の ☒ をクリックして閉じる。





新しい DVD-RAM をフォーマットする

新しい DVD-RAM は、そのままでは使用できません。「フォーマット」という作業が必要です。
保存するデータの種類や DVD-RAM を使う機器に応じて、次の 3 種類のフォーマットから選びます。

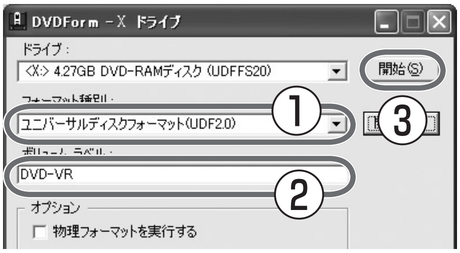
- **ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）**
  Windows XP/2000 搭載パソコンのドライブでデータを読み出すことができます。
  DVD-VR 形式に対応し、DVD ビデオレコーダーとの互換性があります。
  「Ulead DVD Movie Writer 4 SE」で映像を書き込んで、DVD ビデオレコーダーで再生するためのディスクを作成する場合は、このフォーマットを選択します。
- **ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）**
  Windows XP/2000 搭載のパソコンでデータを読み出すことができます。
- **FAT32**
  Windows XP/2000/Me/98 搭載のパソコンでデータを読み出すことができます。

1 **新しい DVD-RAM を CD/DVD ドライブにセットします。**

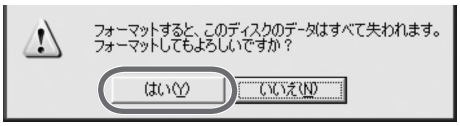
2 **[スタート] をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。**

3 **「DVD-RAM ドライブ」アイコンを右クリックし、「フォーマット」をクリックします。**

4 **次の項目を設定します。**
①「フォーマットの種別」を選択。
② ボリュームラベル（フォーマットする DVD-RAM の名前）を半角英数字で入力。
③ [開始] をクリック。



5 **確認画面で [はい] をクリックします。**



活用

6 終了します。

① [OK] をクリック。

② [閉じる] をクリック。

③ マイコンピュータ画面右上の ☒ をクリック。

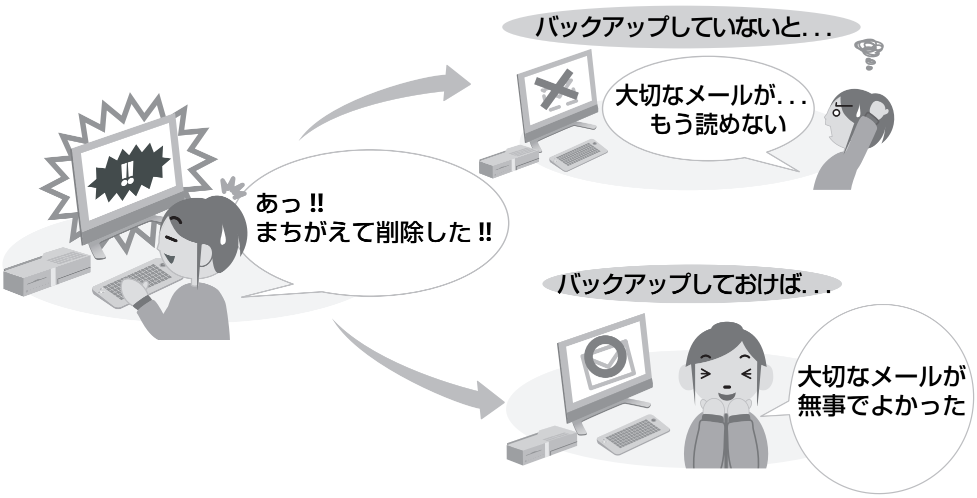
④ DVD-RAM を取り出す。



万一に備えて

大切なデータをバックアップする

パソコンを使っていくうちに、送受信した電子メールや作成した文書など、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなどの万一の場合に備えて、大切なデータは他の場所にもコピーしておきましょう。
データをコピーして他の場所に保存しておくことを、「バックアップ」といいます。
大切なデータは、日ごろからこまめにバックアップするようにしてください。
この項目では、DVD-RAM にバックアップする場合について説明しています。



ご注意

- デジタル放送を録画したデータはバックアップできません。DVD に保存する場合は、DVD-RAM へ移動（☞ レコーダー機能編 の「**その他の機能**」－「**デジタル放送の録画番組を DVD-RAM に移動する（DVD）作成**」－「**録画した番組を DVD-RAM に移動する（基本の操作）**」）してください。ただし、DVD-RAM へ移動すると、ハードディスクから録画データは消去されます。また、ハードディスクに録画データを書き戻すことはできません。
- ネットワークの設定などはファイルをコピーするだけではバックアップできません。必ずメモに控えておいてください。
- バックアップした後に、データの作成や編集をしたデータは、バックアップデータを戻して復元すると失われてしまいます。

DVD-RAM にフォルダを作成する

何のデータをバックアップしたかわかりやすく整理するために、バックアップをする前にあらかじめフォルダを作成しておきます。

ご注意

- フォルダを作成する前に、Windows の CD 書き込み機能を無効にしてください。操作方法について詳しくは、「**Windows の CD 書き込み機能の無効／有効を切り替える**」（☞ 172 ページ）を参照してください。

1　CD/DVD ドライブに、フォーマット済みの DVD-RAM を入れます。

フォーマットの方法について詳しくは、「**新しい DVD-RAM をフォーマットする**」（☞173 ページ）を参照してください。

2　[スタート] をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。

3　「DVD-RAM ドライブ（X:）」をダブルクリックします。

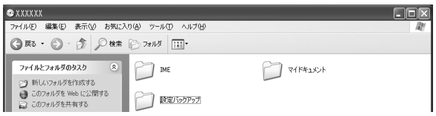
4　「ファイルとフォルダのタスク」欄の「新しいフォルダを作成する」をクリックします。

「新しいフォルダ」が作成されます。フォルダを作成した直後は、フォルダ名が青く反転されていて、名前を変更できる状態になっています。

5　「マイドキュメント」と入力して、フォルダ名を変更します。

6　手順 4 と手順 5 を繰り返して、以下のフォルダをそれぞれ作成します。

- 設定バックアップ
- IME

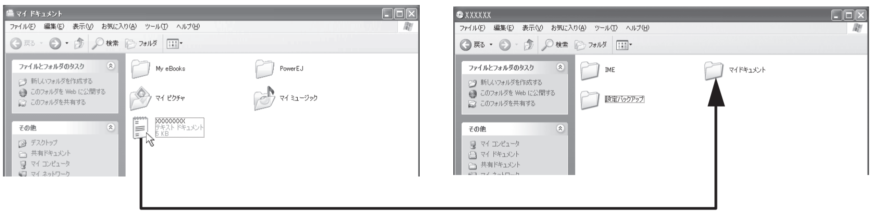


万一に備えて

データをバックアップする

ファイルをバックアップする

ご購入時の状態では、アプリケーションソフトウェアなどで作成した文書ファイルやデータファイルは、主にCドライブの「マイドキュメント」フォルダ内に保存されるようになっています。（アプリケーションソフトウェアによっては、他のフォルダにデータが保存されている場合もあります。）これらのデータを前ページの手順**5**で作成したDVD-RAMの「マイドキュメント」フォルダにコピーしてください。
ドラッグ＆ドロップでファイルをフォルダへ移動させると、コピーできます。



ご参考

- 録画したアナログ放送の番組をDVDに保存したいときは、レコーダー機能編の「**その他の機能**」－「**地上アナログ放送の録画番組をDVDに残す（DVD作成）**」－「**録画した番組をDVDに書き込む（基本の操作）**」を参照してください。
- PC-AX100Mで録画したデジタル放送の番組をDVDに保存したいときは、レコーダー機能編の「**その他の機能**」－「**デジタル放送の録画番組をDVD-RAMに移動する（DVD作成）**」－「**録画した番組をDVD-RAMに移動する（基本の操作）**」を参照してください。ただし、DVD-RAMへ移動すると、ハードディスクから録画データは消去されます。また、ハードディスクに録画データを書き戻すことはできません。

インターネットの設定やメールのデータをバックアップする

ここでは「ファイルと設定の転送ウィザード」を使って次の設定やデータをバックアップします。

- ダイヤルアップの設定
- Internet Explorerのお気に入り
- Internet Explorerの設定
- Internet Explorerのセキュリティの設定
- Outlook Expressの電子メール
- Outlook Expressのアドレス帳
- Outlook Expressのメールアカウント

1 **［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリックします。**

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。

2 **［次へ］をクリックします。**

3 **「転送元の古いコンピュータ」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］をクリックします。

4 **「その他」をクリックして選択し、［参照］をクリックします。**

「フォルダの参照」画面が表示されます。

5 **「マイコンピュータ」をクリックします。**

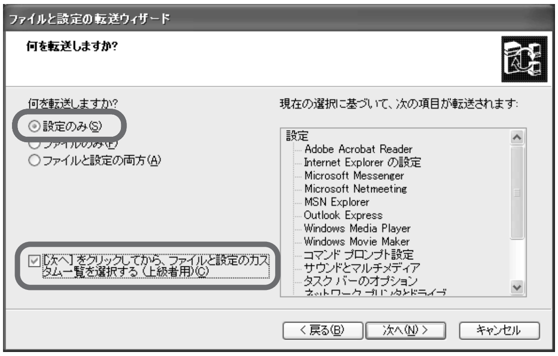
6 **「DVD-RAM ドライブ（X:）」をクリックします。**

7 **177 ページの手順 6 で作成した「設定バックアップ」をクリックし、［OK］をクリックします。**

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面に戻ります。

8 **［次へ］をクリックします。**

9 **「設定のみ」をクリックして選択し、「［次へ］をクリックしてから、ファイルと設定のカスタム一覧を選択する（上級者用）」をクリックしてチェックマークを付けます。**



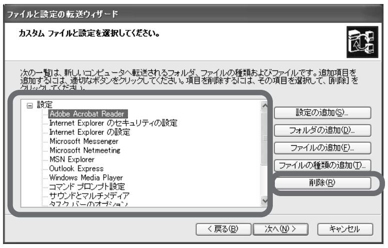
10 **［次へ］をクリックします。**

11 **「Internet Explorer の設定」と「Internet Explorer のセキュリティの設定」、「Outlook Express」だけが表示されるようにします。**

① 「Internet Explorer の設定」と「Internet Explorer のセキュリティの設定」、「Outlook Express」以外の項目をクリックして選択します。
② ［削除］をクリックします。

万一に備えて

③ ① と ② を繰り返して「Internet Explorer の設定」と「Internet Explorer のセキュリティの設定」、「Outlook Express」以外の項目を削除します。



「Internet Explorer の設定」または「Internet Explorer のセキュリティの設定」、「Outlook Express」を削除してしまったときは、[設定の追加] をクリックし、表示される画面で削除した内容を追加してください。

12 [次へ] をクリックします。

設定の収集が開始されます。

13 設定の収集が終わったら、[完了] をクリックします。

IME のユーザー辞書をバックアップする

IME のユーザー辞書は、以下の手順でバックアップします。

1 IME ツールバーの （ツール）をクリックし、「辞書ツール」をクリックします。

「Microsoft IME 辞書ツール」画面が表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックし、「一覧の出力」をクリックします。

「一覧の出力：単語一覧」画面が表示されます。

3 保存場所を 177 ページの手順 6 で作成した「DVD-RAM ドライブ（X:)」の「IME」フォルダにして、ファイル名を付けます。

4 [開く] をクリックします。

5 [終了] をクリックして「一覧の出力」画面を閉じます。

6 画面右上の をクリックして「Microsoft IME 辞書ツール」画面を閉じます。

バックアップが終わったら

「ディスクを取り出す」(☞32 ページ)を参照し、CD/DVD ドライブから DVD-RAM を取り出してください。

ネットワークの設定を控える

パソコンのネットワーク設定は以下の手順でメモに控えます。

1. **[スタート]をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。**
2. **「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。**
3. **「ネットワーク接続」をクリックします。**
   「ネットワーク接続」画面が表示されます。
4. **「ローカルエリア接続」をクリックして選択し、「ネットワークタスク」欄の「この接続の設定を変更する」をクリックします。**
   「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。
5. **「この接続は次の項目を使用します」欄に表示されている内容をメモに控えます。**
6. **「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をダブルクリックします。**
   「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が表示されます。
7. **すべてのタブの設定内容をメモに控えます。**
8. **[詳細設定]をクリックします。**
   「TCP/IP 詳細設定」画面が表示されます。
9. **すべてのタブの設定内容をメモに控えます。**
10. **[キャンセル]をクリックして「TCP/IP 詳細設定」画面を閉じます。**
11. **[キャンセル]をクリックして「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面を閉じます。**

12 ［キャンセル］をクリックして「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を閉じます。

13 画面右上の ☒ をクリックして「ネットワーク接続」画面を閉じます。

「安心楽々引越しパック」を使用すると、次のデータや設定のバックアップをとることもできます。

- マイドキュメント
- お気に入り
- Cookies
- Microsoft IME ユーザー辞書
- ダイヤルアップの設定
- デスクトップ
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Office ユーザーテンプレート
- Microsoft Outlook

使い方についての詳細は、安心楽々引越パックのヘルプを参照してください。

データを復元する

ここでは、Windows の動作が不安定になるなどして、再インストールが必要になり、再インストール後、DVD-RAM にバックアップしておいたインターネットの設定やメールのデータ、および IME のユーザー辞書を復元する方法について説明します。

インターネットの設定やメールのデータを復元する

ここでは「ファイルと設定の転送ウィザード」を使ってバックアップした内容を復元します。

ご注意

ご購入時の状態に戻す（再インストール）をしないで、復元すると

- 「Outlook Express の電子メール」と「Outlook Express のメールアカウント」のデータは、現在のデータはそのまま残り、バックアップしているデータが追加されます。現在のデータとバックアップしているデータで同じデータがある場合、同じデータが複数存在することになります。
- 「Internet Explorer のお気に入り」と「Outlook Express のアドレス帳」のデータは、現在のデータはそのまま残り、バックアップしているデータの中で現在のデータにないものが追加されます。

1 CD/DVD ドライブに、バックアップをとった DVD-RAM を入れます。

2 ［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「ファイルと設定の転送ウィザード」をクリックします。

「ファイルと設定の転送ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

4 「転送先の新しいコンピュータ」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

5 「ウィザードディスクは必要ありません。既に、古いコンピュータからファイルと設定を収集しました」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。

6 「その他」をクリックして選択し、［参照］をクリックします。
「フォルダの参照」画面が表示されます。

7 「マイコンピュータ」をクリックします。

8 「DVD-RAM ドライブ（X:)」をクリックします。

9 「設定バックアップ」をクリックし、［OK］をクリックします。
「ファイルと設定の転送ウィザード」画面に戻ります。

10 ［次へ］をクリックします。
ファイルと設定の転送が始まります。

11 ［完了］をクリックします。
確認の画面が表示されます。

12 ［はい］をクリックします。
ログオフします。

IME のユーザー辞書を復元する

バックアップした IME のユーザー辞書は、以下の手順で復元できます。

1 **IME ツールバーの （ツール）をクリックし、「辞書ツール」をクリックします。**
「Microsoft IME 辞書ツール」画面が表示されます。

2 **メニューバーの「ツール」をクリックし、「テキストファイルからの登録」をクリックします。**
「テキストファイルからの登録」画面が表示されます。

3 **「DVD-RAM ドライブ（X:)」の「IME」フォルダを選択し、[開く］をクリックします。**

4 **バックアップしたファイルをクリックして選択し、[開く］をクリックします。**

5 **［終了］をクリックして「テキストファイルからの登録」画面を閉じます。**

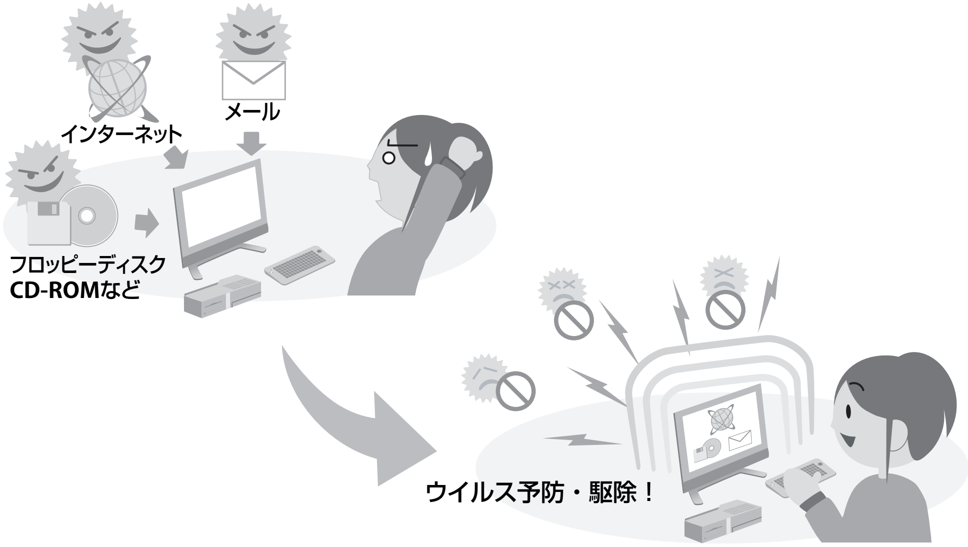
6 **画面右上の をクリックして「Microsoft IME 辞書ツール」画面を閉じます。**

データの復元が終わったら

「ディスクを取り出す」(☞32 ページ）を参照し、CD/DVD ドライブから DVD-RAM を取り出してください。

コンピュータウイルスを予防する・駆除する

コンピュータウイルスとは、意図的に作成された悪質なプログラムの一種です。お使いのパソコンがコンピュータウイルスに感染すると、ハードディスク内のデータが破壊されたり、外部からパソコンを操作されたり、コンピュータウイルスを添付したメールを勝手に送信するなど、さまざまな被害が生じます。こういったコンピュータウイルスに感染しないように日ごろから感染の予防をしましょう。また万一、感染した場合はすぐに駆除しましょう。



コンピュータウイルスの感染を防ぐには

- 最新のコンピュータウイルス用の予防・駆除ソフトウェアを活用する
  新種ウイルスに対応するために、最新のプログラム（ウイルス検索エンジンとウイルスパターンファイル）に更新してください。
- メールの添付ファイルは、開く前にウイルス検査をする／知らない人からのメールは不用意に開かない
  受信した電子メールに添付ファイルが付いている場合、開く前に必ずウイルス検査をしてください。また、知らない相手からのメールは不用意に開かないでください。
- 入手したファイルは、開く前にウイルス検査をする
  インターネットからダウンロードしたファイルや他から入手したファイルは、開く前に必ずウイルス検査をしてください。また、信頼できないサイトや入手先が不明なフロッピーディスクや CD、DVD などは、ウイルスに感染する危険性が高いので注意してください。
- アプリケーションソフトウェアのセキュリティ機能を活用する
  ・Word や Excel のファイルを扱うときは、マクロ機能の自動実行を無効にしてください。
  ・Outlook Express や Outlook のプレビューウィンドウを表示しないでください。

・Internet Explorer のセキュリティレベルを適切（「中」レベル以上）に設定してください。
設定方法などについては、各ソフトウェアのヘルプなどを参照してください。

- **Windows やアプリケーションソフトウェアのアップデートをする**
上記のような基本的なウイルス対策を行っていても、セキュリティホール（セキュリティ上の弱点）のあるソフトウェアを使用していると、ウイルスに感染してしまうことがあります。セキュリティホールは頻繁に発見されているので、インターネットに関連するソフトウェア（ブラウザやメールソフト）などの製造元のホームページを定期的にチェックして、必要な場合はセキュリティホールを修正するプログラムを使ってアップデートしてください。
Windows セキュリティセンターでは、Windows ファイアウォール、自動更新によりコンピュータウイルスやインターネットからアクセスしようとする侵入者などのセキュリティ上の脅威からパソコンを保護します。
Windows セキュリティセンターで、「ファイアウォール」と「自動更新」が有効になっているかを確認してください。

[スタート] ー「コントロールパネル」をクリックし、「セキュリティ センター」をクリック、またはダブルクリックすると Windows セキュリティセンター画面が表示されます。

ご注意

大切なデータはバックアップを取りましょう

- 万一ウイルスに感染してしまうと、データを修復できないことがあります。ウイルス感染被害からの復旧のため、大切なデータはバックアップを取りましょう。

万一コンピュータウイルスに感染してしまった場合

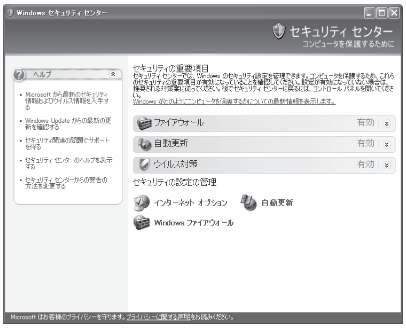
最新のコンピュータウイルス用の予防・駆除アプリケーションソフトなどを使って、駆除してください。IPA（情報処理推進機構）に報告をし、感染したと思われる日以降にデータやファイルなどを配付した送付先に報告してください。
最新のコンピュータウイルス用の予防・駆除アプリケーションソフトなどを使っていても駆除できなかった（被害があった）場合は、ハードディスク全体を再インストールしてください。詳しくは、「**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**」（☞221 ページ）を参照してください。

IPA へのコンピュータウイルスの報告

コンピュータウイルスに感染したり発見したときは、駆除した後で、IPA セキュリティセンターにコンピュータウイルスの報告をするようにします。これは強制ではありませんが、社会の安全性の維持や感染被害の拡大と再発防止に役立てるための基礎資料となり得るものなので積極的に協力しましょう。
◎ IPA セキュリティセンター
http://www.ipa.go.jp/security/

セキュリティ対策をしましょう

このパソコンに搭載されている Windows にはセキュリティ関係の設定機能があります。
コントロールパネルにある「セキュリティセンター」では、下記の 3 つの重要な項目についての設定状態の確認と変更をすることができます。
このパソコンを保護するために、3 つの項目が「有効」になっていることを確認してください。
「有効」になっていない場合は、画面の説明を読んで設定を変更してください。
「セキュリティセンター」画面を表示するには スタート をクリックして「コントロールパネル」をクリックし、「セキュリティセンター」をクリックします。



ファイアウォール

ファイアウォールは、承認されていない相手がインターネットまたはネットワーク経由でこのパソコンにアクセスすることを禁止する機能です。

自動更新

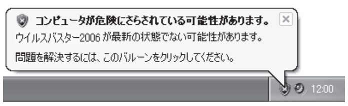
自動更新は、ウイルス対策などの重要な Windows の更新情報を定期的に確認して自動的にインストールする機能です。

ウイルス対策

ウイルス対策は、ウイルス対策ソフトがパソコンにインストールされているか、また、最新の状態に保たれているかを監視する機能です。

ご参考

- これら 3 つの設定が「有効」になっていないと、画面の右下に次のようなメッセージが表示されます。



ウイルス対策ソフトを更新する

このパソコンには、コンピュータウイルスを検査・駆除するソフトのウイルスバスター 2006 インターネットセキュリティ 90 日版がインストールされています。まず、ウイルスバスターの検索エンジンとウイルスパターンファイルを最新の状態にするために、アップデート機能を有効にしましょう。検索エンジンとウイルスパターンファイルは、アップデート機能有効後 90 日間無料でアップデートできます。
また、本 90 日版の使用期間が過ぎた後はすべての機能が使用不可となり、コンピュータウイルスの検査や駆除ができなくなります。本 90 日版の使用期間内に、有料のダウンロード販売などにて製品版を購入し、アップグレードしてください。

ウイルスバスターのアップデート機能を有効にする方法や、製品版へのアップグレード方法については、ウイルスバスターのご案内(別紙)を参照してください。

ウイルスバスターの詳しい使用方法については、ウイルスバスターのヘルプを参照してください。ヘルプを表示するには、[スタート]をクリックし、「すべてのプログラム」-「トレンドマイクロウイルスバスター 2006」-「オンラインヘルプ」をクリックします。



検索エンジンとウイルスパターンファイルのアップデートについて

- 最新の検索エンジンとウイルスパターンファイルはインターネット上にあります。アップデートする前に、インターネットに接続できるようにしておいてください。
- インターネット接続にともなう料金はお客様のご負担になります。
- すでに製品版ウイルスバスターを購入している方、ウイルスバスター月額版を使用している方は、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.trendmicro.com/jp/support/oem/vb25general/how-to-switch.htm

ご参考

- アップデート機能を有効にすると、インターネットに接続されていれば 3 時間おきにアップデートを確認し、最新の検索エンジン、ウイルスパターンファイルを自動的にアップデートします。これにより、ウイルスバスターが常にコンピュータウイルスの侵入を監視し、感染を予防することができます。
- アップデート機能を有効にした直後や、すぐにアップデートが必要かどうか確認したいときは、メイン画面の「アップデート開始」をクリックします。



ファイアウォールについて

このパソコンには、インターネットからの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐファイアウォール機能を持つソフト「Windows ファイアウォール」とウイルスバスター 2006 インターネット セキュリティ 90 日版の「パーソナルファイアウォール」が入っています。
ご購入時の状態では、「Windows ファイアウォール」が有効になっています。

次の事項にご注意ください。

- ファイアウォールのソフトを 2 つ以上同時に使うと干渉し合って、動作しないことがあります。
- ウイルスバスター 2006 インターネット セキュリティ 90 日版の「パーソナルファイアウォール」を有効にする場合は、「Windows ファイアウォール」を無効にしてください。
- ウイルスバスター 2006 インターネット セキュリティ 90 日版の「パーソナルファイアウォール」を有効にすると、一部のアプリケーションソフトにおいて、ファイアウォールにブロックされ通信ができないなど、正常に動作しないことがあります。

コンピュータウイルスに感染しているファイルが発見されたときは

ウイルスバスター 2006 インターネット セキュリティ 90日版使用期間中に、コンピュータウイルスに感染しているファイルが発見されたときは、ウイルスバスターは自動的にウイルスを駆除します。駆除できなかった場合は、メッセージが表示されますので、対処方法を選択して処理してください。詳しくは、ウイルスバスターのヘルプを参照してください。

パスワードを設定して使用できる人を制限する

パソコンの不正使用やデータの盗難を防止するために、パスワードを設定することができます。パスワードを設定しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

ここでは、セットアップユーティリティで設定するパスワードについて説明します。このパスワードを設定すると、パソコンの起動およびセットアップユーティリティの起動と変更を制限することができます。

ご参考

- セットアップユーティリティで設定するパスワードとは別に、Windows のユーザーアカウント毎にパスワードを設定することもできます。詳しくは、下記手順に従って**【パソコン電子マニュアル】**の内容を参照してください。
  ①**【パソコン電子マニュアル】**を起動（☞102 ページ）し、「**使い方を知りたい**」の中にある「**パソコンの設定**」をクリックします。
  ② 左側の列の「ユーザー」をクリックします。
  ③ 中央の列の「1 台のパソコンを何人かで使い分けたい」をクリックします。
  右側の列に説明が表示されます。

パスワードを登録する

ご注意

- 必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンを起動できなくなります。
- パソコンの修理を依頼されるときは、パスワードを削除しておいてください。

Caps Lock（キャップスロック）は解除しておくことをお勧めします

- パスワードの英字の大文字小文字は、別の文字として認識されます。パスワードを登録する前に、メモ帳（付属ソフト）などで文字を入力して Caps Lock（☞ 21 ページ）が有効になっていないか確認しておいてください。パスワード登録画面では入力した文字が「***」で表示されるため大文字が入力されているのか、小文字が入力されているのか確認できません。

1 **パソコンの電源が切れていることを確認します。**

2 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **→ キーで「Security」メニューを選択します。**

「Security」メニュー画面が表示されます。

4 **[⏎] キーを押します。**

パスワード入力画面が表示されます。

5 **パスワードを入力し、[⏎] キーを押します。**

パスワードは、10 文字までの半角英数字で設定してください。

```
Enter New Password
```

6 **確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[⏎] キーを押します。**

```
Confirm New Password
```

パスワードが登録され、「Boot Password」欄に「Installed」と表示されます。

7 **[→] キーで「Exit」メニューを選択します。**

「Exit」メニュー画面が表示されます。

8 **「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、[⏎] キーを押します。**

9 **「Exit Saving Changes?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、[⏎] キーを押します。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面でパスワードを入力すると、Windows が起動します。

パスワードを登録したパソコンを起動する

パスワードを登録したパソコンを起動するには、表示されるパスワード入力画面（下記）にパスワードを入力し、[⏎] キーを押します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

```
Enter Current Password:
```

パスワードの入力を 3 回まちがえると、「Password check failed」と表示され、パソコンを起動できなくなります。このときは、パソコンの［電源］を押して電源を切り、その後 10 秒以上たってから、電源を入れ直してください。

パスワードを変更する

1 **パソコンの電源が切れていることを確認します。**

2 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。**

「Enter Current Password」と表示されます。

3 **登録しているパスワードを入力し、↵ キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

4 **→ キーで「Security」メニューを選択します。**

「Security」メニュー画面が表示されます。

5 **↵ キーを押します。**

パスワード入力画面が表示されます。

6 **現在のパスワードを入力し、↵ キーを押します。**

```
Enter Old Password
```

7 **新しいパスワードを入力し、↵ キーを押します。**

パスワードは、10 文字までの半角英数字で設定してください。

```
Enter New Password
```

8 **確認のためもう一度同じパスワードを入力し、↵ キーを押します。**

```
Confirm New Password
```

新しいパスワードが登録され、「Boot Password」欄に「Installed」と表示されます。

9 **→ キーで「Exit」メニューを選択します。**

「Exit」メニュー画面が表示されます。

10 **「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**

11 **「Exit Saving Changes?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面でパスワードを入力すると、Windows が起動します。

パスワードを削除する

1 **パソコンの電源が切れていることを確認します。**

2 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。**

「Enter Current Password」と表示されます。

3 **登録しているパスワードを入力し、⏎ キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

4 **→ キーで「Security」メニューを選択します。**

「Security」メニュー画面が表示されます。

5 **⏎ キーを押します。**

パスワード入力画面が表示されます。

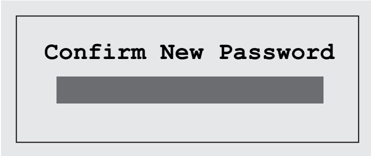
6 **現在のパスワードを入力し、⏎ キーを押します。**

```
Enter Old Password
```

7 **何も入力せずに ⏎ キーを押します。**

```
Enter New Password
```

8 **確認のためもう一度何も入力せずに [↵] キーを押します。**



パスワードが削除され、「Boot Password」欄に「Not Installed」と表示されます。

9 **[→] キーで「Exit」メニューを選択します。**

「Exit」メニュー画面が表示されます。

10 **「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、[↵] キーを押します。**

11 **「Exit Saving Changes?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、[↵] キーを押します。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windowsが起動します。

データ実行防止（DEP）機能について

このパソコンは、データ実行防止対応の CPU を搭載しています。これにより Windows のデータ実行防止（DEP）機能が強化され、メモリーのデータ領域を悪用した不正プログラムの実行を阻止し、パソコンをウイルス感染の被害から保護することができます。

データ実行防止（DEP）機能とは

アプリケーションソフトが使用しているメモリーのデータ領域を実行不可能領域にすることができる機能です。メモリーのデータ領域に悪意のあるコードを挿入して、それを実行しようとするウイルスやワームを動作させなくすることができます。このパソコンの CPU は、データ実行防止に対応しているので、より広い範囲でウイルスやワームから保護することができます。

ご参考

- DEP の設定およびセキュリティセンターの設定を変更するには、「コンピュータの管理者」のアカウントでログオンする必要があります。
- このパソコンがネットワークに接続されている場合は、設定を変更できない場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

DEP の設定を変更する

ご購入時は、Windows のプログラムやサービスについてのみ DEP が有効になっています。すべてのプログラムにおいて DEP を有効に設定するには、次の手順にしたがってください。

1 ［スタート］をクリックし、「マイコンピュータ」をクリックします。

「マイコンピュータ」画面が表示されます。

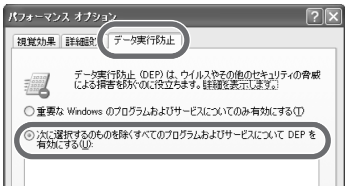
2 「システムのタスク」欄の「システム情報を表示する」をクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 「詳細設定」タブをクリックし、「パフォーマンス」欄の［設定］をクリックします。

「パフォーマンスオプション」画面が表示されます。

4 **「データ実行防止」タブをクリックし、「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする」をクリックして選択します。**



5 **［OK］をクリックします。**

確認画面が表示されます。

6 **［OK］をクリックします。**

7 **「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。**

8 **画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

9 **パソコンを再起動します。**

DEP によりプログラムを実行できないときは

このパソコンでは DEP が常に有効に働いているため、プログラムを実行しようとするときに以下のメッセージが表示されることがあります。



上記の画面が表示されたときは、［メッセージを閉じる］をクリックして画面を閉じ、以下の手順にしたがって、**このパソコンおよび実行できなかったプログラムが安全かどうか確認してください。**

1 **セキュリティセンターで「ファイアウォール」、「自動更新」、「ウイルス対策」がすべて「有効」になっているか確認します。**

有効になっていない場合は、すべて有効に設定してください。
セキュリティセンターについては、「コンピュータウイルスを予防する・駆除する」（☞185 ページ）を参照してください。

万一に備えて

2 ウイルスチェックを実行します。

ウイルスが検出された場合：
ご使用のウイルス対策ソフトの削除手順にしたがってください。
ウイルスが検出されなかった場合：
ウイルスが検出されず、セキュリティセンターの設定もすべて有効に設定されている場合は、プログラムの開発元にお問い合わせいただき、プログラムの更新が可能かどうか確認してください。

特定のプログラムだけ DEP を無効にする

DEP により実行できなかったプログラムが安全であることが確認され、そのプログラムの更新バージョンを開発元より入手できない場合は、そのプログラムに対して DEP を無効に設定することができます。ただし、セキュリティが脆弱になる可能性がありますので、更新プログラム入手後は、DEP を有効にすることをお勧めします。

1 「DEP の設定を変更する」（☞196 ページ）の手順 1 ～ 4 までの作業をします。

2 「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする」の一覧で、DEP を無効にしたいプログラムをクリックしてチェックマークを付けます。

一覧にプログラム名が表示されていないときは、［追加］をクリックして無効にしたいプログラムのファイルを選択します。

3 ［OK］をクリックします。

再起動の確認画面が表示されたときは、［OK］をクリックします。

4 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

5 画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。

6 手順 3 でパソコンの再起動のメッセージが表示されたときは、パソコンを再起動します。

パソコンの廃棄・譲渡時にデータを消去する

パソコンを廃棄や譲渡するときは、お客さまの重要なデータが流出するトラブルを防ぐために次の手順にしたがってハードディスクの全データを消去してください。

ハードディスクのデータは、データの削除やハードディスクの初期化を行なっただけでは市販のデータ回復ソフトで復元される場合があります。パソコンを廃棄や譲渡するときは、重要なデータが復元され流出しないようにハードディスクの全データを消去してください。（☞ 接続と準備編 の「**パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意**」）

ハードディスクのデータを消去する

ご注意

- 大切なデータは、データの消去を行う前に、書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
- この操作を行っても、完全にデータを復元できなくなるわけではありません。

ご参考

- パソコンを譲渡するときは、消去後も再インストール用のデータは消去されませんので、データ消去後にパソコンをご購入時の状態に戻して譲渡できます。
- 消去後に再インストールを行なう場合は、「**ハードディスク全体をハードディスクから再インストールする**」（☞ 230 ページ）を参照し、ハードディスク全体を再インストールしてください。
- 市販のパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変更すると、データの消去ができないことがあります。その場合は、「**リカバリ CD/DVD を利用してハードディスクのデータを消去する**」（☞ 202 ページ）を参照し、ハードディスクのデータを消去してください。

1 **パソコンの電源が切れていることを確認します。**

2 **パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。**

① メモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出します。
② IEEE1394 コネクターに接続している機器を取り外します。
③ USB コネクターに接続している機器を取り外します。
パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

ご注意

- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したままデータ消去を実行すると、メモリーカードなどのデータが消去される場合があります。

3 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。**

4 **→ キーで「Exit」メニューを選択します。**

「Exit」メニュー画面が表示されます。

5 **↓ キーで「Load Optimal Defaults」を選択し、⏎ キーを押します。**

6 **「Load Optimal Defaults?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**

7 **↑ キーで「Exit Saving Changes」を選択し、⏎ キーを押します。**

8 **「Exit Saving Changes ?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**

パソコンが起動します。

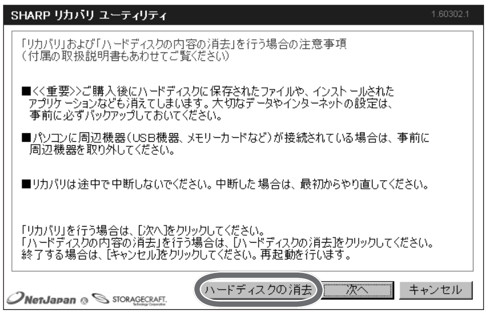
9 **パソコンが起動し、画面の左上に「Press F10 to Recover」と表示されたらすぐに、F10 キーを押します。**

表示されている時間は約 2 秒です。
「SHARP リカバリユーティリティ」画面が表示されます。

「Press F10 to Recover」が表示されない場合は

- 「リカバリ CD/DVD を利用してハードディスクのデータを消去する」（☞ 202 ページ）を参照し、ハードディスクのデータを消去してください。

10 **［ハードディスクの消去］をクリックします。**



11

- **PC-AX50M の場合は [↓] キーで「次へ」を選択し、[⏎] キーを押します。**
- **PC-AX100M の場合は [↓] [↑] キーで「ハードディスク 1 を消去します」または「ハードディスク 2 を消去します」を選択し、[⏎] キーを押します。**

12

[↓] [↑] キーで消去のレベルを選択し、[⏎] キーを押します。

消去のレベルが高いほど処理時間は長くなりますが、より確実に消去され、復元されにくくなります。

13

[↓] キーで「消去します」を選択し、[⏎] キーを押します。

14

「ERASE」と入力し、[⏎] キーを押します。

15

[↓] キーで「はい（消去を開始します)」を選択し、[⏎] キーを押します。

ハードディスクの消去が始まります。

> **ご注意**
>
> - 消去中は、パソコンの［電源］を押して電源を切らないでください。故障の原因になります。

ご参考

- 消去を中断するには [Esc] キーを押します。
- 消去中、ハードディスクの読み書きができなくなった部分がある場合は、不良セクタとして画面に表示されます。不良セクタ部分は消去されません。
- 不良セクタがある場合、通常の処理時間より時間がかかります。

16

「消去処理は正常に終了しました。」と表示されたら、パソコンの［電源］を 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切ります。

17

もうひとつのハードディスクも消去する場合（PC-AX100M のみ）

① 約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左上に「Press F10 to Recover」と表示されたらすぐに、[F10] キーを押します。
② 手順 **10** に戻り、以降の手順を繰り返します。

引き続き再インストールを実行する場合

① 約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左上に「Press F10 to Recover」と表示されたらすぐに、[F10] キーを押します。
② 231 ページの手順 **2** ～ **7** を参照してハードディスク全体をハードディスクから再インストールします。

再インストールしない場合

これで作業は終了です。

リカバリ CD/DVD を利用してハードディスクのデータを消去する

リカバリ CD/DVD を利用してハードディスクのデータを消去することもできます。この操作を行うにはリカバリ CD/DVD を作成しておく必要があります。
(「**リカバリ CD/DVD を作成する**」☞ 233 ページ)

ご注意

- リカバリ CD/DVD からハードディスクのデータを消去すると、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも消去されますので、ハードディスクからの再インストールやハードディスクのデータ消去はできなくなります。

ご参考

- 消去後にリカバリ CD/DVD を利用して再インストールを行う場合は、「**ハードディスク全体をリカバリ CD/DVD から再インストールする**」(☞ 243 ページ) を参照し、ハードディスク全体を再インストールしてください。

1 パソコンの電源が切れていることを確認します。

2 パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

① メモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出します。
② IEEE1394 コネクターに接続している機器を取り外します。
③ USB コネクターに接続している機器を取り外します。
パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

ご注意

- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したままデータ消去を実行すると、メモリーカードなどのデータが消去される場合があります。

3 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。

4 「リカバリディスク 1」を CD/DVD ドライブにセットします。

5 → キーで「Exit」メニューを選択します。

「Exit」メニュー画面が表示されます。

6 ↓ キーで「Load Optimal Defaults」を選択し、Enter キーを押します。

7 **「Load Optimal Defaults?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、[⏎]キーを押します。**

8 **[↑] キーで、「Exit Saving Changes」を選択し、[⏎]キーを押します。**

9 **「Exit Saving Changes ?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、[⏎]キーを押します。**
パソコンが起動します。

10 **パソコンが起動し、「SHARP リカバリユーティリティ」画面が表示されたら、［ハードディスクの消去］をクリックします。**

11
- **PC-AX50M の場合は [↓] キーで「次へ」を選択し、[⏎]キーを押します。**
- **PC-AX100M の場合は [↓][↑] キーで「ハードディスク 1 を消去します」または「ハードディスク 2 を消去します」を選択し、[⏎]キーを押します。**

12 **[↓][↑] キーで消去のレベルを選択し、[⏎]キーを押します。**
消去のレベルが高いほど処理時間は長くなりますが、より確実に消去され、復元されにくくなります。

13 **[↓] キーで「消去します」を選択し、[⏎]キーを押します。**

14 **「ERASE」と入力し、[⏎]キーを押します。**

15 **[↓] キーで「はい（消去を開始します）」を選択し、[⏎]キーを押します。**
ハードディスクの消去が始まります。

ご注意
- 消去中は、パソコンの［電源］を押して電源を切らないでください。故障の原因になります。

ご参考
- 消去を中断するには [Esc] キーを押します。
- 消去中、ハードディスクの読み書きができなくなった部分がある場合は、不良セクタとして画面に表示されます。不良セクタ部分は消去されません。
- 不良セクタがある場合、通常の処理時間より時間がかかります。

16 **「消去処理は正常に終了しました。」と表示されたら、パソコンの［電源］を 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切ります。**

17 **もうひとつのハードディスクも消去する場合**（PC-AX100M のみ）

① 約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れます。
② 手順 **10** に戻り、以降の手順を繰り返します。

引き続き再インストールを実行する場合

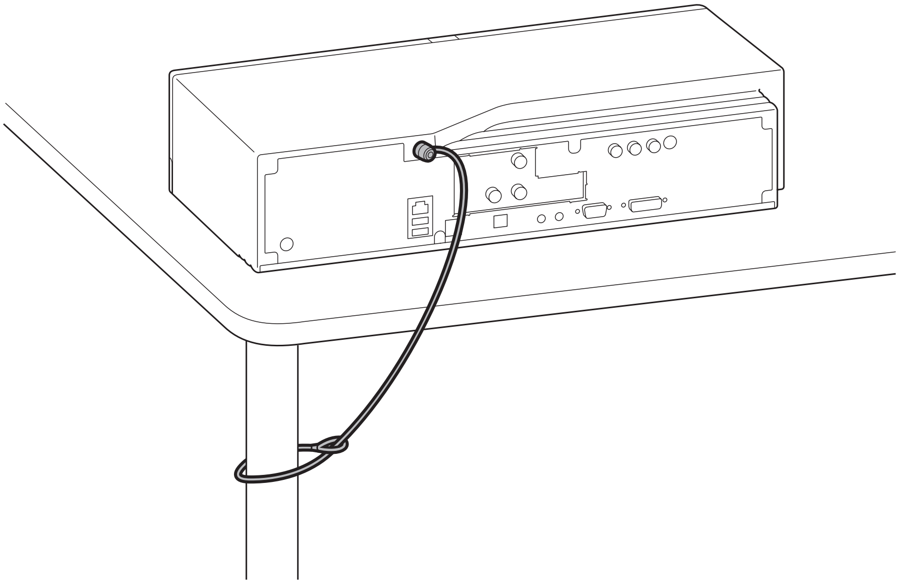
① 約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れます。
② 243 ページの手順 **2** ～ **6** を参照してハードディスク全体をリカバリ CD/DVD から再インストールします。

再インストールしない場合

① 約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、【F2】キーを押します。
セットアップユーティリティの画面が表示されます。
② ［▲取出し］を押して、リカバリ CD/DVD を CD/DVD ドライブから取り出します。
③ パソコンの［電源］を押して、電源を切ります。

盗難を防止する

市販の盗難防止ロックを盗難防止ホール（🔒）につなぐと、パソコンを持ち運べないように固定することができます。



MEMO

困ったときは

故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows やアプリケーションソフト、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容および下記の説明書やヘルプを参照して問題の解決方法がないか、もう一度よくお確かめください。

- ［スタート］をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ
- お使いの周辺機器の説明書
- 【パソコン電子マニュアル】（☞102 ページ）の「トラブル解決」
- インターネット AQUOS のホームページ（☞ サポートのご案内 ）

テレビに関するトラブルについては、テレビに付属の【かんたん！！ガイド】や【取扱説明書】を参照してください。

それでも問題が解決しないときは

一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと（再インストール）をお勧めします。詳しくは、「ご購入時の状態に戻す（再インストール）」（☞221 ページ）を参照してください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

? Windows が起動しない

- AC アダプターと電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- 電源ランプが赤点滅しているときは、いったん電源を切って PC 映像ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
(☞ 接続と準備編 の「設置・接続」－「接続のしかた」－「テレビとパソコンを接続する」)

? 「MISSING OPERATING SYSTEM」、「Error loading operating system」または「No bootable device」と表示される

- 再インストールを中断または失敗したとき、およびハードディスクのデータを消去したときは、このメッセージが表示されます。その場合は、ハードディスク全体を再インストールし直してください。
電源を入れたあと、画面の左上に「Press F10 to Recover」と表示されるときは、ハードディスクから再インストールすることができます。「Press F10 to Recover」が表示されないときは、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが削除されていますので、リカバリ CD/DVD から再インストールしてください。
再インストール手順については、「**ハードディスク全体をハードディスクから再インストールする**」（☞230 ページ）または「**ハードディスク全体をリカバリ CD/DVD から再インストールする**」（☞243 ページ）を参照してください。

? フロッピーディスクから起動できない

- フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。
- フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用かどうか確認してください。
- 「**セットアップユーティリティ**」(☞248 ページ)の Advanced メニューで「USB Legacy」が「Enabled」になっているか、および Boot メニューで「USB-XXXXXXXXXXX」が一番上になっているか確認してください。
「XXXXXX」の箇所には、接続されているフロッピーディスクドライブ固有の文字列が表示されます。

表示に関するトラブル

? 画面が表示されない

- PC 映像ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
（☞ 接続と準備編 の「設置・接続」－「接続のしかた」－「テレビとパソコンを接続する」）
- 電源ランプが赤点滅しているときは、いったん電源を切って PC 映像ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- スタンバイから復帰したときに画面が表示されないときは、テレビの電源ランプを確認してください。テレビの電源ランプが赤色に点灯している場合は、テレビの電源が切れていますので、リモコンの テレビ電源 を押してテレビの電源を入れてください。
- テレビの電源が入っているか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- テレビの入力切換が正しく選ばれているか確認してください。
- パソコンの画面解像度やディスプレイの画面描画速度（リフレッシュレート）などがテレビの仕様に合っているか確認してください。
- 上記すべての操作をしてもだめなときは、「**キーボードやトラックボールからの入力操作を受け付けない**」（☞ 次ページ）の操作をしてください。

? 画面が自動的に消える

- 一定時間パソコンを操作しないでいると、省電力機能が働いてスタンバイに移行し、画面が消えます。リモコンの PC電源 または、キーボードやパソコンの［電源］を押すと、スタンバイから復帰し画面が表示されます。
- テレビの省エネ機能を設定していないか確認してください。
（☞「LD-32SP1」の取扱説明書 153 ページと 170 ページ、または「LD-37SP1」の取扱説明書 155 ページと 176 ページ）

? パソコンの起動／終了時に画面が乱れることがある

- パソコンの起動または終了時に、画面が一瞬乱れたり、画面の一部が欠けて表示されることがありますが、故障ではありません。

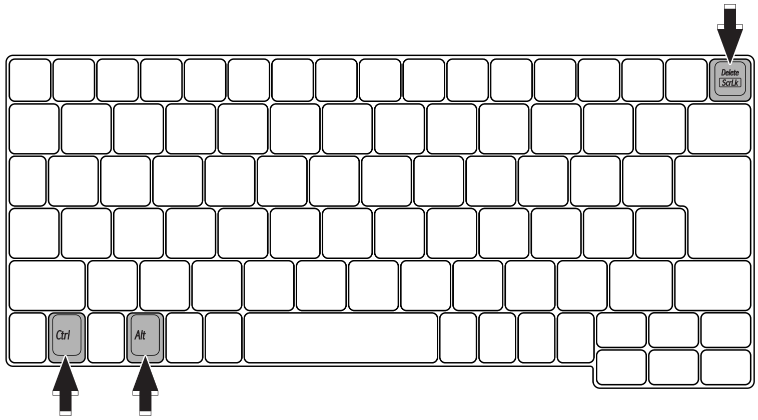
困ったときは

キーボード・トラックボールに関するトラブル

? キーボードやトラックボールからの入力操作を受け付けない

- キーボードがパソコンと離れすぎていることがありますので、近づいて操作してみてください。
- キーボードの乾電池の向きを確認してください。（☞ 接続と準備編 の「**設置・接続**」－「**キーボードの準備**」－「**乾電池を入れる**」）
- キーボードの乾電池が消耗していないか確認してください。
- パソコンが起動したとき／スタンバイまたは休止状態から復帰したときは、しばらくの間（10 ～ 20 秒）キーボードやトラックボール、リモコンの操作が効かないことがあります。
- 以下の手順に従って操作してください。

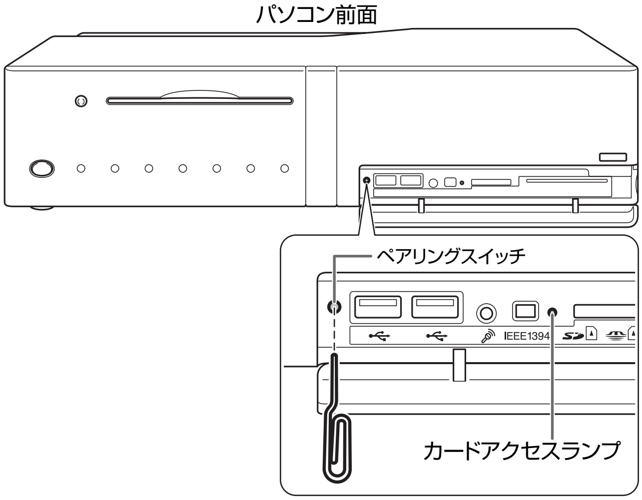
① **Ctrl** ＋ **Alt** ＋ **Delete** キーを押し、「応答なし」と表示されているタスクを選択したあと、［タスクの終了］をクリックしてください。



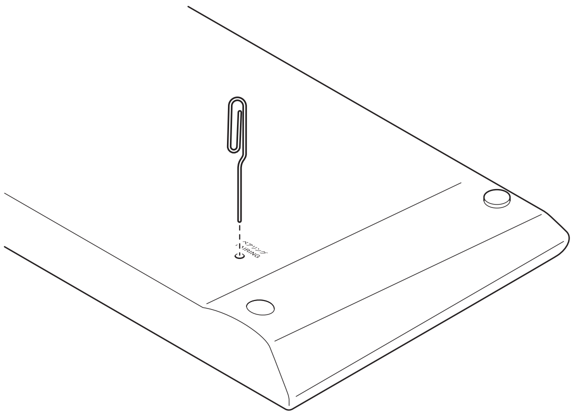
② 上記の操作をしてもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、パソコンの［電源］を 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。電源ランプが消えたことを確認し、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。

③ 上記の操作をしてもだめなときは、AC アダプターを取り外して電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて AC アダプターを取り付け、電源を入れてください。

- 以下の手順に従って、ペアリング調整をしてください。
  ペアリング調整とは、パソコンとキーボードを同調させる調整のことです。
  通常は必要ありませんが、キーボードが突然反応しなくなったときなどに必要です。
  ① 電源が入っている状態で、パソコン前面のペアリングスイッチを先の細いもの（クリップを伸ばしたようなもの）で押します。



  カードアクセスランプがゆっくりと赤色（メモリーカードにアクセス中はオレンジ色）で点滅します。
  ② キーボードをパソコンの前面に置き、キーボード裏側のペアリングスイッチを先の細いもので押します。



  カードアクセスランプの点滅が早くなり、点滅が終わったらペアリング調整は完了です。

ご注意

- キーボード裏側のペアリングスイッチは続けて 2 回押さないでください。ペアリング調整が正しく行われなくなります。
  2 回押してしまったときは、カードアクセスランプの点滅が終わった後に上記の①からやり直してください。

困ったときは

- トラックボールにほこりや糸くずなどが付着すると、トラックボールの動きが鈍くなります。「**お手入れのしかた**」（☞256ページ）を参照して、トラックボールのお手入れをしてください。

? 日本語の入力ができない

- 半角/全角・漢字 キーを押して、日本語入力システムがオンになっているか確認してください。
- ご使用のアプリケーションソフトによっては、半角/全角・漢字 キーを押しても日本語入力システムがオンにならない場合があります。この場合は、次の手順に従って操作してください。
  ① IMEツールバーを右クリックし、「設定」をクリックします。
  ②「詳細設定」タブをクリックします。
  ③「詳細なテキスト サービスのサポートをプログラムのすべてに拡張する」をクリックして、チェックマークを外します。
  ④［OK］をクリックします。
  ⑤「今すぐコンピュータを再起動しますか？」と表示されたら［いいえ］をクリックします。
  「テキスト　サービスと入力言語」画面が閉じます。
  ⑥ 画面右下にあるタスクバーの（予測変換アイコン）を右クリックし、「予測変換機能の設定」をクリックします。
  ⑦「ログオン時に常駐する」をクリックしてチェックマークを外し、［閉じる］をクリックします。
  ⑧ パソコンを再起動します。

  ただし、この場合、予測変換機能は使えません。使いたいときは、以下の手順で設定を元に戻してください。
  ①［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP予測変換ユーティリティ」－「予測変換機能の設定」をクリックします。
  ②「ログオン時に常駐する」をクリックしてチェックマークを付け、［閉じる］をクリックします。
  ③ 前項①～④と同様の操作をして、「詳細なテキスト サービスのサポートをプログラムのすべてに拡張する」にチェックマークを付けてください。
  ④「今すぐコンピュータを再起動しますか？」と表示されたら［はい］をクリックして、パソコンを再起動します。

リモコンに関するトラブル

? リモコンで操作できない

- リモコンの乾電池の向きを確認してください。（☞ 接続と準備編の「設置・接続」－「リモコンの準備」－「乾電池を入れる」）
- リモコンの乾電池が消耗していないか確認してください。
- リモコンをテレビまたはパソコンの受光部に向けて操作してください。また、受光部と離れすぎていることもありますので、近づいて操作してみてください。（☞ 接続と準備編の「設置・接続」－「リモコンの準備」－「リモコンで操作できる範囲」）
- パソコンのリモコンには、テレビを操作するテレビモードとパソコンを操作するパソコンモードがあります。（テレビ）または（PC）を押して操作したいモードに切り替えてください。
- リモコンのボタンを押して画面やメニューが表示されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。故障ではありませんので、しばらく待って操作してください。
- 他のソフトウェアのメッセージが表示された場合などに、それまでリモコンで操作していた画面が操作対象から外れてリモコン操作ができなくなることがあります。このとき、全画面表示されていたときは、画面下部にタスクバーが表示されることもあります。
ライブラリのメニュー画面を操作していたときは、リモコンの（ライブラリ）を押してから操作し直してください。その他のソフトを操作していたときは、そのソフトの画面上で（左ボタン）を押してから操作し直してください。

CD・DVD に関するトラブル

? ディスクが取り出せない

- パソコンの電源が入っているか確認してください。スタンバイや休止状態、電源が切れている状態のときは、ディスクを取り出すことはできません。

? CD-R、CD-RW にデータを保存できない／ CD-RW のデータを消去できない

- Windows の CD 書き込み機能を使って、データを書き込み／消去するときは、CD 書き込み機能を有効にしてください。詳しくは、「Windows の CD 書き込み機能の無効／有効を切り替える」（☞ 172 ページ）を参照してください。

DVD-RAM にデータを保存できない

- DVD-RAM にデータを保存するときは、Windows の CD 書き込み機能を無効にしてください。詳しくは、「**Windows の CD 書き込み機能の無効／有効を切り替える**」(☞172 ページ) を参照してください。

DVD-R への書き込みに時間がかかる

- ディスクを閉じて DVD-R に 1GB 以下のデータを書き込む場合、DVD の規格に準拠するために 1GB になるまでダミーデータを書き込みます。このため、書き込むデータ容量が少ない場合でも、書き込み完了までに時間がかかることがあります。

再生できない

- ディスクがセットされていることを確認してください。
- ディスクの向きが正しいか確認してください。
- 再生しようとしているディスクが、このパソコンの CD/DVD ドライブで使用可能か確認してください。
- ディスク上のファイルが、このパソコンにインストールされているアプリケーションソフトで再生できるファイル形式か確認してください。再生するために専用のソフトウェアのインストールが必要な場合があります。

特定の箇所が正常に再生しない。操作してもうまく動かない

- ディスクが汚れていないか確認してください。汚れているときは柔らかい布などで拭いてください。

音声言語、字幕言語、アングルなどが変えられない

- 再生中のディスクに複数の音声言語、字幕言語、アングルなどが記録されているか確認してください。ディスクのジャケットなどで確認できます。

WinDVD のワイドスクリーンモードで再生すると、字幕が表示されない

- 字幕が映像下部の黒い帯の部分に表示される DVD ソフトの場合、ワイドスクリーンモードで再生すると、字幕が画面の外に隠れてしまうことがあります。この場合は、WinDVD の表示モードをノーマルモードにするか、WinDVD の「ディスプレイ」サブパネル内で「縦横比を固定する」をオフにしてお楽しみください。

フロッピーディスクに関するトラブル

? 2DD（720KB）および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクが使えない

2DD および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクには、次の制限があります。

- 2DD および 2HD-1.2MB タイプのディスクでは起動できません。
- 2DD および 2HD-1.2MB タイプのフロッピーディスクにはフォーマットできません。
- DISKCOPY などのコマンドは実行できません。
- データを保存するときや 2HD-1.44MB のディスクを使用するコンピュータとデータをやりとりするときは使わないでください。
- 特殊なフォーマットタイプ（2HD-1.21MB タイプなど）のディスクに対しては読み書きできません。

インターネット／通信に関するトラブル

? インターネットに接続できない

- パソコンとブロードバンドルーターが正しく接続されているか確認してください。（☞ 接続と準備編 の「設置・接続」－「接続のしかた」－「LAN ケーブルを接続する」）
- インターネット接続が正しく設定されているか確認してください。

? 電話線をつないだのにインターネットに接続できない

- このパソコン（PC-AX100M のみ）には、電話回線端子がありますが、これはデジタル放送の有料放送の受信情報を管理したり、双方向番組に参加したりするためのものです。
  メールやインターネットに接続するためには使用できませんので、ご注意ください。

? 内蔵 LAN でハブに接続してもうまく使えない

- ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。

① ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」画面が表示されます。
②「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
③「コンピュータの基本的な情報を表示する」をクリックします。

④「ハードウェア」タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックします。
⑤「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「Realtek RTL8168/8111 PCI-E Gigabit Ethernet NIC」をダブルクリックします。
⑥「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Link Speed/Duplex Mode」を選択します。
⑦「値」を使用する環境に合った値に変更します。
⑧［OK］をクリックして「デバイスマネージャ」画面に戻ります。
⑨画面右上の ☒ をクリックして「デバイスマネージャ」画面を閉じます。
⑩画面右上の ☒ をクリックして「システムのプロパティ」画面を閉じます。
⑪画面右上の ☒ をクリックして「パフォーマンスとメンテナンス」画面を閉じます。

ライブラリに関するトラブル

? 対応一覧表に載っているファイル形式なのに、映像・画像・音楽ファイルが再生・表示できない

- ファイル形式は対応していても、再生・表示できないファイルが一部あります。
- ファイルが壊れている可能性があります。
- 映像・音楽ファイルで音が聞こえないときは、PC音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（☞ 接続と準備編 の「設置・接続」－「接続のしかた」－「テレビとパソコンを接続する」）

? フォルダやファイルが一覧画面に表示されない

- 再生・表示したいファイルが入っているフォルダを「公開フォルダ」として登録してください。（☞ 139 ページ）
- AV Library Server（サーバー機能）が起動しているか、無効になっていないか確認してください。

? ネットワークでライブラリを使おうとしたが、うまくいかない

- LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ネットワークに接続している別のパソコンの電源が入っているか確認してください（スタンバイまたは休止状態では働きません）。また、AV Library Server（サーバー機能）が起動しているか、無効になっていないか確認してください。
- 市販のアプリケーションソフトのファイアウォール機能によって、接続ができなくなっている可能性があります。ファイアウォールを一時的に無効にして操作してみてください。

? AV Library で正しくコンテンツを再生できない

- 別のパソコンに保存している映像や音楽を、市販のワイヤレス LAN アダプターを利用してこのパソコンで再生すると、コンテンツによってはコマ落ちや音飛びが発生することがあります。この場合は、LAN ケーブルでネットワーク（LAN）に接続してください。

その他のトラブル

? 音が小さい

- リモコンの［音量］の＋を押し、音量の調節をしてください。
  同じテレビ番組でも、パソコンのテレビソフトを使って見るときと、テレビで見るときとは、音の大きさが異なることがあります。テレビとパソコンのそれぞれの画面で適度な音量に調節してください。
- DVD ビデオを再生しているときは、WinDVD の音量設定が最大になっているか確認してください。（「**DVD ビデオを見よう**」☞113 ページ）
  また、DVD ビデオによっては、録音レベルが低く音声が聞こえにくいものがあります。
- 音楽 CD を再生しているときは、Windows Media Player の音量設定が最大になっているか確認してください。（「**音楽 CD を聴こう**」☞108 ページ）
- 次の手順に従って、「マスタ音量」画面で「マスタ音量」および「WAVE」が最大になっているか確認してください。
  ① 画面右下にあるタスクバーの 🔊 をダブルクリックします。
  「マスタ音量」画面が表示されます。
  ②「マスタ音量」および「WAVE」が最大になっているか確認してください。
  ③ 画面右上の ☒ をクリックします。

? 音が聞こえない

- PC 音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（☞ 接続と準備編 の「設置・接続」－「接続のしかた」－「テレビとパソコンを接続する」）
- 画面に ☒ が表示されていないか確認してください。☒ が表示されているときは、リモコンの 消音 を押してください。
- タスクバーの 🔊 が 🔇 になっていないか確認してください。🔇 になっている場合は、🔇 をクリックし、「ミュート」をクリックしてチェックマークを外してください。
- リモコンの 消音 を押して 30 分経過すると、画面の ☒ は消え、音量が 0 になります。その場合はリモコンで音量を上げてください。
- ヘッドホンを接続していないか確認してください。

? 画面右下にあるタスクバーに「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。（ウイルス対策ソフトウェア）が最新でない可能性があります」というメッセージが表示された

- このパソコンにはウイルス対策ソフトとして、ウイルスバスター 2006 インターネット セキュリティ 90 日版が搭載されています。ウイルスの侵入を自動的に監視して感染を予防しますが、パソコンを新しいウイルスから保護するには常に最新の検索エンジンとウイルスパターンファイルにアップデートする必要があります。「**コンピュータウイルスを予防する･駆除する**」(☞185 ページ）を参照し、ウイルスパターンファイルをアップデートしてください。

? 画面右下にあるタスクバーに「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。自動更新が無効になっています」というメッセージが表示された

- 自動更新を「有効」に設定することで、メッセージは表示されなくなります。
  ① ［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
  「コントロールパネル」画面が表示されます。
  ②「セキュリティセンター」をクリックします。
  ③「自動更新」欄の［自動更新を有効にする］をクリックします。
  自動更新が「有効」になります。
  ④ 画面右上の ☒ をクリックして画面を順に閉じます。

パソコンの電源が切れない

- パソコンの［電源］を 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。電源ランプが消えたことを確認し、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。
- 上記の操作をしてもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、AC アダプターを取り外して電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて AC アダプターを取り付け、電源を入れてください。

パソコンがスタンバイにならない

- テレビ番組の録画予約をしているときは、録画開始約 10 分前から録画終了までは、スタンバイにできません。
また、ログオフすることもできません。
- PC-AX100M では、デジタル放送波と共に送られてくる番組表データ等の番組情報を自動的に受信しますが、受信中（タスクトレイに表示されている StationTV Digital のアイコンが の状態のとき）は自動的にはスタンバイに移行しません。通常は 10 分ほどで受信を完了しますが、チャンネル編成が変わったときなど受信する情報が多い場合は、最大 2 時間程度かかることがあります。

スタンバイから勝手に復帰する

- 録画予約した番組が始まるとスタンバイから復帰します。
- StationTV G2 では、電子番組表（EPG）の最新データを取得するため 1 日 1 回スタンバイから自動的に復帰します。
- 携帯電話で録画予約をするための「遠隔予約機能」をオンに設定すると、録画予約されていないか、定期的に自動で確認します。データ取得中はスタンバイから復帰します。
- おすすめ番組自動録画機能を使用すると自動でスタンバイから復帰して録画を行います。

デスクトップにある SHARP ユーザー登録はこちらから や パソコン電子マニュアル を消したい

- SHARP ユーザー登録はこちらから や パソコン電子マニュアル を右クリックして､「削除」をクリックします。削除すると再びデスクトップに表示させることはできません。

表示されていたソフトの画面が消えた

- リモコンの HDD/DVDレコーダー ○ インターネット ○ ライブラリ ○ を押してメニュー画面を表示させたときには、それまで表示されていたソフトの画面が自動的に閉じられることがあります。

ご購入時の状態に戻す（再インストール）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。

ご注意

- 再インストールすると、ハードディスク内のCドライブの内容は消去されてしまいます。再インストールの種類によってはDドライブ、Eドライブ（PC-AX100Mのみ）のテレビ録画データなども消去されます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。
- このパソコンは、ハードディスク内に再インストールに必要なデータが入っています。再インストール用のデータを変更したり、削除したりしないでください。再インストールができなくなります。
- 市販のハードディスクパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変えたりしないでください。再インストール用のデータが消えて、ハードディスクからの再インストールができなくなります。
- 市販のデータリカバリソフトをインストールしている場合、再インストールする前に、必ず削除（アンインストール）してください。データリカバリソフトの中には、MBR（マスターブートレコード:ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています）を書き換えるソフトウェアがあります。そのため、データリカバリソフトがインストールされている状態では、再インストールができなかったり、リカバリCD/DVDが作成できなかったりします。また、再インストール時にDドライブやEドライブのデータが消えたりします。

ご参考

- 「**故障かな？と思ったら**」（☞208ページ）および【**パソコン電子マニュアル**】（☞102ページ）の「**トラブル解決**」に問題が起こったときの解決方法が書かれています。再インストールをする前に、あてはまる項目がないか調べてみてください。

再インストールが途中で中断したときは

- 下記の手順に従って、最初から再インストールをやり直してください。
  ①［戻る］をクリックして再インストールの最初の画面まで戻ります。
  ②［キャンセル］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックします。
  ③ パソコンが再起動しますので、最初から再インストールをやり直してください。

再インストール後はウイルス対策ソフトの更新をしてください

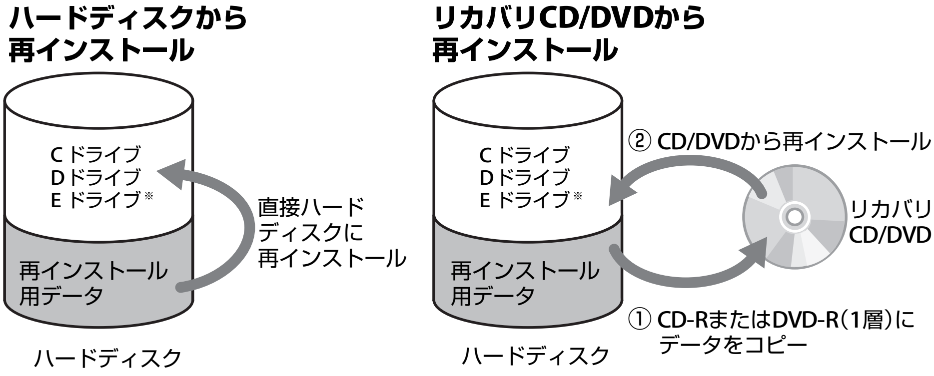
- 再インストール完了後のパソコンのシステムは、ご購入時の状態に戻っています。コンピュータウイルス用の予防・駆除ソフトウェアの検索エンジンとウイルスパターンファイルをアップデートしてください。詳しくは「**コンピュータウイルスを予防する・駆除する**」（☞185ページ）を参照してください。

パソコンの廃棄・譲渡時はデータを消去してください

- 再インストールを行い、ハードディスク内のデータを初期化しても市販のデータ回復ソフトを利用すればデータを復元できる場合があります。このパソコンを廃棄や譲渡するときは、重要なデータが流出するといったトラブルを回避するため、「**パソコンの廃棄・譲渡時にデータを消去する**」（☞199ページ）を参照してハードディスクの全データを消去してください。

再インストールの種類

再インストールには、以下の 2 つの方法があります。



※ EドライブはPC-AX100Mのみ

ハードディスクから再インストールする

あらかじめハードディスクに保存されている再インストール用のデータを使って直接ハードディスクに再インストールする方法です。
この方法では、リカバリ CD/DVD を使って再インストールするよりも短時間で再インストールを完了することができます。
ハードディスクから再インストールするには、「**ハードディスクから再インストールする**」（☞225 ページ）に進んでください。

> **ご注意**
> - 万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりしてしまうと、ハードディスクから再インストールすることができなくなります。万一に備えて、リカバリ CD/DVD を作成しておくことをおすすめします。
> リカバリ CD/DVD を作成する方法は「**リカバリ CD/DVD を作成する**」（☞ 233 ページ）を参照してください。

リカバリ CD/DVD から再インストールする

ハードディスクに保存されている再インストール用のデータを、いったん CD-R または DVD-R（1 層）にコピーし、CD または DVD からハードディスクに再インストールする方法です。
お客様ご自身で CD-R または DVD-R（1 層）をご用意いただき、リカバリ CD または DVD（以下総称してリカバリ CD/DVD と表記します。）の作成作業をしていただく必要がありますが、万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりした場合でも、リカバリ CD/DVD から再インストールすることができます。
リカバリ CD/DVD を使って再インストールするには、「**リカバリ CD/DVD から再インストールする**」（☞233 ページ）に進んでください。

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

再インストールをするときには、Shadowprotect Restore を使用します。再インストールの前に、次の「SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書」と「MBRINST 使用許諾書」をよくお読みください。

STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATION
SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書

注意：本ソフトウェアを使用し、出荷時のイメージを復元すると、復元先のハードディスク上のデータは削除され、出荷時のイメージが上書きされます。復元前に、データをバックアップすることをお勧めします。

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。StorageCraft Technology Corporation (以下、「ライセンサー」) は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人 (以下、「ライセンシー」) に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

１. 使用許諾

本ソフトウェアと付随するドキュメント（“本ソフトウェア”と総称します）はライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：

A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピューターメーカーが作成し、コンピュータに添付した出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の１台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：

A. 付随するドキュメントをコピーすること
B. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
C. 本使用許諾書で許可された以外の使用

２. 技術サポート

ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピューターメーカーにおこなってください。

３. 保証

本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

４. 免責

ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

５. 一般条項

本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
StorageCraft Technology Corporation,
180 West Election Road, Suite 230, Draper, Utah 84020, U.S.A.
www.shadowstor.com、FAX:801-382-1824、
もしくは、STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATION の日本総代理店である㈱ネットジャパンにご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒 101-0035 東京都千代田区神田紺屋町８番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

株式会社 ネットジャパン
MBRINST 使用許諾書

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。株式会社 ネットジャパン (以下、「ライセンサー」) は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人 (以下、「ライセンシー」) に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

１. 使用許諾

本ソフトウェアはライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：

A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピュータメーカーのコンピュータに添付され出荷されます。本ソフトウェアは、出荷時のハードディスクイメージの復旧機能の一部を構成し、出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の１台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：

A. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
B. 本使用許諾書で許可された以外の使用

２. 技術サポート

ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピュータメーカーにおこなってください。

３. 保証

本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

４. 免責

ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

５. 一般条項

本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒 101-0035 東京都千代田区神田紺屋町８番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

ハードディスクから再インストールする

ここでは、あらかじめハードディスクに保存されている再インストール用のデータを使って再インストールする方法を説明します。

再インストールの手順を確認する

ハードディスクから再インストールするときは、以下の手順でします。

Step1 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

⇩

Step2 ハードディスクから再インストール用のデータを再インストールする

⇩

Step3 Windows をセットアップする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルやテレビ録画データ、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータやインターネットなどの設定は、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。（「大切なデータをバックアップする」☞176 ページ）

必要なものを準備する

説明書

- 接続と準備編

C ドライブのみをハードディスクから再インストールする

ここでは D ドライブ、E ドライブの内容はそのままにして、C ドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を説明します。
この操作では、D ドライブ、E ドライブはフォーマットされません。
※ PC-AX50M の場合は E ドライブはありません。

ご注意

- 大切なデータは、再インストールをする前に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

ご参考

- C ドライブのみをハードディスクから再インストールする場合、D ドライブや E ドライブに保存されている録画データなどはそのまま残ります。
- C ドライブのみを再インストールした後、再インストール前に録画したアナログ放送の番組を再生するには、D ドライブまたは E ドライブに保存されている録画データを録画リストに再登録する必要があります。（「**アナログ放送の録画データを録画リストに再登録する**」☞ 245 ページ）
- ハードディスク全体をご購入時の状態に復元することもできます。「**ハードディスク全体をハードディスクから再インストールする**」（☞ 230 ページ）を参照してください。

Step1　セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

1　パソコンの電源が切れていることを確認します。

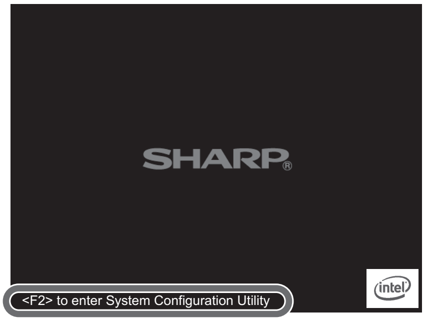
2　パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

①メモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出します。
② IEEE1394 コネクターに接続している機器を取り外します。
③ USB コネクターに接続している機器を取り外します。
　パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

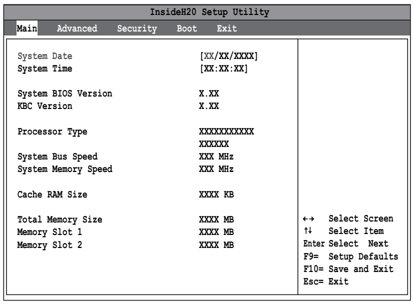
ご注意

- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したまま再インストールを実行すると、メモリーカード内のデータが消去されたり、再インストールが正常に終了されない場合があります。

3 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。



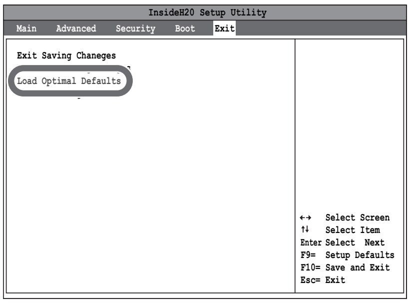
セットアップユーティリティの画面が表示されます。



4 設定を初期値に変更します。

① → キーで「Exit」メニューを選択します。
「Exit」メニュー画面が表示されます。

② ↓ キーで「Load Optimal Defaults」を選び、⏎ キーを押します。



③「Load Optimal Defaults?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［Yes］が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。

困ったときは

5 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

①［↑］キーで「Exit Saving Changes」を選択し、［⏎］キーを押します。
②「Exit Saving Changes?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、［Yes］が選択されていることを確認し、［⏎］キーを押します。
パソコンが起動します。

6 パソコンが起動し、画面の左上に「Press F10 to Recover」と表示されたらすぐに、［F10］キーを押します。

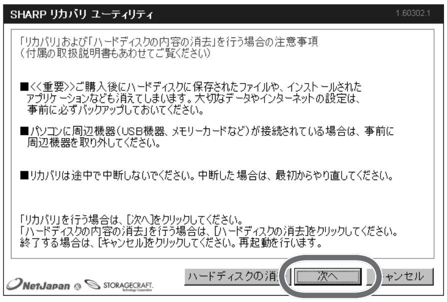
表示されている時間は約 2 秒です。



7 次の「Step2　ハードディスクから再インストール用のデータを再インストールする」に進みます。

Step2　ハードディスクから再インストール用のデータを再インストールする

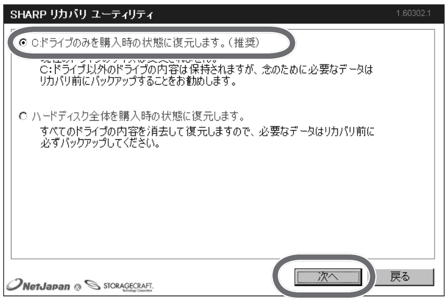
1 次の画面が表示されたら、内容をよく読んで［次へ］をクリックします。



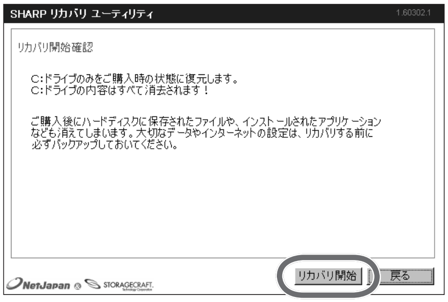
［キャンセル］を選択したときは

- ［キャンセル］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックしたときは、パソコンが再起動します。

2 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

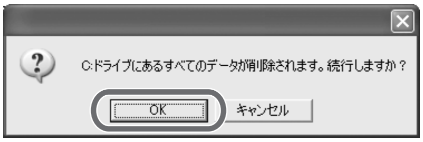


3 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、［リカバリ開始］をクリックします。



確認画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックします。



C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブ、E ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、「**ハードディスク全体をハードディスクから再インストールする**」（☞230 ページ）の手順に従って再インストールし直してください。

ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、確認画面が表示されます。

5 **［OK］をクリックします。**

パソコンが再起動します。

6 **次の「Step3　Windows をセットアップする」に進みます。**

Step3　Windows をセットアップする

パソコンが再起動して、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されます。



1 **接続と準備編 の下記の項目を参照して、パソコンの設定をします。**

> **接続と準備編**
> **「パソコンの設定」－「Windows のセットアップ」**
> **「パソコンの設定」－「パソコンのチャンネル設定をする」**

これで再インストールは完了です。

ハードディスク全体をハードディスクから再インストールする

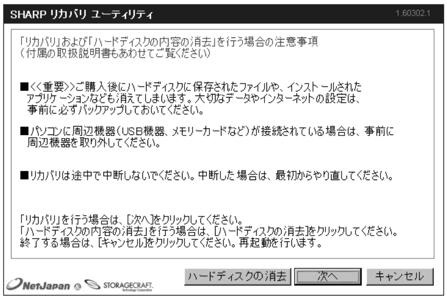
ハードディスク全体をフォーマットして、ご購入時の状態に復元します。
※ PC-AX50M の場合は E ドライブはありません。

> **ご注意**
> • この操作では、C ドライブだけでなく D ドライブ、E ドライブにバックアップしているデータやテレビ録画データもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。（「**大切なデータをバックアップする**」☞176 ページ）

困ったときは

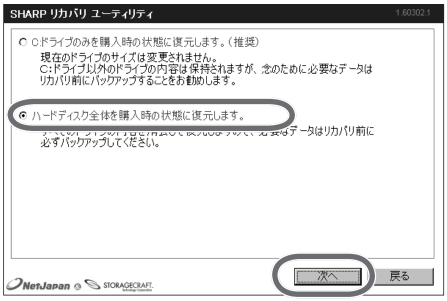
1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す」（☞226 ページ）の手順 1 〜 6 の作業をします。**

作業が終了し、パソコンが起動した後、次の画面が表示されます。

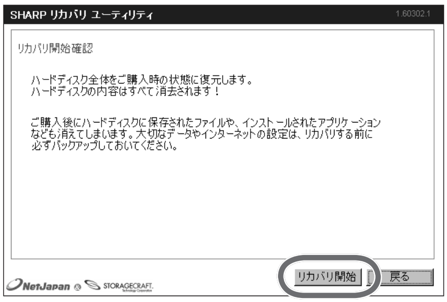


2 **内容をよく読んで［次へ］をクリックします。**

3 **「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

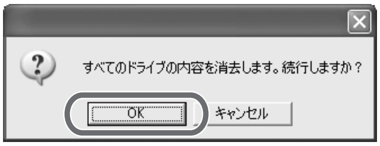


4 **「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、［リカバリ開始］をクリックします。**



確認画面が表示されます。

5 ［OK］をクリックします。



ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

> **ご注意**
>
> - フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
> 再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順 **1** から再インストールし直してください。

ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、確認画面が表示されます。

6 ［OK］をクリックします。

パソコンが再起動します。

7 「Step3　Windows をセットアップする」（☞230 ページ）に進みます。

リカバリ CD/DVD から再インストールする

このパソコンにはリカバリ CD/DVD が付属していません。
リカバリ CD/DVD から再インストールする前にまず、再インストール用のデータを CD-R または DVD-R（1 層）にコピーしてリカバリ CD/DVD を作成する必要があります。ここでは、リカバリ CD/DVD の作成方法と、そのリカバリ CD/DVD を使って再インストールする方法を説明します。
すでにリカバリ CD/DVD を作成している場合は、作成したリカバリ CD/DVD をご用意いただき、「**再インストールの手順を確認する**」（☞225 ページ）に進んでください。

リカバリ CD/DVD を作成する

リカバリ CD/DVD を作成するときの準備

リカバリ CD/DVD を作成する前に、次の準備をしてください。

- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

必要なものを準備する

リカバリ CD/DVD を作成する前に、次のものを準備してください。

- リカバリ DVD を作成する場合、動作確認済みの新しい DVD-R（1 層）（2 枚）
- リカバリ CD を作成する場合、650MB または 700MB の動作確認済みの新しい CD-R（8 枚）
- ペン先が硬くない油性ペンなど

ご注意

- リカバリ CD/DVD は一度しか作成できません。

ご参考

- 動作確認済みの CD-R または DVD-R（1 層）については、「**CD・DVD を使う**」（☞27 ページ）を参照してください。
- リカバリ CD/DVD の作成を途中で中止しても、最初からやり直してリカバリ CD/DVD を作成することができます。
- リカバリ CD/DVD を作成した後も、ハードディスクから再インストールすることができます。

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

リカバリCD/DVDを作成するときには、Bootable CD Creatorを使用します。リカバリCD/DVDを作成する前に、下記の「Bootable CD Creatorソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

Bootable CD Creator ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアに含まれるプログラム（Bootable CD Creator）、データおよびマニュアル（以下総称して「本製品」という）は、Enterprise Corporation International（以下「ＥＣＩ」という）が権利を所有しており、下記の条項が遵守されることを条件に、お客様に対し非譲渡および非独占の、本製品の使用に関する権利を許諾します。本製品は、米国著作権法および国際著作権条約、無体財産権に関するその他の法律により保護されています。お客様には、この旨をご理解していただき、さらに下記の各条項の全てにご同意の上、ご使用していただきます。

使用目的：

本製品は、シャープ（株）が製造するコンピュータに添付され出荷されています。本製品は、本製品が添付されているコンピュータのハードディスクにプリインストールされているリカバリー用イメージファイルを、Bootable CDとして作成、保存するためにのみ使用するものとします。本製品は、本製品が添付されたコンピュータでのみ使用することができます。

次の条項を禁止します：

1. 本製品の全部または一部をインストール以外の方法で別の媒体に複製すること。
2. 本製品を２台以上のコンピュータにインストールし、本製品を使用可能とすること。
3. 本製品および複製の全部または一部を改変したり、第三者に譲渡、販売頒布（パソコン通信のネットワークを通じて通信により提供することを含む）すること。
4. 本製品に表示されている著作権その外権利者の表示を削除したり変更を加えること。
5. 本製品および複製の全部または一部をリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルすること。
6. 本製品および複製の全部または一部を判読可能な状態にすること。
7. 本製品および複製の全部または一部を本製品以外のプログラムから読み出して利用すること。
8. ネットワークを利用して複数ユーザーが使用すること。

本契約はお客様が本製品のパッケージを開封したときより効力を生じ、お客様が本製品およびその複製物すべてを使用不可能な状態で破棄されることにより終了します。またお客様が本契約の条項のいずれかに違反した場合は、ＥＣＩは本製品の使用を終了させることができます。

制限付き保証：

ＥＣＩは、本製品が付属するＥＣＩの資料に従ってほぼ動作することを保証します。ＥＣＩおよびシャープ（株）は他のすべての明示的、暗黙的な、いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

責任の制限：

ＥＣＩおよびシャープ（株）は、本製品の使用または使用不可能な状態、その使用に起因する特別な、偶発的な、あるいは結果的な損害に責任を負いません。これには、業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の喪失、その他の金銭上の損失を含みますが、それらに限りません。これはＥＣＩが当該損失の可能性の通知を受けている場合でもその限りではありません。いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

Bootable CD Creator でリカバリ CD/DVD を作成する

1　新しい CD-R または DVD-R（1 層）を CD/DVD ドライブにセットします。

何か画面が表示されたときは、画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じてください。

2　［スタート］をクリックし、「すべてのプログラム」－「プロダクトリカバリ CD_DVD 作成」をクリックします。

Bootable CD Creator が起動します。

3　［リカバリディスクの作成］をクリックします。



4　確認画面で［OK］をクリックします。

書き込みが始まります。

> **ご注意**
>
> - ディスクへの書き込み中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。

5　画面に表示される指示に従って、新しいディスクと入れ替えます。

書き込みが完了したディスクから、ペン先が硬くない油性ペンなどで「リカバリディスク 1」、「リカバリディスク 2」、……と順にディスク番号を書いてください。

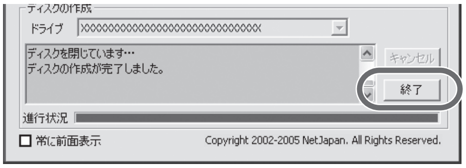
ご参考

- 新しいディスクをセットしたあと、何か画面が表示されたときは、画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じてください。

6　「ディスクの作成が完了しました」と表示されたら［OK］をクリックし、CD/DVD ドライブからディスクを取り出します。

取り出したディスクに、続きのディスク番号を書いてください。

7 ［終了］をクリックします。



ご注意

- 作成したリカバリ CD/DVD は、失わないよう大切に保管しておいてください。

8 確認画面で［はい］をクリックして、「Bootable CD Creator」画面を閉じます。

再インストールの手順を確認する

リカバリ CD/DVD から再インストールするときは、以下の手順でします。

リカバリ CD/DVD を用意する

⇩

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2 リカバリ CD/DVD の内容を再インストールする

⇩

Step3 Windows をセットアップする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルやテレビ録画データ、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータやインターネットなどの設定は、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。（「**大切なデータをバックアップする**」☞176 ページ）

必要なものを準備する

説明書

- 接続と準備編

リカバリ CD/DVD

- 作成したリカバリ DVD（2 枚）またはリカバリ CD（8 枚）

C ドライブのみをリカバリ CD/DVD から再インストールする

ここでは D ドライブ、E ドライブの内容はそのままにして、C ドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を説明します。
この操作では、D ドライブ、E ドライブはフォーマットされません。
※ PC-AX50M の場合は E ドライブはありません。

ご注意

- 大切なデータは、再インストールをする前に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

ご参考

- C ドライブのみをリカバリ CD/DVD から再インストールする場合、D ドライブや E ドライブに保存されている録画データなどはそのまま残ります。
- C ドライブのみを再インストールした後、再インストール前に録画したアナログ放送の番組を再生するには、D ドライブまたは E ドライブに保存されている録画データを録画リストに再登録する必要があります。（「**アナログ放送の録画データを録画リストに再登録する**」☞ 245 ページ）
- ハードディスク全体をご購入時の状態に復元することもできます。「**ハードディスク全体をリカバリ CD/DVD から再インストールする**」（☞243 ページ）を参照してください。

Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する

1 パソコンの電源が切れていることを確認します。

2 パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

①メモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出します。
② IEEE1394 コネクターに接続している機器を取り外します。
③ USB コネクターに接続している機器を取り外します。
パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

ご注意

- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したまま再インストールを実行すると、メモリーカード内のデータが消去されたり、再インストールが正常に終了されない場合があります。

3 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。

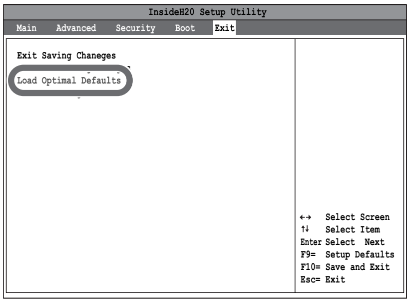


セットアップユーティリティの画面が表示されます。

4 「リカバリディスク 1」を CD/DVD ドライブにセットします。

5 設定を初期値に変更します。

① [→] キーで「Exit」メニューを選択します。
「Exit」メニュー画面が表示されます。
② [↓] キーで「Load Optimal Defaults」を選び、[Enter] キーを押します。



③「Load Optimal Defaults?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、［Yes］が選択されていることを確認し、[Enter] キーを押します。

6 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

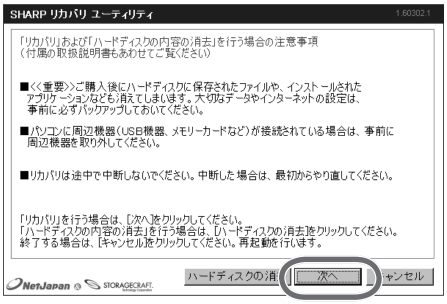
① [↑] キーで 「Exit Saving Changes」を選択し、[Enter] キーを押します。
②「Exit Saving Changes?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、［Yes］が選択されていることを確認し、[Enter] キーを押します。
パソコンが起動します。

7 次の「Step2 リカバリ CD/DVD の内容を再インストールする」に進みます。

困ったときは

Step2　リカバリ CD/DVD の内容を再インストールする

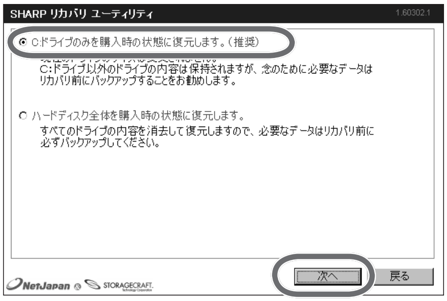
1　パソコンが起動した後、次の画面が表示されたら、内容をよく読んで［次へ］をクリックします。



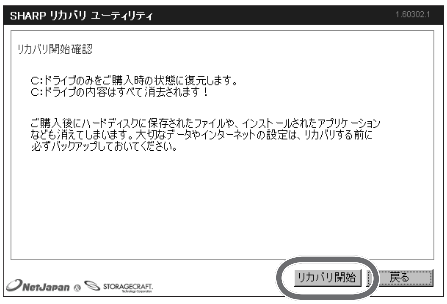
［キャンセル］を選択したときは

- ［キャンセル］をクリックし、確認画面が表示されたら［OK］をクリックすると、ディスクが自動的に出てきてパソコンが再起動します。

2　「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

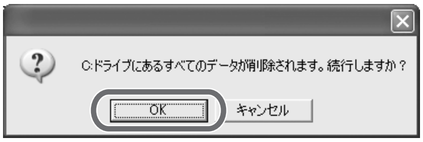


3　「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、［リカバリ開始］をクリックします。



確認画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックします。



C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

> **ご注意**
>
> - フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
>   再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブ、E ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、「**ハードディスク全体をリカバリ CD/DVD から再インストールする**」（☞243 ページ）の手順に従って再インストールし直してください。

5 途中、以下のようなディスクを入れ替えるメッセージが表示されますので、ディスクを入れ替え、⏎ キーを押します。



ディスクの番号を表します。

ハードディスクのリカバリ処理が終了すると、確認画面が表示され、リカバリディスクが出てきます。

6 リカバリディスクを取り出し、［OK］をクリックします。

パソコンが再起動します。

7 次の「Step3 Windows をセットアップする」に進みます。

Step3　Windows をセットアップする

パソコンが再起動して、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されます。



1 **接続と準備編 の下記の項目を参照して、パソコンの設定をします。**

> 接続と準備編
> 「パソコンの設定」－「**Windows** のセットアップ」
> 「パソコンの設定」－「パソコンのチャンネル設定をする」

これで再インストールは完了です。

ハードディスク全体をリカバリ CD/DVD から再インストールする

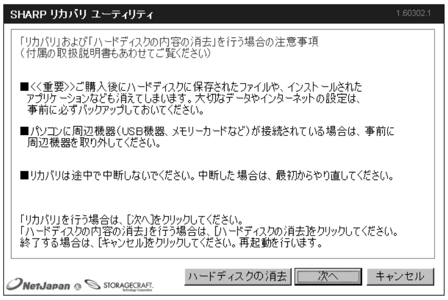
ハードディスク全体をフォーマットして、ご購入時の状態に復元します。
※ PC-AX50M の場合は E ドライブはありません。

ご注意

- この操作では、C ドライブだけでなく D ドライブ、E ドライブにバックアップしているデータやテレビ録画データもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。（「大切なデータをバックアップする」☞176ページ）
- ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。ハードディスクからの再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

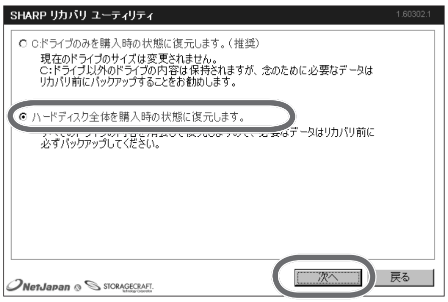
1 **「Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する」（☞238 ページ）の手順 1 ～ 6 の作業をします。**

作業が終了し、パソコンが起動した後、次の画面が表示されます。

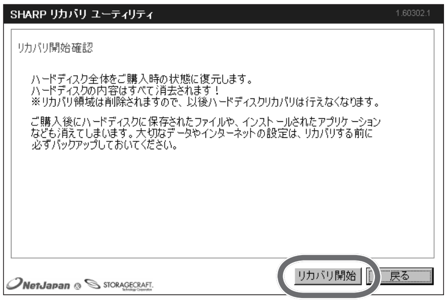


2 **内容をよく読んで［次へ］をクリックします。**

3 **「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します」をクリックして選択し、［次へ］をクリックします。**

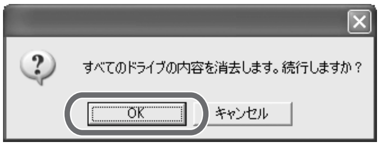


4 「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、［リカバリ開始］をクリックします。



確認画面が表示されます。

5 ［OK］をクリックします。



ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順 **1** から再インストールし直してください。

6 「Step2　リカバリ CD/DVD の内容を再インストールする」の手順 5（☞241 ページ）に進みます。

困ったときは

アナログ放送の録画データを録画リストに再登録する

C ドライブのみを再インストールした後、再インストール前に録画したアナログ放送の番組を再生するには、録画リストに録画データを再登録する必要があります。Windows のセットアップとパソコンのチャンネル設定をした後、次の手順に従って録画リストに録画データを再登録してください。

ご参考

- ハードディスク全体を再インストールしたときは、パソコンに保存されているデータがすべて削除されてしまうので、DVD 等にデータを残していない限り再インストール前のアナログ放送を再生することはできません。

1 リモコンの HDD/DVDレコーダー を押します。

「HDD/DVD レコーダー」メニューが表示されます。

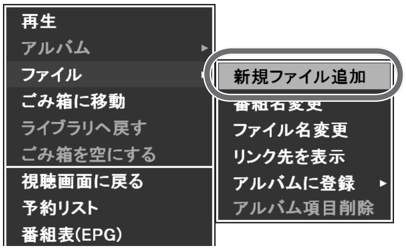
2 (3) を押します。

StationTV G2（付属ソフト）が起動し、「録画リスト」画面が表示されます。

3 メニュー を押します。

メニューが表示されます。

4 ▲ ▼ と 決定 を使い、「ファイル」－「新規ファイル追加」を順に選びます。



「ファイルを開く」画面が表示されます。

5 次の手順に従って録画リストに録画データを再登録します。

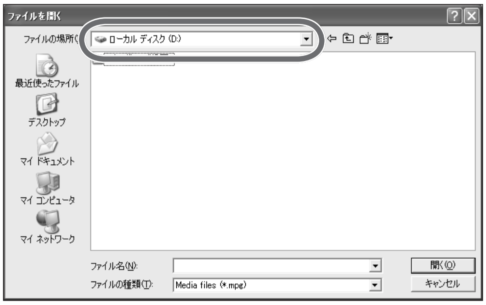
アナログ放送の録画データは、それぞれ下記のフォルダに保存されています。

PC-AX100M： E ドライブの「アナログテレビ録画 1」フォルダ
D ドライブの「アナログテレビ録画 2」フォルダ
PC-AX50M： D ドライブの「アナログテレビ録画 1」フォルダ

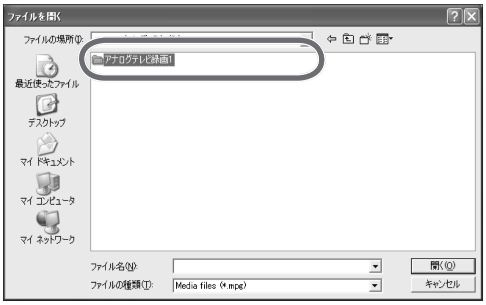
困ったときは

ここでは、PC-AX50M の場合を例に説明します。

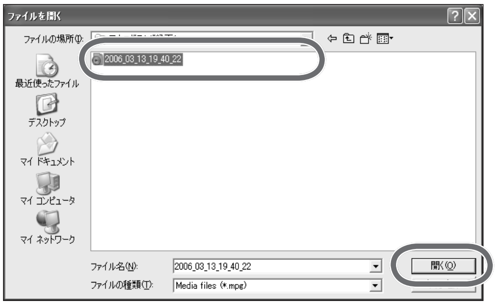
①「ファイルの場所」欄の ▼ をクリックし、「ローカルディスク D」をクリックします。



②「アナログテレビ録画 1」をダブルクリックします。



③再登録するデータをクリックして選択し、［開く］をクリックします。



複数データが表示されているときは、どれかひとつをクリックして選択し、**Ctrl** キーを押しながら **A** キーを押すと、データがすべて選択されます。

6 録画データの再登録が完了したら、リモコンの 終了 ○ を押します。

ご参考

- 再登録された番組はチャンネル番号や番組名、詳細情報などが表示されません。

付録

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定（接続した周辺機器の有効／無効、パスワードの設定など）を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。
セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Boot メニュー
- Exit メニュー

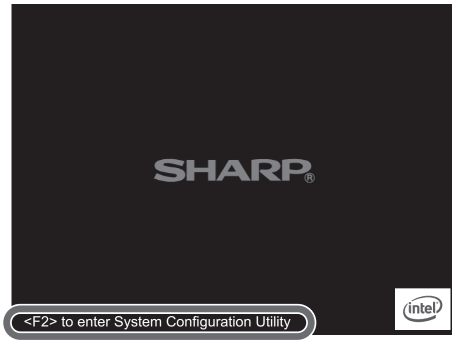
ご参考

- 誤って変更してしまったときは、「**すべての設定を初期値に戻す**」（☞ 255 ページ）の操作をしてください。

設定内容を変更する

1 **パソコンの電源が切れていることを確認します。**

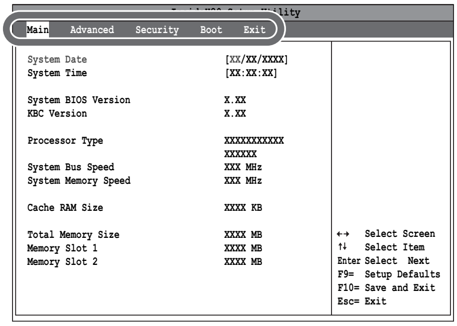
2 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility」と表示されたらすぐに F2 キーを押します。**



セットアップユーティリティの画面が表示されます。

付録

3 ← → キーで設定したいメニューを選びます。



選んだメニューの設定項目が表示されます。

4 ↓ ↑ キーを押して項目を選び、各項目を設定します。

各項目での設定方法については、次ページ以降の説明を参照してください。

5 → キーで「Exit」メニューを選択します。

「Exit」メニュー画面が表示されます。

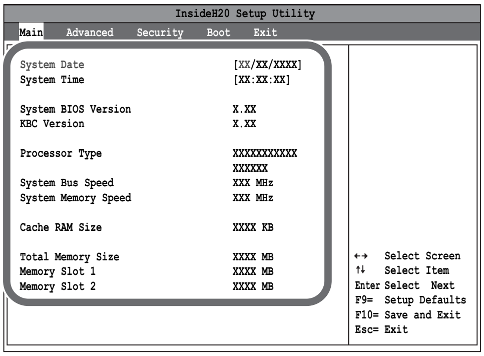
6 「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。

7 「Exit Saving Changes ?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。

パソコンが起動します。

Main メニュー

日付と時刻の設定やシステムの基本情報を表示します。



System Date
日付を設定します。（月／日／年の順）
[Enter] キーでカーソルを移動し、[Shift]+[↑] キーまたは [Shift]+[↓] キーで数値を設定します。

System Time
時刻を設定します。（24 時間制で、時／分／秒の順）
[Enter] キーでカーソルを移動し、[Shift]+[↑] キーまたは [Shift]+[↓] キーで数値を設定します。

System BIOS Version
セットアップユーティリティ（BIOS）のバージョンが表示されます。

KBC Version
KBC のバージョンが表示されます。

Processor Type
搭載されている CPU の情報が表示されます。

System Bus Speed
搭載されているシステムバスの速度が表示されます。

System Memory Speed
搭載されているメモリーバスの速度が表示されます。

Cache RAM Size
搭載されているキャッシュメモリーの容量が表示されます。

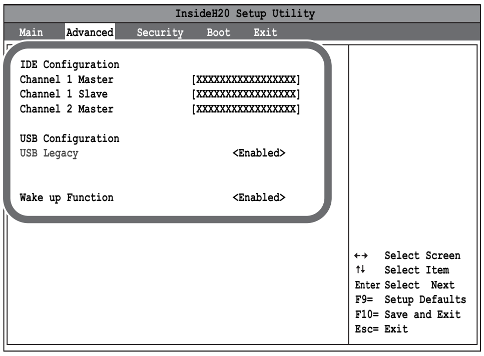
Total Memory Size
搭載されているメモリーの総容量が表示されます。

Memory Slot1
メモリースロット 1 に搭載されているメモリーの容量が表示されます。

Memory Slot2
メモリースロット 2 に搭載されているメモリーの容量が表示されます。
PC-AX50M では、ご購入時は「Not Installed」と表示されます。

Advanced メニュー

パソコンの動作に関する設定項目があります。
【↓】【↑】キーを押して項目を選択し、【⏎】キーを押すと、設定画面が表示されます。設定画面では【↓】【↑】キーで設定内容を変更後、【⏎】キーを押してください。設定画面が表示されているときに【Esc】キーを押すと、設定内容は変更されずに設定画面が閉じます。



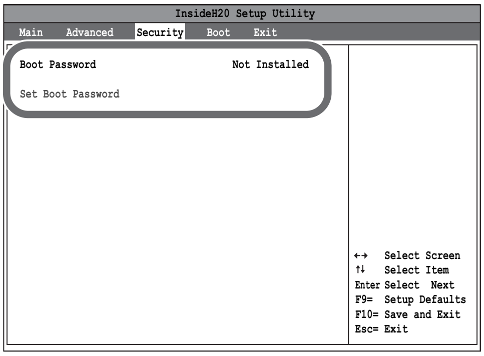
IDE Cofiguration
ハードディスクと CD/DVD ドライブの情報が表示されます。

USB Legacy（Windows 環境では無効）
接続した USB 機器を有効にする／無効にするを設定します。
- **Enabled** ：有効にする
- **Disabled** ：無効にする

Wake up Function
ネットワーク上の他のパソコンから操作することによって、スタンバイから復帰するかどうかを設定します。
- **Enabled** ：復帰する
- **Disabled** ：復帰しない

Security メニュー

パスワードについての設定項目があります。



Boot Password

パスワードの設定状況が表示されます。

Installed　：パスワードが設定されている

Not Installed：パスワードが設定されていない

Set Boot Password

パスワードを登録します。10 文字までの半角英数字で設定してください。

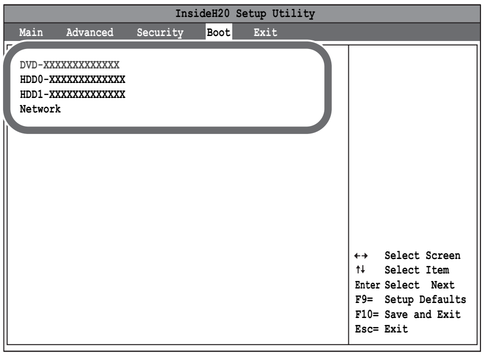
ご参考

- パスワードの設定について詳しくは、「パスワードを設定して使用できる人を制限する」（☞191 ページ）を参照してください。

付録

Boot メニュー

システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。
[↓] [↑] キーで変更したいデバイスを選択し、[Shift]+[↑] キーまたは [Shift]+[↓] キーで順番を変更します。



DVD-XXXXXXXXXXXXX
CD/DVD ドライブから起動

HDD0-XXXXXXXXXXXXX
ハードディスクドライブから起動

HDD1-XXXXXXXXXXXXX（PC-AX100 のみ）
ハードディスクドライブから起動
（PC-AX50M では、この項目は表示されません。）

Network
ネットワーク（LAN）から起動

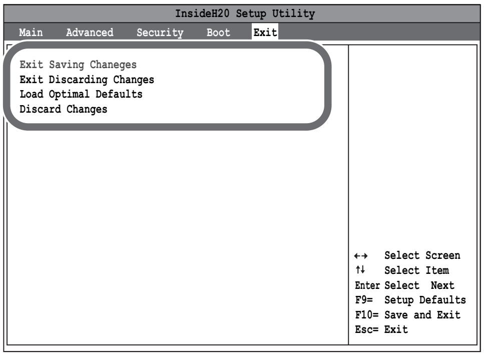
ご参考

- 「XXXXXX」の箇所には、接続されているドライブ固有の文字列が表示されます。
- USB コネクターにフロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどを接続しているときは、「USB-XXXXXXXXXXX」が表示されます。

付録

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。
[↓][↑]キーで項目を選択し、[Enter]キーを押すと確認画面が表示されます。
内容を確認後、[←][→]で「Yes」または「No」を選択し、[Enter]キーを押します。



Exit Saving Changes
変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了します。

Exit Discarding Changes
変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。

Load Optimal Defaults
セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。

Discard Changes
セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。

すべての設定を初期値に戻す

1 **→ キーで「Exit」メニューを選択します。**
「Exit」メニュー画面が表示されます。

2 **↓ キーで「Load Optimal Defaults」を選択し、⏎ キーを押します。**

3 **「Load Optimal Defaults?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**

4 **↑ キーで「Exit Saving Changes」を選択し、⏎ キーを押します。**

5 **「Exit Saving Changes ?」と表示されたら、「Yes」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。**
設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windowsが起動します。

お手入れ

お手入れをする際は、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れのしかた

キャビネット／通風孔／操作パネル部分

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭きます。
通風孔にほこりなどが付着すると、機器の換気を妨げるおそれがありますので定期的に清掃してください。

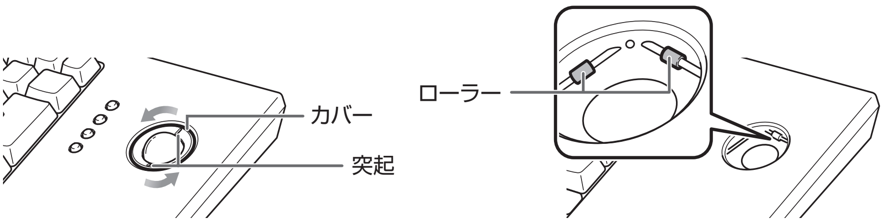
ご注意

- お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品やぬれぞうきんは使用しないでください。変形・変色の原因となります。

トラックボール

トラックボールの中のボール、およびローラー部分は、次の手順で掃除してください。ボール、およびローラー部分にほこりや糸くずなどが付着すると、トラックボールの動きが鈍くなります。

① 突起を押しながら、カバーを反時計回りに回して外し、ボールを取り出します。



② 水、または水で薄めた中性洗剤でボールを洗い、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で水分を拭きとって、よく乾かします。

③ トラックボールの中のローラー部分にほこりが付着していたら、つまようじなどでていねいに取り除きます。
このとき、ローラーが動いたら中央に戻してください。ローラーが軸の中央からずれていると正しく動作しない場合があります。

④ トラックボールの中のほこりや糸くずなどを取り除きます。

⑤ ボールを戻し、カバーを取り付けます。

付録

仕様一覧

形名				PC-AX100M	PC-AX50M
外形寸法（突起部除く）幅×奥行×高さ(mm)	本体			縦置き時：約175×195×480（スタンド含む） 横置き時：約430×195×95（スタンド除く）	
	キーボード			約420×149×37	
質量(kg)	本体			縦置き時：約7.0（スタンド含む） 横置き時：約6.2（スタンド除く）	縦置き時：約6.2（スタンド含む） 横置き時：約5.4（スタンド除く）
	キーボード			約0.65（電池除く）	
消費電力／待機時消費電力（W）				最大　約90／約2.25	最大　約90／約2.21
2005年度省エネルギー基準達成率※a				AAA	AAA
エネルギー消費効率※b				0.00022（P区分）	0.00041（P区分）
記憶装置	ハードディスクドライブ※c			約500GB（Serial ATA/150※1、約250GB×2）※2	約250GB（Serial ATA/150※1）※3
	CD/DVDドライブ			DVDスーパーマルチドライブ（DVD-RAM&DVD±R/RWドライブ）（DVD±R　2層書込対応）※4	
		書込速度※d	DVD-R	最大8倍速(1層)／2倍速(2層)	
			DVD+R	最大8倍速(1層)／2.4倍速(2層)	
			CD-R	最大24倍速	
		書換速度※d	DVD-RAM	最大5倍速（片面2.6GB／両面5.2GBは非対応)	
			DVD-RW	最大4倍速	
			DVD+RW	最大4倍速	
			CD-RW	最大16倍速	
		読出速度	DVD-ROM	最大8倍速(1層)／最大6倍速(2層)	
			DVD-RAM	最大5倍速※5(片面2.6GB／両面5.2GBは非対応)	
			DVD-R	最大6倍速(1層／2層)	
			DVD+R	最大6倍速(1層／2層)	
			DVD-RW/+RW	最大6倍速	
			CD-ROM/R	最大24倍速	
			CD-RW	最大24倍速	
チューナー	地上デジタル			○ CATVパススルー対応（F接栓）	—
	BSデジタル／110度CSデジタル			○（F接栓）	—
	地上アナログ			○ VHF/UHF/CATV（C13～C63ch）（F接栓）	
		高画質化回路（地上アナログ放送）		MPEG-2ハードウェアエンコーダー、ゴーストリダクション、TBC（タイムベースコレクター）、3次元Y/C分離回路、デジタルノイズリダクション、10bit A/Dコンバータ、ダイレクトオーバーレイ	
録画時間※e	地上デジタル放送		ハードディスク	HD画質　約43時間（約21Mbps） SD画質　約91時間（約10Mbps）	—
	BS／110度CSデジタル放送		ハードディスク	HD画質　約38時間（約24Mbps） SD画質　約82時間（約11Mbps）	—
	地上アナログ放送		ハードディスク	XP画質　約114時間（約8Mbps） SP画質　約228時間（約4Mbps） LP画質　約456時間（約2Mbps） EP画質　約912時間（約1Mbps）	XP画質　約54時間（約8Mbps） SP画質　約109時間（約4Mbps） LP画質　約218時間（約2Mbps） EP画質　約436時間（約1Mbps）
			DVDディスク（VRフォーマット）	DVD±RW/RAM(片面)：XP画質　約1時間（約8.8Mbps） SP画質　約1時間50分（約4.9Mbps） LP画質　約3時間（約3.0Mbps） EP画質※6 約4時間10分（約2.1Mbps） DVD-RAM(両面)：XP画質　約2時間（約8.8Mbps） SP画質　約3時間40分（約4.9Mbps） LP画質　約6時間（約3.0Mbps） EP画質　約8時間20分（約2.1Mbps）	
録画予約※f				電子番組表（EPG）予約、キーワード予約（地上アナログ放送のみ）、おすすめ番組自動録画（地上アナログ放送のみ）、携帯電話録画予約（地上アナログ放送のみ）	
ダビング	デジタル放送（録画1回可能番組）		ムーブ	○（ハードディスク→DVD-RAM）※7	—
	地上アナログ放送		コピー	○（ハードディスク⇔DVD±R/RW/RAM）※8	
			MPEG-4変換	○	
編集	デジタル放送			—	
	地上アナログ放送			○※9	
インストールOS※g				Windows XP Home Edition Service Pack 2セキュリティ強化機能搭載	
CPU				インテルCore Duoプロセッサー T2300（1.66GHz）	インテルCeleron Mプロセッサー420（1.60GHz）
	キャッシュメモリー			1次：インストラクション用32KB／データ用32KB、2次：2MB内蔵	1次：インストラクション用32KB／データ用32KB、2次：1MB内蔵
チップセット				インテル945GM／ICH7-M	インテル940GML／ICH7-M
システムバス				667MHz	533MHz

付録

形名			PC-AX100M	PC-AX50M
メインメモリー			標準1GB（512MB＋512MB、最大2GB[※10※11]）（DDR2-533 PC2-4200対応、デュアルチャネル対応）	標準512MB（最大2GB[※11※12]）（DDR2-533　PC2-4200対応）
	メモリースロット		2スロット（空きスロット0）	2スロット（空きスロット1）
表示機能	解像度[※h]（色数）		1,360×768、1,280×1,024、1,280×768、1,024×768、800×600（すべて最大約1,677万色）	
	グラフィックアクセラレーター		インテル945GM（チップセットに内蔵）	インテル940GML（チップセットに内蔵）
	ビデオメモリー		最大128MB（メインメモリーを使用）[※13]	
入力装置	キーボード		ポインティングデバイス内蔵ワイヤレスキーボード付属（RF無線方式）、87キー	
		キーピッチ／キーストローク	約19mm[※14]／約3.5mm	
	ポインティングデバイス		トラックボール（キーボードに内蔵）	
	リモコン		ポインティングデバイス内蔵専用リモコン付属（赤外線方式）	
	クイックスタートボタン		インターネット、拡大表示、メール、デスクトップ（キーボードに内蔵）	
通信機能	LAN		1000BASE-T／100BASE-TX ／10BASE-T	
カードスロット	SDメモリーカード		1[※15]	
	メモリースティック			
	xD-ピクチャーカード			
サウンド機能			チップセット内蔵＋High Definition Audioコーデック	
接続端子	表示／映像／サウンド／その他		S映像入力[※16※17]×1、ビデオ映像入力(RCAピン)[※16※17]×1、ビデオ音声入力（L/R）（RCAピン）×1、地上アナログアンテナ入力(F型同軸)[※16※17]×1、マイクロホン入力（φ3.5mmモノラルミニジャック）×1、ライン入力（φ3.5mmステレオミニジャック）×1、ライン出力（φ3.5mmステレオミニジャック）×1、デジタル音声出力（光）(角型)[※18]×1、ディスプレイ出力(DVI-D 24ピン、HDCP対応)[※19]×1、テレビ／パソコン連携（RS-232C、D-Sub 9ピン）[※20]×1	
			地上デジタルアンテナ入力(F型同軸)[※16]×1、BS/110度CSデジタルアンテナ入力(F型同軸)[※16※21]×1、B-CASカードスロット×1、電話回線端子（通信速度：56kbps)[※22]×1	―
	汎用		USB（USB2.0準拠）×4、IEEE1394(4ピン）[※23]×1、LAN端子×1	
温度／湿度条件			10～35℃／20～80%（非結露)	
リカバリ方式			ハードディスクリカバリ[※24]	

※a　電気・電子機器の省エネルギー基準達成率の算出方法及び表示方法(JIS C 9901)に基づく表示です。省エネルギー基準達成率が100%以上の場合は、100%以上200%未満＝A、200%以上500%未満＝AA、500%以上＝AAAで表示しています。

※b　省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

※c　1GB=10億バイトで計算した場合の数値です。

※d　CD/DVDドライブの書込・書換速度に対応したディスクをご使用ください。ご使用のディスクによっては、記録品質を保つために書込・書換速度が制限される場合があります。ご使用のディスクの最大書込速度とCD/DVDドライブの最大書込速度が異なる場合、どちらか遅い方の最大書込速度で書き込まれます。

※e　出荷時状態での目安です。

※f　地上アナログ放送の録画予約は、インターネット接続が必要です。

※g　プリインストールされているOSのみをサポートしています。

※h　1360×768以外の解像度に設定したときは、「Station TV Digital」（PC-AX100Mのみ）や「チャンネルUI」などの付属ソフトが正常に動作しないことがあります。

※1　AHCIモードでは動作しません。

※2　Windowsのシステムから認識できるドライブ全体の容量は約465.6GBになります。（Cドライブ：約50.0GB、Dドライブ：約232.8GB、Eドライブ：約176.8GB、残りはリカバリ領域として使用）。また、C、D、EドライブともNTFSでフォーマットされています。

※3　Windowsのシステムから認識できるドライブ全体の容量は約232.8GBになります。（Cドライブ：約30.0GB、Dドライブ:約196.8GB、残りはリカバリ領域として使用）。また、C、DドライブともNTFSでフォーマットされています。

※4　8cmディスク、8cmディスク用の変換アダプター、規格外ディスク（ハート形などの異形ディスクやDVD Slim disc）は使用できません。High Speed DVD+RWには書き込みできません。市販のDVD-RAM/±R/±RWには「for Data」「for Video」の2種類があります。映像を保存する場合や家庭用DVDレコーダーとの互換性を重視する場合には「for Video」をご使用ください。
カートリッジ式のDVD-RAMは使用できません。DVD-RAMを使用する場合は、カートリッジなしのタイプか、もしくは取り外し可能なカートリッジ（Type2またはType4）からディスクを取り出してご使用ください。
DVD-RAMに書き込む場合は、DVD-RAM Ver.2.0またはVer.2.1またはVer.2.2(Rev.2.0)に準拠したディスクをご使用ください。
DVD-RWに書き込む場合は、DVD-RW Ver.1.1またはVer.1.2に準拠したディスクをご使用ください。
DVD-R（1層）に書き込む場合は、DVD-R for General Ver.2.0に準拠したディスクをご使用ください。
DVD-R（2層）に書き込む場合は、DVD-R for DL Ver3.0／4X-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0に準拠したディスクをご使用ください。
CPRM方式で著作権保護されたDVD-R/-RWの再生はできません。
DVD+R（2層）に書き込む場合は、DVD+R Double Layer 2.4Xに準拠したディスクをご使用ください。
DVD±R（2層）ディスクの読み出しは、対応ドライブやプレーヤーをご使用ください。

※5　ご使用のディスクの最大書込倍速とドライブの最大読出速度が異なる場合、どちらか遅い方の速度で読み出します。

※6　DVD+RWへはEP画質での録画はできません。

※7　CPRM対応ディスクが必要です。SD画質での保存となります。ムーブしたDVD-RAMの読み出しには、CPRMおよびDVD-RAMに対応したプレーヤーまたはドライブが必要です。

※8　付属ソフトの「Ulead DVD MovieWriter」によりDVDディスクに書き込み。

※9　付属ソフトの「Ulead DVD MovieWriter」により編集。

※10　増設する場合は標準メモリーの取り外しが必要です。必ず2つのスロットにそれぞれ1GBのRAMボードを取り付けてください。取り付けるRAMボードの容量が異なると、処理速度が遅くなり、デジタル放送の視聴・録画・再生時にコマ落ちなどにより、スムーズに表示されない場合があります。

※11　使用可能な増設RAMボードについては、インターネットアクオスホームページ内サポート情報の機種別ページにて、順次ご案内します。http://support.sharp.co.jp/i-aquos/

※12　増設する容量によっては標準メモリーの取り外しが必要な場合があります。

※13　Intel Dynamic Video Memory Technology（DVMT）を使用しており、パソコンの動作状況により、自動的にビデオメモリー容量が変化します。

※14　一部キーピッチが短くなっている部分があります。

※15　メモリーカードはデータをやりとりする相手機器でフォーマットしたものをご使用ください。メモリースティックPRO、xD-ピクチャーカードのType MおよびType Hにも対応しています。SD I/Oカードには対応していません。SDメモリーカードおよびメモリースティックの著作権保護機能、高速転送機能には対応していません。miniSDおよびメモリースティックデュオを使用する場合は市販の専用アダプターが必要です。

※16　録画・再生する際に本体の使用状況や表示する内容によってはコマ落ちする場合があります。

※17　付属ソフトの「StationTV G2」は著作権保護機能として、コピー防止信号(マクロビジョン方式、CGMS-A方式）に対応しております。録画禁止および録画1回可能な映像は正しく表示されず、再生、録画できません。

※18　デジタル放送の5.1ch音声は2ch（ステレオ）音声に変換して出力されます。

※19　LD-37SP1およびLD-32SP1で動作を確認しています。また、アナログRGB端子は非搭載。

※20　LD-37SP1およびLD-32SP1との接続に使用。

※21　BS/110度CSデジタルに対応した市販のアンテナケーブルやアンテナ分配器が必要です。

※22　デジタル放送の登録・双方向通信用。通信速度は理論上の最大値です。
機器名：RD02-D110　認証番号：A04-0113001

※23　デジタルビデオカメラを接続して映像・音声を取り込む場合は、市販の4ピン-4ピン端子IEEE1394ケーブルが必要になります。動作状況によっては映像のコマ落ちが生じる場合があります。テレビ部のi.LINK端子とは接続できません。市販されているすべてのIEEE1394対応機器と接続できるわけではありません。接続可能なデジタルビデオカメラについては、インターネットアクオスホームページ内サポート情報の機種別ページにて、順次ご案内します。http://support.sharp.co.jp/i-aquos/

※24　付属ソフトの「Bootable CD Creator」により、リカバリCDまたはリカバリDVDを一回限り作成できます。市販のCD-RまたはDVD-R(1層）が必要です。

周辺機器（別売品）

- USB 接続 FD ドライブユニット..CE-FD05

さくいん

記号・アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

画面で見るためのマニュアル
（パソコン電子マニュアル）

この製品には、画面で見るためのマニュアルがあります。
冊子のマニュアルとあわせてご覧ください。

電子マニュアルの起動のしかた

デスクトップの「パソコン電子マニュアル」をクリックします。





をクリック

パソコンの学習

楽しみながらパソコンの基本操作を学習!!



使い方を知りたい

パソコンのさまざまな使い方を紹介!!



トラブル解決

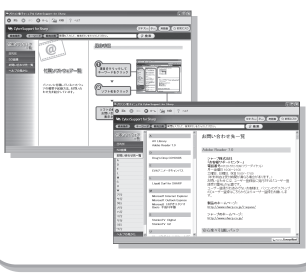
トラブルの解決をお手伝い!!





付属ソフトウェア

付属ソフトウェアの概要やお問い合わせ先を紹介!!



サポート&サービス

使い方相談や修理相談の窓口を紹介!!



最新情報はこちらから

この製品の最新情報をホームページで確認!!



エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

パーソナルコンピュータ PC-AX50M / PC-AX100M

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ **低消費電力設計**

- パソコン部（PC-AX50M/PC-AX100M）の最大消費電力を約90Wにまで低減。
  当社AVセンターパソコン（PC-TX32K/PC-TX100K）に比べ約58%低減しています。
- 国際エネルギースタープログラム対象商品に関する基準を満たしています。

グリーン材料 **環境に配慮した材料を採用**

- 主要基板に無鉛はんだを採用しています。
- 特定化学物質※の含有率を「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法（JIS C 0950）」（通称J-Moss）で定められる基準値以下におさえています。

※ 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリ臭化ビフェニール）・PBDE（ポリ臭化ジフェニルエーテル）。
なお、一部の電子部品に含まれる鉛はJ-Mossの除外項目に該当します。

● 製品についてのお問い合わせ、修理のご相談は・・

別冊の『サポートのご案内』をご参照ください。

● インターネット AQUOS ホームページ http://www.sharp.co.jp/i-aquos/

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地